PriministAr

プライミニスター

ビジュアルファンブック

18 未満

PUSH!! Selected

MAXムック





PriministAr

プライミニスター

ビジュアルファンブック



CONTENTS

ILLUSTRATION GALLERY

イラストギャラリー



パッケージ





公式サイト　マスターアップイラスト



公式サイト　発売日イラスト



公式サイト　つばさ誕生日イラスト





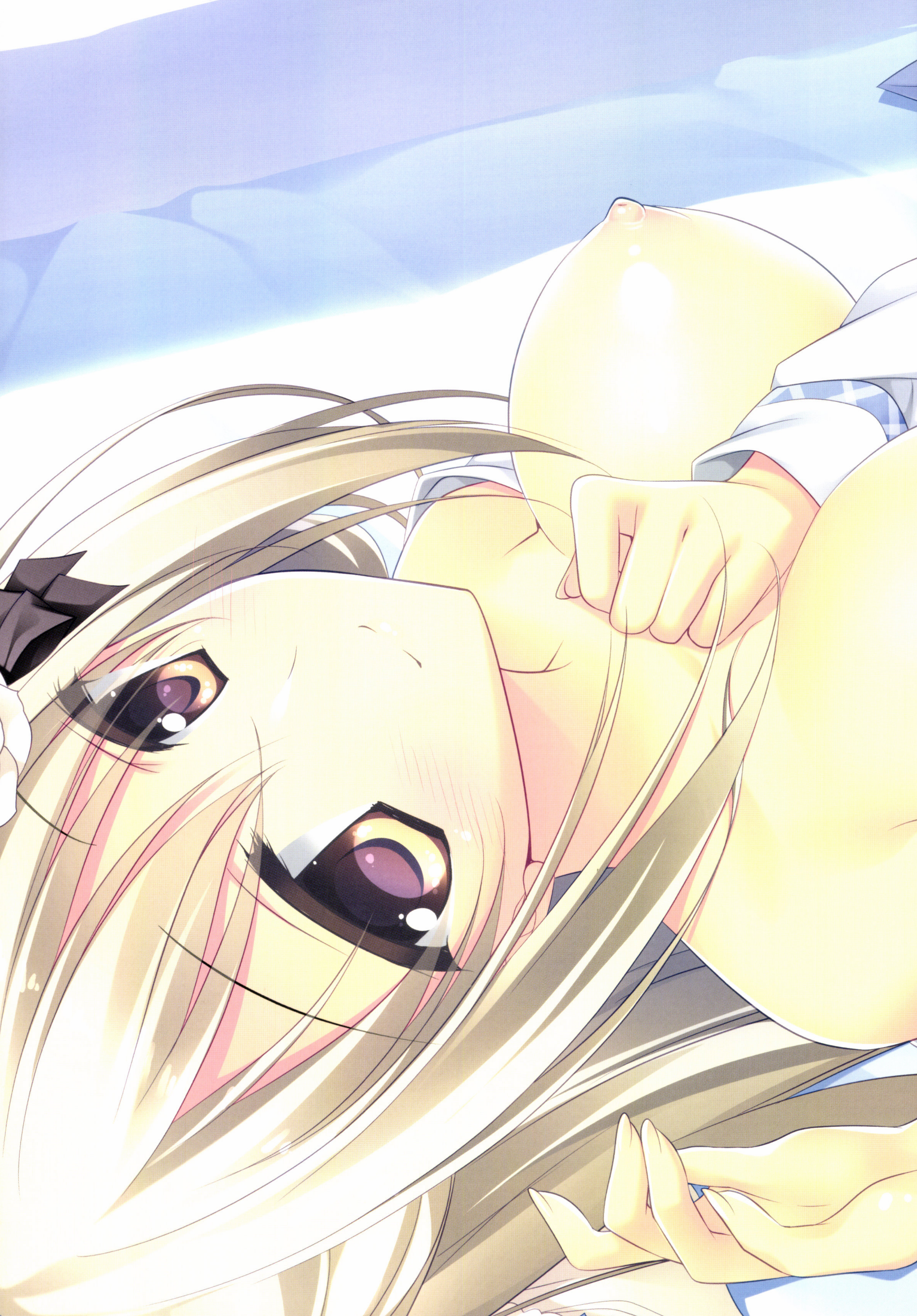




本書カバーイラスト













電撃HIME　2013年6月号





電撃HIME　2013年9月号











パソコンパラダイス　2013年10月号



ソフマップ特典　B2タペストリー



げっちゅ特典　Ｂ２タペストリー





グッドウィル特典　B２リバーシブルタペストリー



トレーダー特典　Ｂ２タペストリー



メロンブックス特典　B5ハードポスター



ソフマップ特典　B2タペストリー



メディオ特典　B5リバーシブル下敷き／テレカ





コムロード特典　テレカ



とらのあな特典　B2タペストリー



オフィシャル通販特典　テレカ

CHARACTER & STORY

キャラクター & ストーリー



PROLOGUE プロローグ

乙女だらけの文化部棟に、ただひとり残った男子。
天馬春近の日常は、騒がしくてちょっと甘酸っぱい。

とある春の盛りの頃。
粟生七舟学園の一角、文化部系部活の集められた部室棟、通称『文化部棟』では、
ある壮大かつかぎりなくアホな計画が進行していた。
文化部に所属する全男子が結託したその計画は、
『文化部棟内における女子のスク水着用義務化』。
もちろんそんな夢のよう、もとい非現実的な計画が実現するわけはなく、
文化部男子は女子の猛反発をくらい、結果として文化部棟から追い出されることとなった。
そんな中、他部活の手伝いに奔走していて計画に乗り遅れた手芸部部長の天馬春近は、
図らずも駆逐を免れ、文化部棟唯一の男子となってしまう。
だが奔走していたおかげで新入生の勧誘をし損ね、
新入部員がひとりも入らなかった手芸部は同好会降格の大ピンチ。
もはやこれまでかと思った矢先に、３人の新入部員が現れる。
かくして、去年からの部員を含めて規定人数が揃い、ピンチを脱することができた。
あとから参入したふたりを加え、新たなる船出を迎えた新生手芸部は、
春近以外はもちろん全員が女子。
少し賑やかになった手芸部で、今日も事件が巻き起こる——。

粟生七舟学園（あおななふね）

充実した施設と、女子生徒の可愛い制服が人気の学園。全国から生徒が集まり、地元民も多く入学する。校風として頭の明るいお馬鹿な生徒が多く、特に男子にその傾向が強く見られるとか。



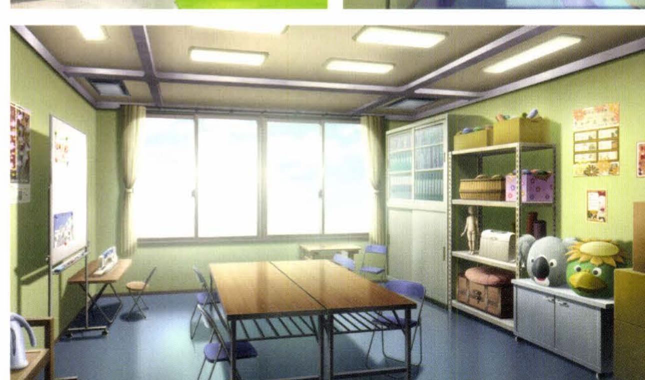




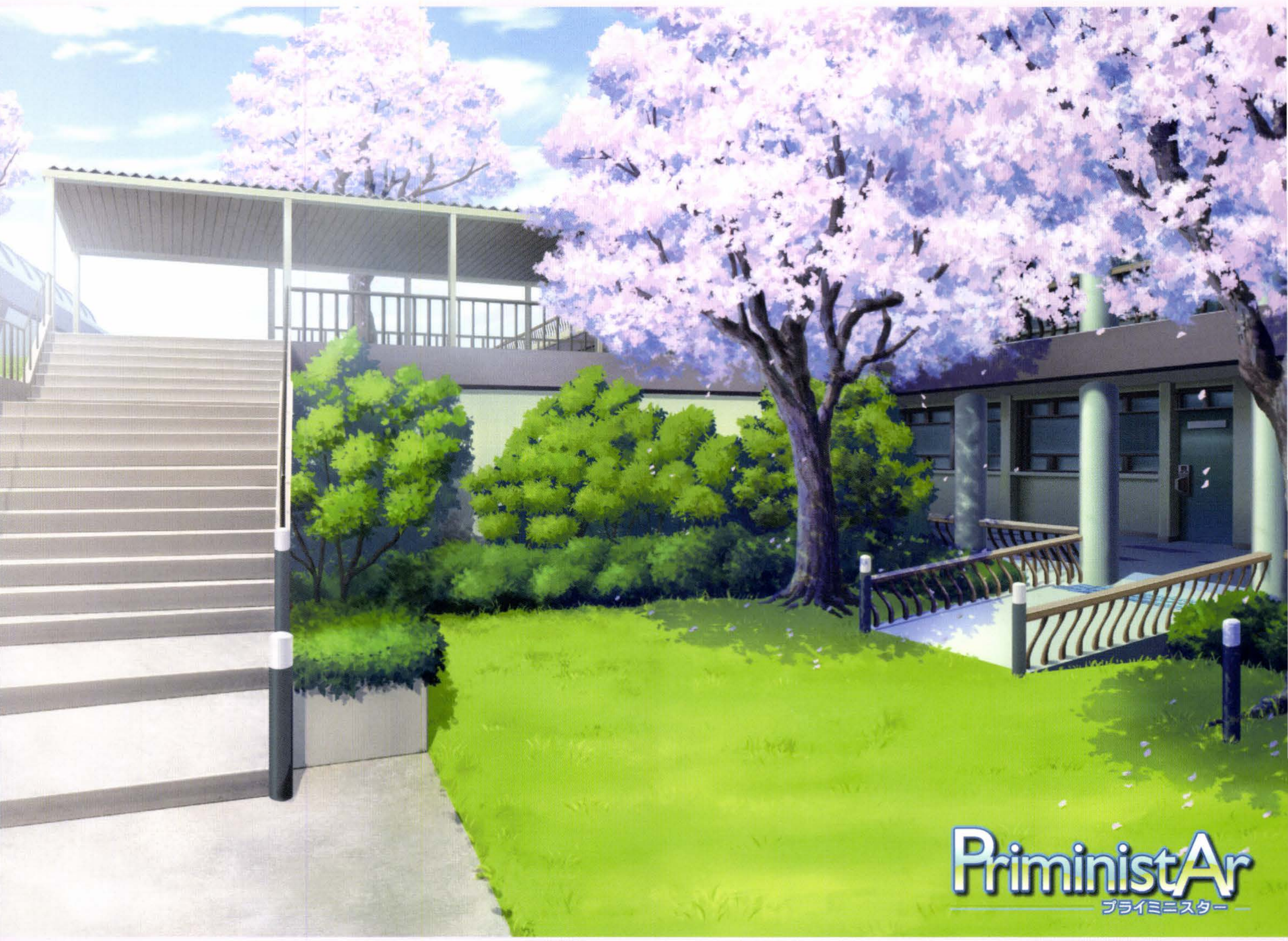

粟生七舟学園 文化部棟

文化部系部活の部室が集められた部室棟。割り当ての不公平をなくすため、毎年、話し合いやくじ引き等で、部室の交換が行われる。現在は１名をのぞき、男子立ち入り禁止。







コーポなかきよ





春近が、一人暮らしをしているアパート。管理人を含め、住人は現在のところ全員が女性である。それほど新しくも広くもないものの、住み心地はなかなかのもの。



通学路







硯丘中央公園

学園近くにある公園。食べ物などの移動販売も数多くおり、デートスポットとしても最適。

小学校



かつて春近とかのこが通い、今は由芽と小糸が通っている。昔も今も変わらぬ雰囲気だ。

紅葉屋



かのこの両親が経営する喫茶店。おいしいコーヒーと料理、季節ごとのフェアなどが評判な、地元の有名店。

硯丘ラビッツフット



洋服から本や雑貨やペットまで、なんでも揃うショッピングモール。映画館やフードコートなどの施設も充実。

K A N O K O A K I



安芸かのこ
あき かのこ



「ふふふっ、あっ、チカくん寝癖付いてるよ？
ちょっとしゃがんでくれる」

PROFILE

その包容力、もはや菩薩級。

子供の頃から仲のいい幼なじみ。おっとりとした性格で、ちょっとしたことですぐテンパってしまう照れ屋さん。春近に対しては過保護なくらい世話を焼き、つい甘やかしてしまう。幼い頃からずっと春近のことが好きだが、少々引っ込み思案なために自分の意志を強く押せず、幼なじみという関係から踏み出せないことを悩んでいる。

DATA

身　長：154cm
3サイズ：B 85
W54
H 86
誕生日：2月6日
血液型：A



TOPIC:1
紅葉屋の看板娘

かのこは、街でも有名な喫茶店「紅葉屋」の一人娘。放課後や休日は、よくお店を手伝っている。かのこの料理の腕は、飲み物は当然、ケーキや食事も絶品ぞろいとの評判の紅葉屋仕込み。だが本人曰く、まだまだ経営者である両親の腕前には敵わないのだという。



TOPIC:2
魔王かのこ式料理

学園では料理部にもたびたび顔を出すかのこは、もちろん料理好き。だが作っている最中に、名前をつけた調理器具を使って〝魔王かのこ式料理法〟なる遊びをしてしまうクセがある。本人はもう卒業したと言い張っているが、どうやら無意識にやってしまうらしい。



TOPIC:3
着ぐるみヒーロー・春近

春近との出会いは、小学生の頃。その頃、クラスの男子からイジメのようなものを受けていたかのこは、転校してきた春近と友達になり、結果的に助けてもらうこととなった。それ以来、かのこにとって春近はヒーローであり、ずっと大好きな男の子となったのだ。

CV：秋野 花



制服 私服 メイド服 ウェイトレス



水着 パジャマ 裸

FASHION CHECK!

かのこさんのファッションは、ふわふわとした女の子らしいデザインで可愛いと思うわ。特にフェアで着たエプロンドレスは、すごく似合ってる。いつもお店で着ればいいのに。水着は、胸元のリボンと腰回りのスカートっぽいフリルが素敵ね♥

三澄のファッションチェック





文化部棟の放課後ティータイム TEATiME



あら、かのこ。調理部のほうはもういいの？

うん、今日はなんだか早く終わったんだよ。あ、これ調理部で作ったんだけど、良かったら食べて？

やったー！　かのこの作ったお菓子、美味しいんだよねえ♪

かのこさんは、ご実家でもある喫茶店で、お手伝いもしているから、お菓子だけじゃなくてお料理も上手なんでしょう？

そういえば、ときに天馬の部屋で食事を作ったりしているという噂を聞いたな。

かのこのことだから、掃除もしてそうね？

ノン・ノン！　それはちょーっと違うんだなぁ。かのこっちははるちーのところで、家事の『さしすせそ』をしているのさ！

『さしすせそ』？

裁縫・躾・炊事・洗濯・掃除のこと。語呂あわせだから、覚えやすいよね。

ちなみに、躾＝育児ってことさね。つまりかのこっちは、はるちーと子作りを……。なぁんちゃって♪

ほわあああああああぁぁぁー!?　ち、違うからっ、わたしとチカくんは、幼馴染なだけでっ、ほんとにそれだけだから!!

そうやって、ムキになるところがあやしいわね♪

それはチカくんが望むなら……。でもまだ早いよ。キスだってしてないのに。って、チカくんとキス……？　ほわああああぁぁ!?

かのこさん、大丈夫。みんなわかってるから、落ち着いてー！

うう……みんなでからかってひどいよぉ。だけど、チカくんを見てると、ついなにかしてあげたくなるっていうか……。チカくんのお世話できるのが、すっごく幸せなんだもん。



K A N O K O　A K I

KANOKO's STORY
かのこのストーリー



子供の頃から、幼馴染みとしてなかよくしてきた少女・かのこ。彼女の衣装を作ることになった春近は、そのことをきっかけに、かのこの魅力について考え直すことに。すると、いままで幼馴染みとしか見ていなかったかのこへの気持ちにも、変化が訪れる。

……ねえチカくん、さっきからぼーっとしてるけど何か考え事？　邪魔しちゃったかな？









床に座って着ぐるみを作る春近の前に、しゃがむかのこ。無防備に微笑む彼女は、春近の座る場所から可愛いパンツが丸見えなことに気付いていない。いまさら指摘するのも気恥ずかしく、かといって目が向くのも止められず動揺しまくる春近を、奇跡的なまでのピュアさでひたすら心配するかのこだった。

My Diary



かのこの初恋思い出レシピ

今日は、すっごく嬉しいことがあったの。手芸部が部員が足りなくて存続のピンチだってチカくんが困ってたから、わたしも入部しようかって言ったの。そうしたらチカくんが、力を貸してくれって！　チカくんに頼りにされるなんて、嬉しすぎて溶けてなくなりそう。思い切って、言ってよかったぁ……。ホントは、三澄さんが入部するって聞いて思わず、だったんだけどね♪

チカくんと待ちあわせしてたのに、場所を間違えちゃった！　せっかく早く来たのに、かえって待たせちゃったよー。でもてっきり、チカくんにもう待ちあわせはしないって言われるかと思ったら、場所を決めちゃおうって。これからもずっと、待ちあわせしていいってことだよね？　嬉しい！

合宿のために、みんなで水着を買いにいったよ。わたしの水着、チカくんに選んでもらいたくて頼んだら、すごく真剣になってくれて嬉しかった。胸が強調されるデザインを流々子先輩に指摘されたら、他の男子に見られるのが嫌だからって替えてくれたり……チカくんが……うふふふっ♪　大事な幼馴染みだからって理由なのは知ってるけど、嬉しいなぁ。ふふふっ。

今日は合宿で、みんなでプールで遊んだよ。わたしたちが使ったあとの水を汲みに来た男子たちが騒ぎを起こしたりして大変だったけど、楽しかったな。もうちょっとチカくんと話したかったのに……なかなか積極的に



お料理ができるまで、チカくんはテレビでも見て待っててね？



制服の上にエプロンをつけて、かのこは春近のためにキッチンに立つ。それはまさに、男なら一度は憧れる夢のシチュエーション。おたまで鍋をかきまぜながら、春近の視線を背中に感じて、かのこはくすぐったそうに頬を染める。





できない。チカくんに気持ちを伝えても、もし受け入れてもらえなかったらどうなるのかなって考えちゃう。幼馴染みだから、かえってその距離から近づけなくて、チカくんがすごく遠いよ……。

眠れなくて、ひとりで星を見ながら考えてたら、急にチカくんが来て、びっくりした！

外を歩いてるわたしを見かけたから、声かけたんだって。それだけで、わざわざ。チカくんてば、優しすぎるよぉ……。

チカくん、わたしが流星群を見に来たって思ってるみたいだったから、そういうことにして一緒に流れ星を探したんだ♥



小糸ちゃんが、学園に遊びに来たよ。腕によりを掛けて作ったケーキ、喜んでもらえてよかった。でもなんで途中で、あんなことになっちゃったんだろ。チカくんはラグビー部の揉め事を収めただけなのに、職員室からなかなか帰って来ない。心配でずっと待ってて、やっと帰ってきたら継花先生とお茶してたんだって。ふふっ、これが怒ってるっていうものなのかな♪　でも焦ってるチカくん、なんだか可愛いな。

ラグビー部を撃退した噂のせいで、女の子のチカくん人気が急上昇。気になって、手芸部のみんなでチカくんを尾行することになったんだけど、チカくんが見つけられない。チカくんのことなら、誰より知ってると思ってたのに行き先すらわからない……。　ううん、でもあきらめないんだよ！　逃げてるだけじゃ何もかわらないって、教えてもらったから。いつかチカくんの隣に並んで一緒に笑うために、頑張るよ！

大好き……。チカくん、大好きっ

キスを忘れたくないと、夜中にひとり泣いていたかのこ。春近の告白を受けて、その顔は泣き笑いに変わる。ポロポロとこぼれる涙でくしゃくしゃになっても、その笑顔はやっぱり可愛いと思う。ずっと一緒だった幼馴染みの少女は、今この瞬間から、一番大切な恋人になったのだ。









えへへっ、なんだか夢みたい

恋人になって、あらためてかわしたキス。目を閉じたかのこの頬に手を添えて、やわらかな唇をそっと重ねた。ちゅ、と小さな音を立てて触れあった唇から、かのこの幸せそうな笑い声が漏れる。ふたりでする二回目のファーストキスは、夢みたいに甘い幸せの味がした。

My Diary



かのこの初恋思い出レシピ

もうすぐ紅葉屋恒例のフェア開催！　お母さんがチカくんに、わたしがフェアで着る衣装を作ってって頼んだの。引き受けたチカくん、わたしの可愛さを引き立てるデザインで悩んでた。兄妹みたいに見てたから、感覚が違うかもって。兄妹だと思ってるなんて、そんなのチカくんだけだよ……？

今日は、衣装を作りにチカくんが来た。チカくんがわたしの部屋にいるなんて、なんだかドキドキするなぁって思ってたら、いつのまにかすごく顔が近くにあって……チカくんが、キスをしてきた。



きっと、わたしが誘っちゃったキスだと思うから、忘れようってチカくんに言ったの。でもやっぱり、本当は忘れたくなんかなくって夜中にひとりで泣いてたら、チカくんが来て……わたしのこと、好きって言ってくれた。幼馴染み以上の関係になりたいなんて。すごく嬉しい……嬉しいよ、チカくん。なんだか夢みてるみたいだよ……。

せっかく恋人になれたチカくんに嫌われるのが怖くて、電話でおはようのキスとか部室で衣装作りのご褒美になんでもしていいよ宣言とか必死なわたしを、チカくんはお見通







はじめて結ばれた次の日の朝、隣で眠る恋人がまどろみから目を覚ます。寝起きで少しぽやんとした口調のかのこは、昨夜のことを思い出したのか、幸せそうに微笑んだ。彼女が身動くたび、露わな胸がふるふる揺れて目が離せない。

んんっ、ふぁ……おはよう、チカくん



お待たせしました、フェアメニューのAセットです！







大盛況の店の中、輝くような笑顔を振りまきながら、かのこはくるくると立ち働く。身を包んでいるのは、春近が作った特別製のエプロンドレス。甘すぎないフリルをあしらったデザインとピンク主体の色遣いが、かのこの可愛さをあますところなく引き立てている。

し。頭を撫でてくれて、今のままのわたしでいいって言ってくれた。うん、そうだね。焦らず、ゆっくりでいいんだよね。



夕ご飯を作りにチカくんの部屋に行く途中、チカくんが見覚えのあるバッグを持ってるなとは思ったの。でもまさか、料理道具を取りに家に戻ったとき、お母さんがチカくんに渡したわたしの着替え入りバッグだったなんて。しかも、お母さんから「しばらく戻ってこなくていいから」って伝言まで……。それってつまり、チカくんのお部屋に泊まれってこと!? お泊まりってことは……ほわああ！ やっぱりそういうの、あるんだよね!? でもチカくん、お風呂も覗きに来なくて、このまま寝ちゃいそうって思ったら、我慢できなくなっちゃった。

……ねぇ、チカくん。お願い。わたしを、チカくんだけのものにしてください。

チカくんと結ばれて、ちょっとケンカもするけどすぐ仲直りして、毎日幸せだな♪ ……って思ってたら、フェアが中止になりそうだってお母さんが。アルバイトの人が交通事故にあって手が足りないんだって。ショックで何も言えないでいたらチカくんが、自分が代わりに手伝うからやろうって言ってくれたの。がんばろうねチカくん！

いよいよフェアの当日！ 今日まで、チカくんはすごく大変だったと思う。でも、チカくん作の衣装はすごく可愛くて褒めてもらえたし、お客さんもたくさんきてくれて、フェアは大成功だよね！



うん。わたしも大好き

春近の部屋へと、ふたりで帰る夜の道で、かのこは幼い頃からの春近への想いを語った。こみあげる愛おしさのまま抱きしめたかのこの髪からは、バニラみたいな甘い香りがする。大好きだよとささやけば、バニラよりも甘く幸せそうな返事が聞こえた。





——これからもずっと、一緒に夢を叶えていこうね！







紅葉屋を、かのこの両親から受け継いで１年。今日もかのこと春近は、常連たちに仲の良さをからかわれながら、店を切り盛りしている。世界一の着ぐるみを作るという春近の夢と、それを支えたいというかのこの夢。ふたつの夢はすでに叶い、今もなお続いている。そして今、かのこが提案した新たな夢は、ふたりの家族を増やす……つまり赤ちゃんを作ること。春近が賛同すれば、かのこは早くもふたりの新しい夢に想いを馳せる。昔も今も変わらず春近に向ける、まっすぐな笑顔で——。

END

My Diary



かのこの初恋思い出レシピ

お父さんったら、さっきから何回も乾杯して、チカくんをつきあわせてる。ふふっ、フェアの成功がよっぽど嬉しかったんだね。

そういえばわたしが席をはずしたとき、チカくんとお父さんが真剣に話してたな。何の話をしてたのかなぁ。

チカくんが帰るとき、玄関まで送ろうとしたら、お母さんに呼び止められた。何かなと思ったら、お母さんはわたしに荷物を渡して、チカくんのとこに行きなさいって。

すぐにあとを追って追いついたら、チカくんさすがにびっくりしてたな♪

歩きながら、チカくんはさっきお父さんと話してたことを教えてくれた。お父さんが、苦労して夢を叶えたときのお話だったみたい。だからわたしはその時の……チカくんと初めて会ったときのことを、チカくんに聞いてもらうことにしたの。

小学生の頃、クラスの男の子たちからいじめられてたわたしを、がんばって助けてくれた転校生。わたしのヒーロー……。

話し終わったとき、チカくんがぎゅっと抱きしめてくれた。



ねぇ、チカくん。ずっとチカくんの隣で、チカくんの夢を支えてあげたいっていうわたしの夢、聞いてくれるかな……？

KANOKO AKI

H Scene 1

恋人になって、はじめてのお泊まり。寝る時間になっても消極的な春近に、かのこはみずからの覚悟を伝える。自分を春近のものにしてほしいと。



今のわたし、幸せすぎておかしくなっちゃいそうだよ







くぅっ、ううっ……！　はぁ、はぁ……うっく……！





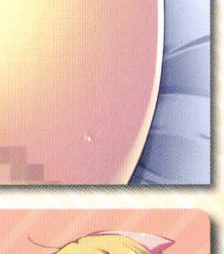




PRiVATE DiARY

かのこの秘密日記

自分から言い出したことだけど、やっぱりちょっと怖かったな。チカくんのは、子供の頃に見たのとは全然違ってて、こんなに大きいの入るのかなって思っちゃった……。でも嬉しいって気持ちの方が強かったから、わたしが痛がってもやめないでってお願いしたの。とうとうわたし、チカくんのものにされちゃった。幸せすぎて、なんだか夢みたいだよ。



KANOKO AKI
SENRI ENAMORI
MISUMI TSUGIHANA
SHIGIJI KIKURA
TSUBASA TOURI
OTHERS

KANOKO AKI

H Scene 2

ちょっとしたケンカをして、仲直りしたあと。ご飯を一緒に食べるなら、当然お風呂だって一緒だと主張する春近に、つい流されるかのこだった。



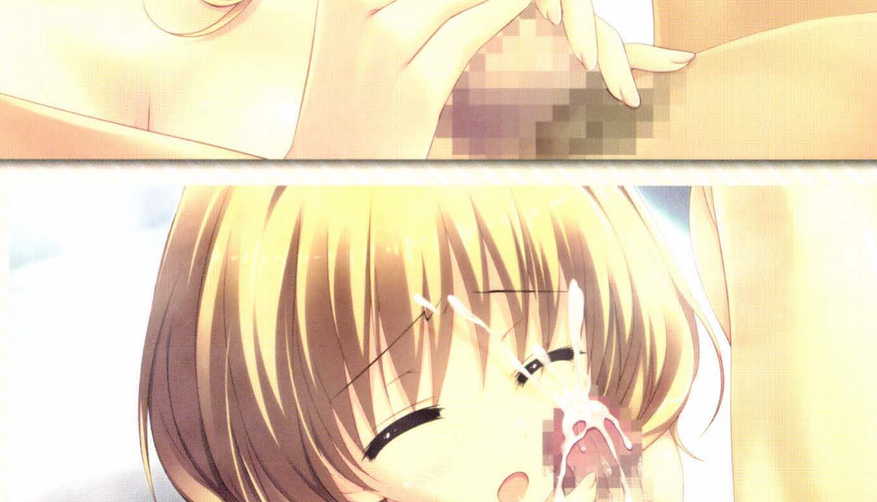


不思議な味だったけど、
うふふっ、これがチカくんの味なんだね……















PRiVATE DiARY

かのこの秘密日記

うう、お風呂が明るくって恥ずかしい。でも今日は、チカくんのをわたしがしてあげるって決めてたからがんばる。わたしの口で気持ちよくなってくれて、嬉しいな♪　でもチカくんたら、ダメって言ったのに入れながら敏感なお豆ばっかり触るんだもん。感じ過ぎちゃって……何度もイっちゃうし大変だった……。



ああああっ、はぁっ、
あっ、はあっ……あああぁあぁあぁぁっ――――!!!!



KANOKO AKI

H Scene 3

はずみでつい裸エプロン姿を要求した春近に、恥ずかしがりながらもかのこは下着ならと応じてくれた。かくしてここに、男の夢が実現する。





んっ、ああっ……チカくんの指、入ってる……









PRiVATE DiARY

かのこの秘密日記

こんな格好したことないから、おかしくないかな……？　チカくんたらお尻とか撫でる手つきがいやらしいよ。慣れてないし、すぐ気持ちよくなっちゃう。嫌じゃないけど私、すごくエッチな子になっちゃったみたいで怖いの。でもチカくんは、そんなわたしでも大歓迎っていってくれるから、いいのかな。だからチカくん、このまま最後までしてほしいな♥



KANOKO AKI

H Scene 4

衣装に慣れたいからと、春近に特訓をお願いするかのこ。どんな特訓かと思えば、かのこは衣装を着たままでエッチな接客訓練を始めて……。



では、お先にキスなどはいかがですか？









PRiVATE DiARY

かのこの秘密日記

てっきりチカくんもエッチなこと考えてると思ったのにー！　真面目に普通の特訓考えてたなんて、恥ずかしすぎる……。でもせっかくだから、わたしから積極的にチカくんをおもてなし。キスのご注文に、たっぷり応えさせてもらっちゃった♪　おっぱいも、それからわたしの中も味わって……おいしいお料理、残さずにぜんぶ食べてね、チカくん♥



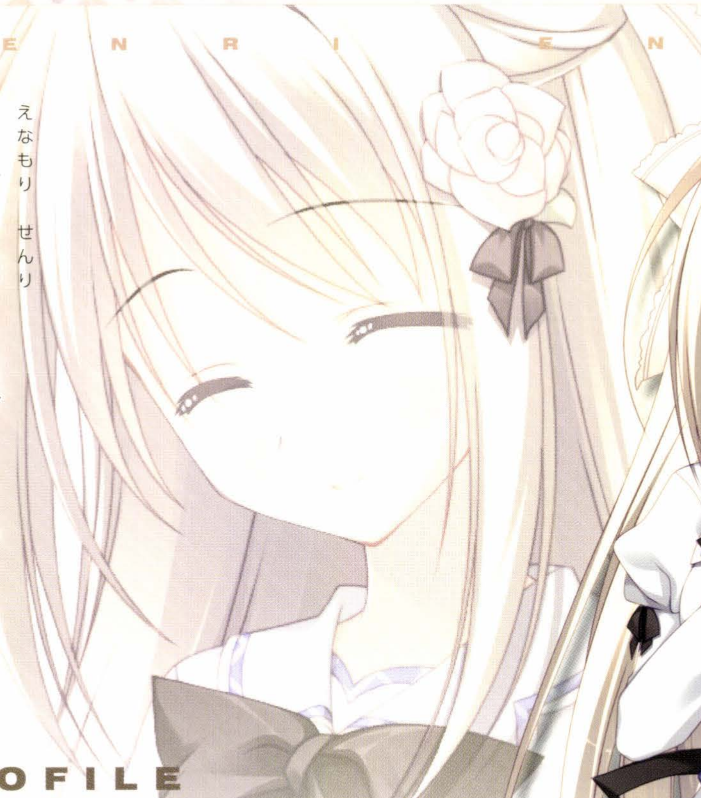
ふぁぁあああぁぁああっ――――!!!!



S E N R I   E N A M O R I

枝那森 千里

えなもり せんり





「……私はどんなことでも春近と一緒なら嬉しいわ」

PROFILE

気が付けばいつも傍にいる。

　春近以外に残った、唯一昨年からの手芸部員。物静かでマイペース、周囲で何が起きようと動じずに定位置で黙々と編み物を続けている。が、人間に興味がないのかというとそんなことはなく、常に春近のことを気にかけている。彼に関することだけは言葉も行動も大胆で決して引き下がることもなく、周囲をしばしば驚かせる。



TOPIC:1

枝那森式編み物

入部以来、ずっと編み物を続けている千里。作品数も相当な数に……と思いきや、完成品はひとつもないという。彼女は春近に教わったやり方で編み上げたあとは、それを全部ほどいてまた違う編み方で編み直す。編み方を憶えることが、彼女の〝編み物〟らしい。

DATA

身　長：157cm
3サイズ：B 82
W52
H 81
誕生日：1月3日
血液型：AB



TOPIC:2

春近優先

千里は、いつでも何よりも春近が優先。春近が部室棟を追い出されるなら一緒に出て行くし、他の部に転部を余儀なくされるならついていく。そればかりか、春近になら裸を見られてもかまわないと言って周囲を唖然とさせた。彼女の世界は、春近を中心にまわっている。



TOPIC:3

差し伸べられた手

千里は幼い頃から、少しずつ視力を失う病気にかかっている。病は今も進行中だが、そのために彼女は、他人を遠ざけるようになってしまっていた。自分を変えることをあきらめていた千里に手を差し伸べ、引っ張って支えてくれた人。それが、春近だったのだ。

CV：白月 かなめ

STYLE



制服　私服　メイド服　パジャマ



水着　裸

FASHION CHECK!

千里ちゃんの服は、シックな色が多いよね。髪の色とか雰囲気に合ってて、すごく素敵だと思う。メイド服もクラッシックな正統派って感じだし、黒のビキニもちょっと大人っぽくて、かえって千里ちゃんの可愛らしさを強調してるみたい！



かのこのファッションチェック



文化部棟の放課後 ティータイム TEATiME



ううん、私は編み物がいいのよ。

ねーねー、せんりはいつから編み物してるの？

去年、春近と一緒に手芸部に入ってからよ。春近に編み物を教えてもらって……それをきっかけにはじめたの。

千里ちゃんは去年から手芸部なんだよね。

千里はいっつも窓辺で編み物してるわね？　飽きたりしないのかしら？

そうそう、今はこんなににぎやかだけどさ。先輩たちが卒業して、はるちーとえなもんのふたりきりだったときもあったよね。

そうですね。……枝那森、せっかく手芸部に在籍しているのだから、たまには違うものを作ってみたらどうだ？

天馬くんとふたりきり……。なんてうらやましい……じゃなくて、そんなに続けてられるなんて、よっぽど編み物が好きなのね。

三澄ちゃんはわかってないね！　えなもんは、はるちーに手取り足取り腰取り、編み物を教えてもらったから、編み物がいいんだよ。

いくら春近でもそんな教え方しないでしょう？　…………しないわよね？

もう見なくても編めると思うけれど……。春近にされるなら、それも素敵ね。今度、お願いしてみようかしら？

なっ……だ、だめよ！　そんなのダメ!!　そんなの……私だってしてほしぃ……はぅぅ。

……？　三澄はなにを慌てているの？

あー、うん。あれだ、普段のふたりを見てるとだな、そんなこともありそうだなって思えてしまうんだよ。

以前は春近のそばにいられれば、他になにもいらないって思ってたわ。だけど最近は、こうしてみんなと一緒にいるのも楽しいって思うようになったの。これもぜんぶ春近のおかげね。



SENRI ENAMORI

SENRI's STORY

千里のストーリー



去年からずっと一緒にやってきた唯一の手芸部員・千里は、いつでもまっすぐに春近だけを見つめていた。春近はそんな彼女が次第に気になりはじめ、ついには恋人同士となる。だがそんな彼らに、次第に視力を失う千里の病という試練が降りかかる。

邪魔になるから帰ってもらった、なんてしてないから心配しないで







ふたりきりになってしまった手芸部で、今日も黙々と編み物をする千里。頼み事を携えた誰かが来はしなかったかという春近に、本気か冗談か判断しにくい答えを返す。頼まれごとで留守がちな春近を待つことが多い彼女の、ちょっとした皮肉なのかもしれない。

My Diary



千里の恋模様編み図

上級生がみんな卒業して、手芸部は春近とふたりっきりになってしまったわ。私は春近がいればいいけれど、春近は部がなくなったら大変だって困ってた。だから、かのこたちが入部してくれてよかったわ。

メイドの格好で掃除に参加したら、色んな人に綺麗とか可愛いと言われたわ。普段あまり褒められないから、嬉しい。でも、春近がウェディングドレスみたいって言ってくれたのが一番嬉しいわ。春近と結婚式の雰囲気が味わえるなんて。お姫様抱っこで撮ったふたりの写真、宝物にするわね。



合宿の夜、春近はひとりで可哀想だから、お部屋にお邪魔したの。一緒に寝てあげようと思ってって言ったら春近、大慌てして面白いわ。友達だから大丈夫でしょうって押し切って、一緒の布団で寝たのだけれど、本当に春近がエッチな気持ちになったらどうしようって、ちょっとだけ怖かった。でも、春近はそんなことする人じゃないのよね。私に掛け布団をほとんどゆずって寒そうにしてるなんて、本当に優しい……。

私の春近への「好き」は、友達としての好きじゃない。心の一番奥にしまってある、大切な「好き」の気持ち。だけど私は、この気持ち







ううん、それがいいわ

うっかり愛用の編み棒を折ってしまい、千里は体育座りでパンツが見えるのも気にならないほど落ち込んでしまう。それは春近が、千里に初めてくれた編み棒だったから。心配した春近がまた自分のお下がりを譲ると申し出ると、それだけであっというまに浮上する千里だった。

ん、春近の匂いもするし気に入ったわ







どこでも好きに座ってと言われ、千里は春近のベッドになぜか寝そべる。裾から見える太ももも気にせず、シーツに鼻を寄せて、春近の匂いがするとご満悦の千里。ベッドの上は今日から、この部屋の中での〝千里の居場所〟になった。

を春近に伝えることはないと思う。ただ、そばにいさせてくれるだけでいいの。

今日は小糸が学園に来て、最後はなんだか大騒ぎになってしまったわ。ラグビー部とのもめ事を収めた春近が職員室に連れて行かれて、もう1時間以上。なかなか戻って来ないけど、春近は何も悪いことはしてないんだから大丈夫。初めて話した時と同じ笑顔で、ちゃんと戻ってくるわ。

入学当時、人と深く関わることを怖がってた私は、そんな自分を変えたかった。でも、なかなか友達は出来なくて……そんな時に、春近は手芸部に誘ってくれて、入部したら毎日強引に引っ張っていってくれた。そのおかげでみんなと話すようになって、私は変われたの。ぜんぶ春近のおかげよ。

昔のことを思い出してたら、春近が部室に戻って来たわ。それじゃ、編み物を片付けて、一緒に帰りましょう。

春近に作品を作ってみないかと言われて、編みぐるみを習うことにしたわ。本を見て憶えるように言われたけど、私は春近に教わりたい。肩にもたれかかって手元をのぞきこんでいたら、春近の様子がなんだかおかしい。椅子を動かして離れるから、私も椅子を移動してまたそばに寄ってくっついたわ。だって、見えないもの。

でもそうしたら由芽が、私が春近にくっつきすぎじゃないかって言うの。恋人同士みたいだって。恋人じゃないと、春近にくっついて座っちゃいけないの？

……そう。恋人じゃないと、ダメなのね。





春近が私に幸せを教えてくれたように私も春近を幸せにしてあげたいの





入院中のベッドの上で、春近に迷惑をかけたくない、でも一緒にいたいというジレンマに苦んでいた千里。そんな彼女に春近が告げた「一緒にいよう」の言葉が、彼女の心をようやく溶かした。色を失った瞳で春近を見る千里の微笑みは、拭いきれない不安に揺れながらも、幸せに満ちていた。

ねえ春近、頭を撫でてくれる？

やけに積極的だった千里と何時間も行為を繰り返し、ようやく落ち着いたひととき。生まれたままの姿で隣に寄り添う彼女は、頭を撫でてほしいと要求する。もうすぐ春近を見られなくなることを寂しがる彼女に、春近の胸はただ痛む。





My Diary



千里の恋模様編み図

春近に編み物を教わりたいなって思ったから、春近のお部屋にお邪魔した。近くに座って編んでいたら、春近があんまりくっつきすぎるのはよくないっていうの。昨日、由芽が言ってたことよね？　今のままの私じゃだめなら……そうね、恋人になれば、くっついてもいいのよね？　そうしようって思ったら春近が……春近が告白してくれたわ。今の、告白よね？　そうなのね？　嬉しい。これでもう、私が春近のそばにいても、誰にも文句は言わせないわ。

恋人になった春近は、恋人らしいことがしたいって言うの。手を握ったり抱きしめたり、キスをしたり……エッチもしたいって、やっぱり春近ね。でも私も、私のことをもっと知ってほしかったから、もちろん受け入れることにしたわ。春近にたくさん愛してもらって……すごく嬉しかった。

ばれないようにすごく気をつけてたのに、流々子には隠し通せなかった。春近にも私の目のこと……もうほとんどの色が見えていないってことを知られてしまった。これ以上は



悪くならないっていう嘘も、春近には見抜かれたわ。そう、私の目はこれからどうなっていくのか、わからないの。春近が心配してく







ライトアップされた噴水が照らす中、千里はきれいな笑顔で別れを告げた。運命をすべて飲み込む覚悟を決めた彼女にはもう、半端な言葉は届かない。夜の中にたたずむそのたよりなげな姿に、春近は必死で手を伸ばす。千里の心に、覚悟を越えた覚悟を届けるために。

あの、ね……あの……
わたし、と…………私と……結婚、してください

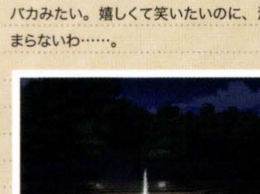


れているのはわかるわ。でも、ごめんなさい。私、怖いの……くわしく病状を知って、これ以上絶望するのが怖いの！　部室を出てうちに帰ろうとしたら、雨が降ってきた。道路を渡ろうと思って、車道に足を踏み出して……そこからはわからない。

目が醒めたら病院のベッドだった。幸いケガは軽い打撲ぐらい。春近はお母さんから、私の目のことを全部聞いたみたいね。それなのに……春近は私を、好きって言ってくれたの。私も春近が好き、すごく好き。ずっと一緒にいたいけど、きっと私は春近の重荷になるわ。……それでもいいの？　私、春近と一緒にいていいの？　ありがとう春近。私、もっと強くなるわ。

もうちょっと、私には時間があると思ってた。こんなに早く、その時が来るなんて。春近のお部屋に行って、いっぱい抱いてもらったわ。勇気がほしかったから……。

次の日は一日、普通の女の子としてデートをしてもらって、夜になってようやく言えた。――今日で最後にしようって。私の目はあと何日かで完全に見えなくなるから、春近の負担になって嫌われる前に、お別れをしましょう。私は一人でも大丈夫よって。　それなのに春近は……別れないって言うの。私を一生面倒見るって、結婚しようなんていうのよ。春近、本当にいいの？　私、普通の女の子じゃいられなくなるのに。春近ったら……バカみたい。嬉しくて笑いたいのに、涙が止まらないわ……。







さよならじゃないんだから、最後は笑ってて？



星が瞬きはじめた屋上で、ふたりは〝その時〟を迎える。千里の目が何も映さなくなる瞬間を、それでも未来への夢を語りながら、彼らは静かに受け入れた。千里が最後に目蓋に焼き付けたのは、誰よりも大好きな春近の、涙に濡れた精一杯の笑顔だった。



大好きよ、春近

今日は部室にめずらしくふたりきり。手の感覚だけで編み物を編む千里を、春近は後ろから手を添えて手助けする。完全に見えなくなっても、ふたりの仲にも手芸部のみんなとの友情にも何も変化はない。季節が冬になっても、愛する人とのひとときが大切なことに変わりはない。ただ季節の巡りを視力がない分、よりあざやかに感じられるようになっただけ。より暖かさを感じられる恋人の腕の中、その目の代わりになってずっとそばにいるという約束を、千里は幸せな気持ちで聞くのだった。

END





My Diary



千里の恋模様編み図

プロポーズされてすぐ、高熱で倒れて入院してしまった。一週間も意識が戻らなくて、お母さんをすごく心配させちゃった。目が醒めたら春近が来てくれて、お母さんにプロポーズのことを話してくれたの。お母さん、すごく喜んでくれた……。

いよいよ時間がないことは、すぐにわかったわ。だから久しぶりに学園に行って、手芸部のみんなに会ったの。春近と出会わせてくれた学園とみんなのことをどうしても見ておきたかったから。この場所のこと、しっかり記憶に焼き付けておかなくちゃね。

そのあとふたりきりになって、春近は私に約束してた赤いマフラーと、それから指輪をくれたの。指輪は私の薬指にぴったりで、本当に魔法かと思ったわ。

最後のお願い。そう言って、屋上につれていってもらったの。もう、その時がすぐそこに来てるってわかるから、この街と学園を春近と一緒に見たかったの……。本当に最後に見るのは、春近の笑った顔がいい。そんなわがままも、春近は叶えてくれた。ねぇ、春近。

私、女の子に生まれてよかった。春近に愛してもらえてよかった。

ありがとう……大好きよ、春近。



SENRI ENAMORI

H Scene 1

恋人同士になったふたりは、ひとつずつ恋人らしいことを重ねてゆく。Hなこともという春近に、千里は春近と出来ることは全部したいと答える。



私、春近と……、エッチなことしてる……







この痛みが、ぁ、春近と……、つながってる証



PRiVATE DiARY

千里の秘密日記



恋人になって本当にすぐだけど、春近だからためらうことなんてなかったわ。ほかならない春近に、女の子の幸せを教えてもらいたかったから……。春近とエッチなことしてるなんて、まるで夢みたい。春近が入って来たときはすごく痛かったけど、最後はちゃんと気持ちよくなれた。春近にはじめて千里って、名前で呼んでもらえたおかげかもしれないわ♪



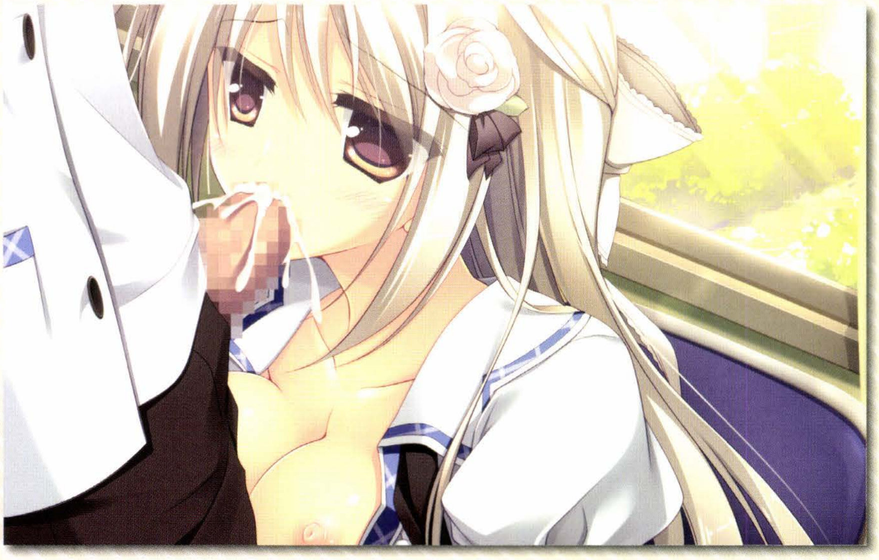




SENRI ENAMORI

H Scene 2

部室でふたりっきりになれば、やっぱりエッチなことを考えてしまう。お互いにそう思っていたことを知り、ふたりは素直に衝動にしたがった。



んむううううう……!!







PRiVATE DiARY

千里の秘密日記

春近が口でしてほしいって言うから、わからなかったけど頑張ってみたわ。恋人同士がすることなら、してみたいもの。男の子のって、なんだか不思議ね。舐めてたらだんだん頭がふわふわしてきて、すごく春近がほしくなっちゃった……。後ろから入って来た春近はやっぱり熱くて、あまり痛くもなくて、あそこも頭もビリビリして、春近が触れるところはどこもかしこも、ぜんぶ気持ちよかった……。







あ……春近の、エッチな、はぁ……っく、濃い匂い……



SENRI ENAMORI

H Scene 3

お見舞いにいった千里の部屋。彼女はわざとジュースを、パジャマの胸元にこぼす。透けるパジャマの下はノーブラ。とても我慢できなかった。

春近の舌……ふぁ、
こすれて……
き、気持ち、いい……









はぁんっ、ぁ、んうぅ……
いい、気持ちいい……！







PRiVATE DiARY

千里の秘密日記

パジャマの上から、ジュースと一緒に舐められて気持ちよくてたまらないわ。春近ったら、ジュース零れてないところまで舐めるんですもの。寝汗、とかかいてるかもしれないのに、恥ずかしい。あそこも舐められて、気持ちよすぎて頭真っ白になっちゃう……。おっぱいを弄られながら突かれて、私、2回もイっちゃった。



SENRI ENAMORI

H Scene 4

泊まりたいと自分から言い出し、春近の部屋に来た千里。春近に勇気をもらいたいと言う彼女は、みずから服を脱ぎ捨て春近を大胆に誘う。







んあああっ、イク、イクの……はるちかぁ、
も、もう……んはあぁああぁぁぁぁあぁ————!!!!





PRiVATE DiARY

千里の秘密日記

今日はたくさん、春近とエッチなことがしたいの。今日はね、特別だから……。でも、春近が入って来てすごく激しくって、ちょっとゆっくりしててお願いしたら、動きを止めるのは意地悪だわ。我慢できなくて、思わず腰が動いちゃう。ねぇ春近、もっと抱いて。何回でも私で気持ちよくなって。二度と忘れられないくらい、春近を感じたいの。……最後、だから。



SENRI ENAMORI

H Scene 5

未来を誓いあい、ふたりは春近の部屋に戻って来た。幸せすぎて不安だという千里。春近は彼女の求めに応じて、思い切りしようと抱きしめる。



くすっ、春近のココ、敏感なところばっかりね













嬉しいのに、嬉しすぎて……ぅっく、うぅ……ううぅっ



PRiVATE DiARY

千里の秘密日記



もう二度と来ないと思ってた春近の部屋に、戻って来られた。だから、私の不安を吹き飛ばすくらい思いっきり抱いて。春近の気持ちいい顔も、全部憶えておくから。春近に触られて、奥をごりごりってされると、もう何も考えられなる。もっと激しく抱いて。どんなことでもして。私の身体は、ぜんぶ春近だけのものよ。だから、一生離さないでね……。



継花 三澄
つぎはな みすみ



PROFILE

高嶺の花だなんて言わないで。

前年度の粟生七舟学園ミスコンテストのグランプリ受賞。抜群の容姿と完璧なプロポーション、成績優秀スポーツ万能という完璧さだが、本人はそれをまったく意識していない、ちょっと天然な人。学園のトラブルメーカー流々子を姉に持つ反動か、真面目で少々お堅いところがあるが、押しには弱く、結局最後は許してしまう。



TOPIC:1

天然系完璧少女

どこを切っても疑いようのないハイスペックなのに、当の本人はそれをさっぱり自覚していない。自分がモテるとはカケラも思っておらず、ミスコンで優勝したのも、流々子の妹だから面白がられただけだと考えている始末。ある意味、罪な女と言えるかもしれない。

DATA

身　長：161cm
3サイズ：B 88
W56
H 84
誕生日：11月21日
血液型：B



TOPIC:2

三澄さん落ち着いて

根が真面目なので、急に褒められたりからかわれたりすると、受け流せずにわたわたしてしまう。照れる、慌てる、などの状態になると、なぜか無意識に敬語になるのが妙なクセ。ときには妄想を暴走させて、ひとりで真っ赤になったり焦ったりしていることも……。



TOPIC:3

母と娘の関係

三澄の母は、七舟学園の教師。厳格な彼女は、三澄が試験やスポーツでいい成績をとっても褒めることはない。三澄はそんな母との間に、距離を感じてしまっていた。嫌われているのかとすら思っていたが、それが誤解だということが春近の策略で明かされることに。

CV：有栖川 みや美



制服　私服　メイド服　パジャマ



水着　裸

FASHION CHECK!

三澄ちゃんならもー何を着たって、いっそ着てなくたってサイコーでしょー！　ほら、フリルの私服にアリスみたいなメイド服、シンプルなパジャマさえ、三澄ちゃんが着ればパリコレも真っ青！　リボン付きの水着なんて鼻血モンだよー。



流々子のファッションチェック



文化部棟の放課後
ティータイム
TEATiME




今日も、来てあげたわよー。……って、あれ？　どうしたの？


おそらく、テストが近いので、その勉強をしているのだと思います、お嬢様。


試験前で部活はお休みだから、かわりにお勉強会なの。わからないところは、みんなで教えあったりしてるんだよ。


といっても、みすみは教える側ばっかりだけどね～。


そりゃそうさ！　だって三澄ちゃんは、成績優秀、スポーツ万能。その上、プロポーションも抜群なんだからね!!


ね、姉さん!?　プロポーションとか試験に関係ありませんから！　そんなこと言うの止してください、恥ずかしい！


おまけに流々子の尻拭いもできる、しっかり者だわ。


ちょっとー、仮にもミス七舟の姉に向かって、尻拭いってなんだいなんだい。せめてフォローと言っておくれよ。


そういえば、どうして三澄はミスコンに出たの？　あまり自分から出たがらなさそうだけど。


それはあたしが勝手に申し込んだのさ！　それでぶっちぎりで優勝しちゃったんだよねー。さっすが三澄ちゃん。よっ、女神！


姉さん、いい加減に止めないと怒りますからね。もう口きいてあげませんよっ。


やだやだやだー！　そんなことされたら、世界が滅んじゃう。三澄ちゃん、お願いだよぉ、お姉ちゃんとお話しよ？


……はぁ。もう、しょうがないですね。許すのは今回だけですよ。あまり軽率な言動は謹んでくださいね。


いつも思うんだけど、なんだかんだ言っても、結局、みすみは甘いよね。

姉さんのおかげで、天馬くんと……いえ、手芸部のみんなと知り合えたわけですし、それは感謝しているんですが……。でもやっぱりあそこまで褒められると、いたたまれなくなります。



MISUMI TSUGIHANA

MISUMI's STORY

三澄のストーリー

学園のアイドル的存在ながら自覚ゼロの三澄は、ちょっとしたきっかけで出会って以来、春近のことを気にしていた。あるとき、うまくいっていなかった彼女と母親の関係を、春近が策略により見事に修復。そのことで三澄の恋心は一気に加速してしまう。



んっ、んん〜！　と、取れないこのゴミ……







掃除の手伝いを、人集め用のメイド服でする三澄。夢中なのか、スカートのまま屈んだりと無防備この上ない。今も春近の目の前で、大胆に突き出され、スカートの中が見えそうで見えないお尻が揺れる。どうしても目が離せないのは、不可抗力であると主張したい。

My Diary



三澄の恋する乙女ダイアリー

姉さんを捜していたら、いつも姉さんが話してる手芸部の天馬くんに会いました。会ってみたら想像してた通りの人で、姉さんが大好きだっていう理由もわかる気がしたな。もっと早く、会ってみればよかったかも。紛らわしいから名前で呼んでってお願いしたけど、実際に呼んでもらうと、なんだかすごく恥ずかしいっ！



部員が5人を切ると同好会になっちゃうって、天馬くん知らなかったみたい。そうしたら姉さんが、私が手芸部に入ればいいって。そ、そうよね。姉さんがいつも入り浸ってるんだから、私が入部して姉さんをちゃんと監視しないと！　だからこの場合、入部は妹としての義務よね、天馬くん!?

コス研で撮ったっていう写真を見せてもらったんだけど、天馬くん、メイド服の女の子たちに囲まれて楽しそう。やっぱり男の子だから、メイドみたいなの好きなのかしら……。でも、頼まれた掃除のときも美術部の女子にちやほやされて嬉しそうにしてたし、もしかして女の子なら誰でもいいの!?　しかもそれで、美術部の子たちに私がヤキモチ焼いたのって聞かれたら、そんなのあるはずないって……。天馬くん、本当に鈍すぎる。あ







振り返るとそこには、プールサイドに腰掛ける三澄の姿があった。抜群のプロポーションを包むシンプルな水着、濡れて白い肌に張りつく黒髪に目が吸い寄せられる。ふざけて水をかけてくる彼女は、普段の三澄からは思いつかないほど、のびのびとはしゃいでいる。

それならあとで私も天馬くんを追いかけてみようかなぁ……なんてね♪



んな鈍さじゃ、私の気持ちになんて気がつくはずないよね……。

合宿の夜、疲れてるのに寝付けなくて、学園の中を散歩してた。昼間があんなに楽しかったせいかしら？　天馬くんとのプールで水のかけあいは、まるで恋人同士みたいで……やだ私ったら、こ、恋人なんて！
でもプールの水を汲みに来た男子から守ってくれた天馬くん、かっこよかったなぁ。手芸部のみんなも、天馬くんが好きみたいだし、ライバルが多くて前途多難。だけど……うん、頑張らなくっちゃ！

放課後にみんなが、今日の小テストのことを話してた。私は一応全部90点以上だったんだけど、母さん……継花先生には満点も狙えたはずよって言われちゃった。そうよね、もっと努力しなくちゃ。今日から部活の時間も、勉強させてもらおう。

陸上の走力テストで9位になったから、継花先生に言ってみたの。けっこう、いい成績だと思ったから。でもやっぱり先生は、何も言ってくれなかった……。やっぱり私、先生に……母さんに嫌われてるのかな……。中庭を通りかかったら、先生が天馬くんに愛してるって言ってるのが聞こえたの。ええーっ！　どういうこと!?　天馬くんは誤解だって言ったけど、だったら……？

放課後に時間をとってと言われたから、天馬くんの言うとおりに仕掛けをして、コス研で待ってみた。手芸部に仕掛けてあるPITが先生と姉さんの声を拾ってる。聞こえてきたのは――私への愛情が駄々漏れな先せ……お母さんの声。どうしちゃったの？　私の知ってる母さんと全然違うもの!?　母さん、私が小さい頃に「お母さんカッコいい」って言ったイメージをずっと守ろうとして、クールを装ってたんだって。もう、母さんたら……ごめんね。大好きよ……。



それじゃいただきまーす……
はむ。ん……おいしい♪

学園の帰りに公園に寄り道、ふたりでクレープを食べる。甘い物好きな三澄は、顔をほころばせて嬉しそう。春近のクレープを間接キスだと恥ずかしそうにかじったあと、自分の分も春近に差し出して来た。お互いにあーんと食べさせあうも、緊張でろくに味はわからない。







My Diary



三澄の恋する乙女ダイアリー



何もかも天馬くんのおかげだなぁって思ったら、もう天馬くんのことが頭から離れなくなっちゃった……。でも会うとドキドキしちゃって、まともに顔が見られなくて、つい避けちゃったりして、私ったら何やってるのよー！　そのうちにどういうわけか、姉さんと母さんが天馬くんと楽しそうに話してる。まさか姉さんだけじゃなく、母さんまで天馬くんを……？　もう恥ずかしいとか言ってる場合じゃない。勇気を出すのよ三澄！　そうだ、姉さんからもらったチケットで、デ、デートに誘ってみよう。

待ちあわせ、1時間も早く着いちゃった。だって落ち着かなくて……天馬くんが来てくれたら、私ったらますます挙動不審かも。映画もショッピングも、ふたりでまわるととっても楽しくて、時間が経つのがすごく早い。はぐれないようにって天馬くんが手を繋いでくれて、幸せすぎる♪

夕方になって、公園のベンチで空を見てたら、言わなくちゃって気持ちになった。天馬くんに、私の素直な気持ちを伝えて、好きですって——。そうしたら天馬くんも、私のことを好きだって言ってくれたの。ぎゅっと抱きしめて……って、そこでどうして姉さんと母さ

好きな人と触れ合うって、こんなにも幸せなことだったのね……







初めての行為のあと、ベッドで寄り添う三澄は気恥ずかしくも嬉しそうに微笑んだ。抱きついてくるまだ火照りの引かない身体を抱きしめると、結ばれたばかりの恋人は眠たそうな様子。結局ふたりは裸のまま、眠りに落ちるのだった。

な、なんかちょっと変な感じ……。重くない、ですか？







せっかく人目のない春近の部屋にいるのだからと、もじもじしながら膝抱っこ。重いのではと気にして降りようとする身体を、しっかりと腕に閉じ込める。ぴったりと密着して身動き取れない状態を、少しも嫌じゃないと三澄は笑う。



んが出てくるのー!? えっ、最初から全部見てた? わ、忘れてええっ!

お弁当を作ってあげて、放課後にデートして、キスもして……毎日、すごく幸せ♪ イチャイチャしてるって言われたけど、普通に恋人同士として付きあってるだけよ? それに私たち、まだ……そういう、ことはしてないもの。だけどどうやったら春近くんと、先に進めるのかしら……。やっぱり私に、女の色香が足りないからダメなの? 悩んでたらいきなり姉さんと母さんに乱入されてびっくりした! でも悩むよりやってみるべきっていう母さんの言葉でふっ切れたわ。母さん……私、やってみます!

思い切って春近くんに、次の連休にお部屋に泊まりに行ってもいいですかって聞いてみた。春近くん、すごく男らしく、来てほしいって言ってくれたの。

金曜日はお泊まり荷物を持って、春近くんの部屋へ。夕食を食べてお風呂に入ったあとに……すっごく緊張したけど、ちゃんと結ばれることができた。好きな人と抱き合うのって、こんなに気持ちいいのね♪

それから3連休の間、私たちは春近くんの部屋でずっとイチャイチャして過ごした。もちろんエッチもいっぱい♥ 特に3日めは、朝から夜までずっと春近くんと……。きゃあああ! 思い出すと恥ずかしいかも!

お休みが終わって、今日からまた学園。春近くんと離れるの寂しいけど、あんな生活続けたら、ダメになっちゃいそう……♥



父さん……私は…………！









小さい頃に亡くなった父が残した、メッセージビデオ。そこには仕事ばかりだと思っていた父の、家族への本当の気持ちがこめられていた。やっと知ることができた父の想いを受け止めながら、母と娘たちはただ涙を流す。不器用だった男の愛の形が、そこにはあった。

さぁ、行きましょう！……一緒に、ね？







アルバイトの助っ人で、一緒に着ぐるみを着る三澄と春近。舞台の裏での休憩時間、ふたりは先日のことを話す。それは三澄の父の墓参りに春近が同行した時のこと、彼が父に伝えた言葉を、三澄は嬉しそうに再現する。将来、三澄と結婚したいということ、家族みんなを守っていきたいということ。一言一句間違えずに再現されていたたまれない春近に、三澄はとびきり幸せな笑顔を向ける。この後いちゃいちゃするために、まずは仕事を終わらせようと、ふたりは再び着ぐるみをかぶるのだった。

END

My Diary



三澄の恋する乙女ダイアリー

週末に春近くんのお部屋に泊まったとき、家族の話をして、その流れで春近くんは私の父さんのことを聞いて来た。そうね。春近くんには、聞いてもらいたいな。

それから私は、小さい頃に事故で亡くなった父さんのことを話した。仕事仕事でほとんど家にいなかったこと、亡くなった日は母さんの誕生日だったけど、おめでとうの言葉もなかったこと。最後に入ってた留守電にも、仕事に関することだけが吹き込まれてて、母さんが寂しそうだったって話をしたら、急に春近くんが起き上がった。

裸で飛び出そうとした春近くんをあわてて止めて、ふたりで私の家へ。父さんの言葉に違和感があるっていう春近くんの指示通りに探したら、引き出しの奥で父さんが残したビデオテープを見つけた。

録画されていたのは、父さんが残したメッセージ。母さんと私たちへの愛情が伝わってくる、照れ屋な父さんの精一杯の……。父さんは、私たちをこんなに愛してくれていたんだね。ずっと、知らなかった。

ありがとう春近くん。おかげで本当の父さんを知って、また春近くんに救われた。春近くん大好き。人気者の春近くんだから心配だけど、ずっと私のそばにいてね。



MISUMI TSUGIHANA

H Scene 1

もっと春近と先に進みたくて悩んだ三澄。流々子と母に発破をかけられ、勇気を出して春近の部屋へお泊まりに。そして夜、ついにその時は来た。



私を……
あなたのもの……っ、
……してください……







まだ痛みがあるのに……お腹の奥が、
きゅんきゅんって、して……





PRiVATE DiARY

三澄の秘密日記

思い切ってお泊まりに来たけど、すごく恥ずかしくて緊張して……とうとう胸を触られて、どうにかなりそうだった……。天馬くんが入って来たとき、私が痛いだろうって、じっと動かないでいてくれたの。でもそのうち私の方が、お腹の中がきゅんきゅんして我慢できなくなっちゃった。すごく気持ちよくて、溶けてしまいそうだった……。



MISUMI TSUGIHANA

H Scene 2

連休二日目の朝。先に起きて朝食を作る三澄の姿に、春近は我慢できずに抱きついた。こんな朝っぱらからと思いつつ、つい若さは暴走する。





こんなにお尻を突き出し、て……くぅ！
後ろから、なんて……ふあぁぁぁ！







PRiVATE DiARY

三澄の秘密日記

天馬くんたら、お料理中にいきなりだなんて……！　でも胸を揉まれたら気持ちよくなっちゃって、今やめられたら困る……。私ったら、昨日初めてしたばっかりなのに、天馬くんが後ろから入って来たらもう、エッチな声が止まらなくて恥ずかしい。たくさん突かれていっぱいいっちゃったけど、やっぱり朝からは身がもたないかも……。



MISUMI TSUGIHANA

H Scene 3

休日をいちゃいちゃと過ごすふたり。夜は三澄が一緒にお風呂に入ろうと誘ってくる。やっぱりお風呂の中でも、いちゃいちゃは止まらない。







私が指を動かすたびに……
んっ、体も、ここも……
ビクッってしてる……
はぁ、んっ……んんっ……

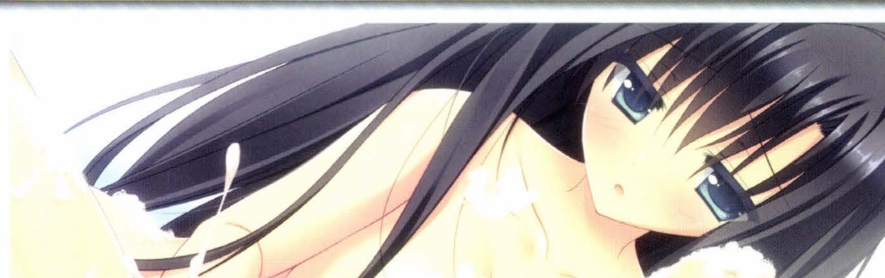


PRiVATE DiARY

三澄の秘密日記



一日中一緒にいたから、お風呂も一緒に入りたくて誘っちゃった。身体を洗ってあげてたら、天馬くんのアレがすごく元気になって……。もう天馬くんたら、しょうがないなぁ。男の子はこういうときは、オ、オナニーをして鎮めるんですって。恥ずかしがらせちゃったお詫びに、天馬くんのを手でしてあげたの。天馬くん、すごく気持ちよさそうで、なんだか可愛かったぁ……。



MISUMI TSUGIHANA

H Scene 5

呼び出されて部室に行ってみれば、そこにいたのはメイドさん!? わざわざコス研で借りた衣装に身を包み、メイド三澄のご奉仕が始まった！





私の舌で、たくさん気持ちよくなってください









イク、イッちゃいますご主人様ぁ!!

PRiVATE DiARY

三澄の秘密日記

メイド好きの天馬くんに、今日は大サービス！ いっぱいご奉仕しちゃいます♪ まずは私のお口で気持ちよくなってくださいな。ふふっ、たくさんだしてくれて嬉しいです。そのあとは、コスチュームは半脱ぎがエロいってアドバイスされたから、下着だけ脱いで中でご奉仕。……するはずだったのに、途中から私の方が気持ちよくされちゃった。もう……ご主人様ったら、大好きです♥





S H I O J I K I K U R A

木倉汐路

きくら しおじ

「黙れ、貴様は口を閉じている」



PROFILE

デレとは考えるんじゃない。感じるんだ。

参宮由芽に仕える従者兼護衛。主人である由芽にのみ忠実で、彼女に近づく者、特に春近を過分なほどに敵視している。他人にも自分にも厳しく、常に自らを鍛える護衛の鏡。だがその反面、女の子らしさやオシャレなどには無頓着で、特に恋愛方面については自分には無関係と思っており、鈍感を凌駕する鈍感さを発揮してしまう。



TOPIC:1

エネミー・春近

出会いが悪かったのか、汐路は最初から春近を敵と認定、ことあるごとにつけ狙う。由芽を脅かすケダモノという扱いだったのだが、得意の武器である寸鉄での攻撃をかわしてしまう腕を認め、いつしか由芽を託せる唯一の相手として、信用するようになっていた。

DATA

身　長：159cm
3サイズ：B 78
W54
H 82
誕生日：10月8日
血液型：O



TOPIC:2

お寝坊汐路

常に隙なく気を張りつめている汐路だが、寝起きだけは別。朝に弱いのかすぐには目が覚めず、その際に頭を撫でたりすると、信じられないほどの甘えっ子に変貌する。ふにゃふにゃな様子はすごく可愛いらしいが、試した際に正気に返ったあとの命は保証できない。



TOPIC:3

女の子として

汐路は、自分に女性としての魅力があるとはまったく思っていない。たいていの男には怖がられてしまうから、自分を女として好きになる相手などいないと考えていたのが、鈍感さの原因らしい。ごく自然に自分を女の子として扱う春近に、とまどいを隠せない。

CV：青葉 りんご

S T Y L E



制服　私服　メイド服



水着　パジャマ　裸

FASHION CHECK!

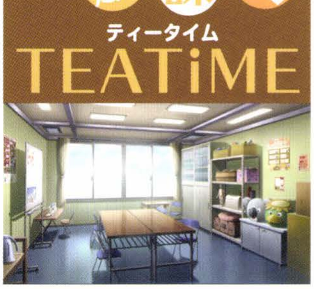
汐路のファッションは、動きやすさが基本ね。似合うと思うけど、たまにはメイド服みたいに可愛いのもいいと思うわよ？　水着は選ばせるのに苦労したけど、その甲斐はあったわ！　あとそれパジャマじゃないけど、なんか色っぽいから許可！



由芽のファッションチェック



文化部棟の放課後ティータイム TEATiME




汐路さんは優しくて凛々しいから。憧れてる女の子、私のクラスにもたくさんいるわ。


いやぁ、女の子だけじゃなくて、男子もだよ。特にその胸、小さいながらも柔らかさは◎。思わず揉みたくなるよね！


こ、こらっ、どさくさで触るな！　胸の大きさなんて、お嬢様の護衛には不要でしかない。私はこれで満足しているんだ。


まったく汐路ときたら……。もう少し、女性として気を使ってもいいと思うのよ。下着だってわたしが選んでるんだから。


すまないが、このお菓子食べるの手伝ってくれないか？


しおじ、また女の子にもらったんでしょー。さっき廊下で囲まれてるの、わたし、見ちゃったもん。


くすっ……。
でも、なんだか汐路らしいわ。


ねーねー、もうお菓子食べていい？　おしゃべりしてたらおなかすいてきちゃったー。


ああ、すまない。遠慮せずに食べてくれ。私は……そんなにいらないから。


え、汐路さんどうしたの？
お腹でも痛いのかな？


違うわ、かのこ。汐路はね、太ると身体が重くて私を護れないって、普段から節制してるのよ。


なるほど。だからしおじぃがいつも隠し持ってる鉄針、あれだけの威力があるんだねぇ。


そういえばこの前もさー、はるちかとどっかの運動部の男子が投げられてて、涙目になってたよね？


売られた喧嘩を買ったまでだ。まぁ、天馬は仲裁しようとしたらしいが……。あいつはいつか始末してやる。

鉄針というか、いわゆる寸鉄なんだが……天馬にはどうしてだか避けられる。まったく可愛げのない男だ。だが、この私と互角に渡り合える点だけは、評価してもいいだろう。



SHIOJI KIKURA

SHIOJI's STORY

汐路のストーリー

名家の少女・由芽の護衛として、女らしさとは無縁に生きてきた汐路。最初から敵認定されていた春近だが、そんな彼女が気になり、ついに告白する。汐路はとまどいながらそれを受け入れるが、恋愛に疎い彼女とのおつきあいは前途多難だった。



お嬢様、潰しますか？





小さな身体に風格をたたえ、ラグビー部に説教する少女・由芽。その隣に従うように立つ汐路からは、警戒する様子が伝わってくる。由芽から声をかけられてつい気さくに応じてしまったせいで、春近はこの後ずっと汐路から虫けらのごとく扱われることに。

My Diary

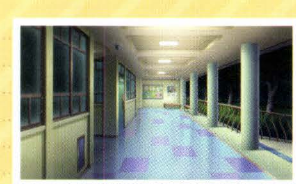


汐路の初恋シークレットファイル

天馬春近というのは、本当に失礼な奴だ。由芽お嬢様を侮辱しただけでも許し難いのに、お嬢様が大将を務めた合同懇親会なるイベントでだまし討ちをするなど、卑怯極まりない。あんな策略に負けて、木倉汐路一生の不覚だ。そのせいでお嬢様は、手芸部に入部することになってしまって……でもお嬢様は、なぜかご機嫌なのだが。

今日の部室抽選会とやら、実際は天馬の取り合い会だったな。なぜあんな男を皆が構うのだろう。わからなくてイラついていたのをお嬢様に気付かれ、白状させられた。お嬢様は、あいつが温かいからではないかという。それでもやっぱり、理解できない。だが少なくともお嬢様の信頼は勝ち取っているようだ。信頼を裏切ったら許さないぞ。

文化部で合宿をするのだという。お嬢様も参加するのだから、当然私は部屋の前で寝ずの番。こうしているとつい、昼間のことを思い出してしまう。水着姿の私に、臆面もなくかっこいいなどと言う天馬……なぜ奴は、こ



んな女らしさの欠片もない私を女の子扱いなんてするんだ。理解できない。イライラする！

天馬め……許さん！



その言葉、そっくりそのまま返そう

ウンザリした表情で、汐路は自分を取り囲む運動部男子を見る。このままではマズイと、割って入ろうとする春近を止める由芽。ふたりの目の前で、汐路は冷静なまま見事な技の冴えを見せる。鮮やかな手腕で運動部を撃退する姿は、とてつもなく格好いい。







慈悲？なんだそれは、美味いのか？

一仕事終え、中庭に寝転ぶ春近が見上げると、そこにはパンツがあった。背伸び気味の由芽のパンツと、黒ストッキングに包まれた意外に大人っぽい汐路のパンツ。目を逸らせない男の性に苦悩する春近の視界は、容赦ない汐路の靴底に遮られた。

　あらためて敵認定していたら、天馬の奴が通りかかった。女の子を夜中に一人にしておけないなどと言って、寝ずの番につきあうとは、本当にこの男、どうかしている。

　お嬢様が駒と遊んでおられる間、私は外で張り番。中でお嬢様を護衛するのは天馬にまかせる。天馬がお嬢様に危害を加える人間ではないことくらい、既に理解しているんだ。それに……私がいると雰囲気が壊れて、お嬢様が楽しめないからな。思わずそうこぼしたら天馬の奴は、私と一緒にいるお嬢様がすごく楽しそうだと……。きっと、あいつの目は節穴なのだな。

　ラグビー部が起こした騒動を終息させた天馬が、職員室へと連行させられていった。待っているお嬢様たちの中から少し抜けさせてもらい、ひとりで反省する。あの時、私は一瞬とはいえ天馬にお嬢様の護衛の役を押し付けた。それは私の役目なのに。人に責任を押し付けるなんて、私は最低だ。

　自己嫌悪に陥っていたら、ちょうど天馬が戻って来た。こんな奴に頭を下げるのは気にくわないが、私が悪かったのだからといさぎよく謝った。そうしたら天馬は嬉しいと言う。私がお嬢様の護衛をまかせたのは、自分を信頼してくれたからだろうと。

　お嬢様を守れなかったことを天馬のせいにして八つ当たりした私。護衛をまかせた私の信頼を裏切った天馬。どちらも悪かったことにしようなどと言うから、思わず笑ってしまった。貴様は変なやつだな、天馬。





き、きききききっ、貴様っ……！





寝ぼけてふにゃふにゃと甘える仕草が、いつもの姿からは想像も出来ない。春近がじっと見つめていると、汐路は突然覚醒した。春近と目があい、まるで瞬間湯沸かし器みたいに、真っ赤に染まる汐路の顔。必死に落ち着かそうとする春近の言葉も、耳に入るわけがなかった。







私は……女、だったのだな……

初めて結ばれた翌朝、目が醒めると隣には汐路がいた。裸で寄り添い、行為の余韻に浸る彼女は、しみじみと少し前までの自分を振り返る。女として欠陥があるのではとすら思っていた自分も、愛する人を受け入れることができるのだと。

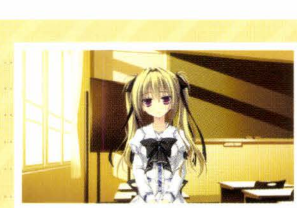
My Diary



汐路の初恋シークレットファイル

お嬢様から突然、アイスを買って来いとのご命令。それはいいのだが、なぜ1時間かけろと？　しかも天馬と一緒に行けと？　私の護衛だと言われたが、かえって足手まといなんだが……。公園で時間をつぶしていると、天馬はよっぽど話題がないのか、私に彼氏がいるかだの好きなタイプだのを聞いてくる。まぁ、今は恋愛に興味はないんだが、いずれ伴侶ができることはあるかもなと、無難に答えておいた。

いきなり天馬に屋上に呼び出された。何かと思えば、「俺の恋人になってほしい」だと。この男、一体何を企んでいる。まさか私に取り入って参宮家に近づこうと……？　その手には乗るものかと牽制したら、なぜかお嬢様に叱られてしまった。お嬢様は私に、天馬は私のことが好きなのだと言う。ありえない。あいつの周囲には、可愛くて天馬に好意的な女子がたくさんいるのに。でもあいつが嫌いかと聞かれれば……信頼できるし、好ましいと思う。自分の心に素直になるよう言われ、一晩考えることにした。



考えた末、翌日天馬を教室に呼び出した。告白を信じず気持ちを踏みにじったことを謝罪し、もう一度話を聞いて、それから私の素







汐路のパンチをくらい昏倒した春近が目を覚ますと、目の前に汐路の心配そうな顔があった。後頭部に感じる柔らかな感触。汐路に膝枕されていると気付いて、春近の頬がゆるむ。安らいだ表情で優しく頭を撫でる汐路の手は間違いなく、しなやかで温かい女の子の手だった。

ああ……好きにしてくれ。お前に膝枕をするという行為も……思っていたほど悪くはない



直な気持ちを……恋愛のことはよくわからないけれど、天馬の恋人になってもかまわないと告げたんだ。だけど、いきなり抱きつくのは調子に乗りすぎだ！

お嬢様が駒の家に泊まるというので、私も天馬の部屋に泊まることにした。前回同様、邪魔しないように護衛するには最適だ。だが天馬の様子がおかしい、と思っていたら、この男、妙なことを考えていた。そうか……意識していなかったが、恋人なのだから、そういうことをする、よな。うん。

寝る時間になったら天馬は、普通に寝ようと言い出した。覚悟は決めていたのに、なんで……。だけど本音はしたいのだと言ってくれて嬉しかった。だから天馬、私に求められるという女の幸せを教えてくれ。

修行だ！ 手芸部での活動として、私は修行を推すぞ！ 天馬しか応じてくれなかったが、まぁ仕方ないな。一対一での戦闘訓練、水中での模擬戦、護衛の座学。どれもしっかりついてくるとは、見どころがあるな、天馬！

……だけどどうして、修行したあとはエッチなことをしたくなってしまうのかな。なんだか自分が信じられん。

天馬に抱かれる度に、自分が女なのだと実感する。女の身体は護衛には向いてない。正直、男の身体がうらやましいと思ったこともある。だけど今は心から思うよ。天馬と出会えて、私が女でよかった。天馬の恋人になれて、よかった……。







由芽と巴菜の諍いも、誤解が解けて大団円。……のはずが、なぜか春近がふたりに手を出すつもりという話になって、汐路は大激怒。姉妹を両脇に抱え、春近はとにかく逃げることに。学園のグラウンドには、場違いな愛の言葉を叫ぶ春近と怒る汐路、そして姉妹の幸せそうな笑い声が響くのだった。

待てええ、天馬あああっ!!
うわ、浮気は許さないからなあああぁっ!



うぅ……言わないと約束したのに……
お嬢様たちはいじわるだ……

騒動がようやく収まり、久しぶりの汐路とのデート。だが、うかれる春近との待ちあわせ場所にやってきたのは、由芽と巴菜姉妹と一緒の汐路だった。ついついがっかりしてしまう春近だが、言われてよく見れば汐路は、フェミニンなワンピースを身につけ、髪型もいつもと違う。あまりの可愛さに見惚れる春近に、姉妹は汐路がその服を選ぶのに2時間費やしたと暴露する。全部バラされ照れまくる汐路と、イタズラ姉妹。春近は今日という日を4人で楽しもうと決めるのだった。

END





My Diary



汐路の初恋シークレットファイル

学園の帰り、見覚えのある車が止まったと思えば案の定。巴菜様が、お嬢様を連れ戻しにいらした。お嬢様はなぜか巴菜様には、どれほど侮られても強く出られないのだ。

翌日から、お嬢様は七舟学園に通うのをやめられた。私も今は、天馬と距離をとっている。天馬を、参宮家の事情に巻き込むわけにはいかないから。そろそろ天馬も、私に失望しているだろう。そう思うと、心が痛かった。

だが、校門で私を捕まえた天馬は、私とお嬢様のためなら、参宮家と闘うと言ってくれた。嬉しいけれど、やはり私はお嬢様を選ぶ。だから、すまない。もう天馬には会わない。

最後に天馬に事情を話し、別れを告げた時。天馬は泣くお嬢様を抱きしめ、事態をなんとかすると言い出した。まさかと思ったが、天馬はお嬢様の解放を条件に巴菜様に勝負を挑み、あっさりと勝利してみせたのだ。巴菜様が最初から勝つ気がなかったこと、実はお嬢様が大好きだということを見抜いていたらしい。すごいな。天馬はすごいやつだ。

お嬢様と巴菜様は、仲直りをされた。本当によかったが、まさかお前、おふたりに手を出すつもりなのか……？　待て天馬、そこへ直れ！　お前の恋人は私なんだ。う、浮気は絶対に許さないからなあああっ！



SHIOJI KIKURA

H Scene 1

突然、汐路が泊まりに来た。ただの由芽の付き添いのつもりらしい汐路だが、春近の言動ですっかり意識してしまう。そして寝る時間に……。



私に……
求められる幸せを、
教えてほしい……







て、天馬のっ、中でっ、動いてっ、んんっ！









PRiVATE DiARY

汐路の秘密日記

以前に泊まったときと同じに考えていた私は、やっぱりバカだった。私と天馬は恋人同士なんだから、そういうこと、だよな？　天馬は遠慮したけど、女としての幸せを教えてほしくて、抱いてもらったんだ。自分の中に誰かが入っているのは、不思議な感覚だ。すごく痛かったけど、天馬だから嫌じゃない。ああ、こうして求められるのが、女の幸せなのかな。



SHIOJI KIKURA

H Scene 2










PRiVATE DiARY



SHIOJI KIKURA

H Scene 3

プールで戦闘訓練と言いつつ、水着姿で密着すれば、やっぱりHしたくなってしまう。女子シャワー室にこっそりこもり、ふたりは抱きあった。





なんだ、
天馬のここは
弱点だらけだな







あそこ……こんなに、気持ちいい……なんて、
私……おかしく、なりそうだ……





PRiVATE DiARY

汐路の秘密日記

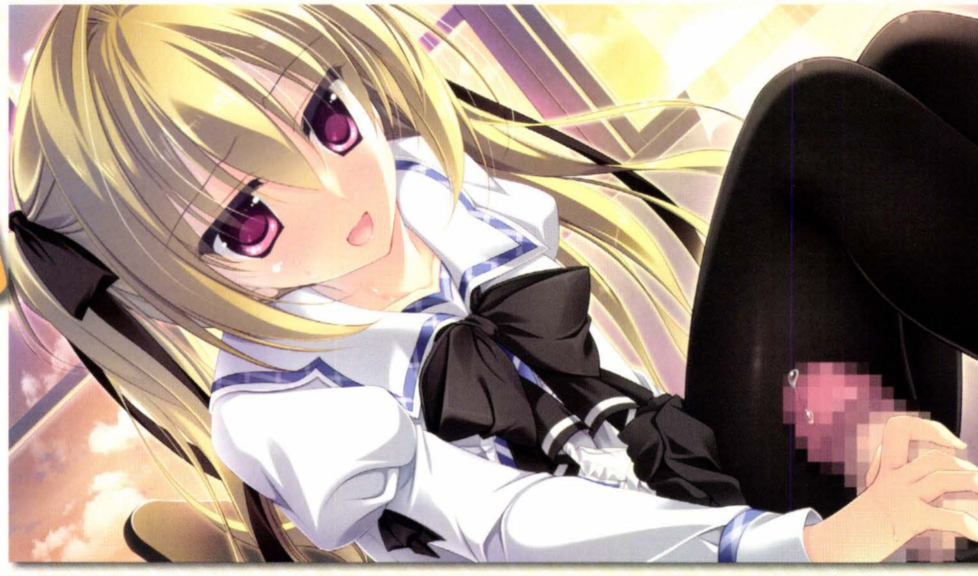
プールの戦闘訓練では、卑怯な手にやられたから、仕返しをしたぞ。後ろからアレを弄って、耳や首筋を舐めて翻弄してやった。でもそうしてるうちに、私自身がすごくほしくなってしまったのは仕方ないことだよな？
天馬の上に乗って、アレを飲み込んで揺さぶられて、最後はなんだかすごくて……そうか。あれがイクという感覚なんだな……うん。



SHIOJI KIKURA

H Scene 4

デートに応じてくれた汐路が選んだコースは、学園での護衛の勉強。理不尽だと思いつつ講義をがんばった春近は、汐路にご褒美をねだる。



こんなに
大きくして……
仕方ない……













PRiVATE DiARY

汐路の秘密日記



教室でなんて、我ながらすごい。でも誰もいないし、天馬は硬くしてるし、しょうがないよな。制服半脱ぎの状態で天馬が入って来て、今日はすごく激しかった。あんまり激しくされると、すぐにいってしまうからダメなのに天馬の奴、何度言ってもやめないんだから！　でも……最後は夢中で、もっと突いてくれなんて言ってしまった。は、恥ずかしい……。

あぁぁ……んぁあぁ……んっ、んんんっ……



SHIOJI KIKURA

H Scene 5

押し倒された汐路は、なんだか不満げ。主導権を握られるのが面白くないらしい。だが春近が強引に押すと、すぐに折れてくれるのだった。



私に……
もっとお前を
感じさせてくれ





PRiVATE DiARY

汐路の秘密日記

天馬に主導権を握られるのは、なんだかくやしいな！　だけど好きだと真顔で言われて、強引にせまられると……いいかなって気になる。キスとか触られたりとかされて、私がこんなにおかしくなるのは、全部天馬のせいだ。だから、今日も私の中で好きに動いて、たっぷり気持ちよくしてくれ。……大好きだ、天馬。





んんっ……私の中に……んくっ
……入ってきてる……んんっ







T S U B A S A T O U R I

桐理（とうり） つばさ





「んー、はるちかなら触っていいよ？」

PROFILE

女の子ってやわこい。

いつも陽気でどこまでもフリーダムな後輩。したいことだけして、したくないことはしない。やればなんでも簡単にできてしまう天才肌の女の子。奔放で物事をはっきり言う性格だが、天真爛漫な人懐っこさで男女双方に人気がある。様々な部から引っ張りだこだけれど、今は手芸部と春近にのみ興味があるのですべて断っている。



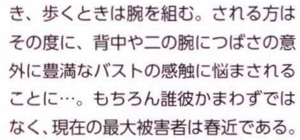
TOPIC:1

ワガママボディ被害

奔放なつばさは、スキンシップもかなり激しい。顔をあわせたらまず抱きつき、歩くときは腕を組む。される方はその度に、背中や二の腕につばさの意外に豊満なバストの感触に悩まされることに…。もちろん誰彼かまわずではなく、現在の最大被害者は春近である。

DATA

身長：156cm
3サイズ：B 86 W53 H 83
誕生日：7月16日
血液型：B



TOPIC:2

思わぬ弱点!?

勉強でもスポーツでも、大抵のものはそつなくこなすつばさだが、彼女も人の子。苦手なものもある。実はつばさは、お芝居が大の苦手。セリフを読むだけでも、恐ろしいほどの棒読みになってしまう。自分を偽ることを必要としない彼女らしい弱点と言えるかも。



TOPIC:3

はじめての気持ち

今までどんなことをやっても、ほとんど失敗することもなく、普通以上の成果を上げてきたつばさ。恋愛に関してもそうだろうと親友の花連に指摘され、宣戦布告されて混乱してしまう。その時、つばさの中にはじめて、負けたくないという必死な思いが生まれたのだ。

CV：百瀬 ぽこ



制服



私服



水着



メイド服



裸

FASHION CHECK!

シンプルなトップスにリボンタイの私服は、童顔なつばさのスタイルのよさを見せてていいと思うわ。水着は明るい色が似合ってると思うし、メイド服なんかつばさの意外に大きい胸が強調されてて、もうなんかずるいくらい可愛いわよね！

花連のファッションチェック





文化部棟の放課後ティータイム TEATiME





つばささんは、学業も優秀だから、きっと理解力が高いのね。それで早く進められるんだと思うわ。



んー、でもぉ、興味のないことは、ぜんぜんやる気しないよー。手芸部は楽しいからできるんだよ。



ツバキちは、すぐそうやって興味ないとか言うからなぁ～。せっかくミスコンに出ないかって話もあるのに、もったいないねぇ。



あら、出ないの。今年の最有力候補とか言われているんでしょう？



継花姉の言うことは極端だが、たしかに桐理なら、優勝も狙えそうだな。



そうだね、もし出場するなら、手芸部のみんなで応援するよ♪



でも、一番張り切るのは春近でしょうね。なんといっても可愛い後輩のためだもの。



きっとそうね。だって、つばささん愛されてるもの。



ふぇ!?　あ、愛されてるって……そ、そっかな!?



ああ、そうだな。ずいぶんと大事にしているように見える。……どうした、そんな顔を真っ赤にして。熱でもあるのか？



ねーねー、この編みぐるみ、ここから先、どうやればいいの？



つばさちゃん、わたしと一緒にはじめたのに、もうそこまで進んだの？　ほわぁ～、編み目もきれいだよ。すごい上手だねぇ。



え～、そんな話聞いてないよぉ。それに、そういうの好きじゃないし。



はー、もったいない。そのおっぱいはなんのためにあるのかね。世の男子を魅了するためにあるんでしょ。ばばーんと見せたり！

手芸部はね、すっごく仲がいいんだ。みんな大好きなんだけど、その中でもはるちかは特別かな。なんていうか……うまく言えないけど、他のひととは違う感じがするんだよね。



TSUBASA TOURI

TSUBASA's STORY
つばさのストーリー



新学期早々に出会った自由奔放な下級生・つばさ。春近を気に入る彼女だが、その気持ちの正体は自分でもつかめていない。だが前の学園の同級生と再会し、彼女もまた春近が好きだと知ったつばさは動揺する。生まれて初めての気持ちが目を覚ます。

ふふふ、見つかっちゃった♪





見上げるほど高い枝に腰掛けた少女は、優しい風に髪を揺らして無邪気に笑っていた。木漏れ日に照らされた姿は幻想的にすら見えたが、その実彼女……つばさは、ノリで木に登ったものの降りられなくて困っているだけだった。それにしては悪びれもしない笑顔が、ただまぶしい。

My Diary



今日、学園で会った人、面白かったなー。ノリで木に登ったら降りられなくなっちゃったから、飛び降りたのを受け止めてもらったんだけど、いきなりわたしの胸で〝ぱふぱふ〟するんだもん。別にいいのに、すごく慌ててたっけ。スカートの破けたとこきれいに直してくれて、魔法使いみたいだった。手芸部かぁ。ちょっと気になるなー。

手芸部に入部しちゃった！　やっぱり面白そうって思ったし、はるちかのこと、すごく気に入っちゃったから♥　ほかのメンバーも楽しそうだし、面白くなりそう♪

はるちかとダンス部のお手伝いに行ったよ。ストリート系っていうのかな、ちょーかっこよかったなー！　振り付けの相談で踊ってみせたりしてたら、はるちかがパンツ見えるよって教えてくれた。はるちか自身は顔逸らしてたから見てないんだって。はるちかなら、別に見てもいいのになー。でも面白そうだったから、ちょっと見た罰ってことではるちかにも踊らせてみたんだ。でも……ぷぷっ、つい吹き出しちゃった。はるちかの踊り、盆踊りみたいでめちゃくちゃおかしかったんだもん。笑ってごめん、はるちか。そんなに拗ねないでってばー。



それって普通こっちのリアクションじゃない？







ワイヤーでの窓ふき作業中、強風のために避難した教室には、パラダイスが展開していた。そこはコス研で、衣装に着替え中の女子たちの中には下着のみのつばさの姿もあった。あわてふためいて謝るも、可愛い下着に覆われた見事な肢体からなかなか目が離せない。

はるちかも早く食べてみなよ。美味しいよ？





学園の帰りや買い物の合間に、ふたりで買い食い。おいしいものに目がないらしいつばさは、自分で見つけたお気に入りを春近に教える。春近が美味しいと言えば自分が褒められたみたいに喜ぶつばさ。間接キスだなんて気にせず、お互いに食べさせあうひとときが、とても楽しい。





　コス研での一件をバラしちゃったら、はるちかはなんか落ち込んでる。でも写真を見せたのは、はるちかの執事服似合ってたし、みんなもきっと見たいと思ったからなんだよね。そりゃ、そのついでに着替えを覗いたことも言っちゃったのは、さすがに悪かったかなー。よし、それじゃここは、わたしのお気に入りの移動パン屋さんでカレーパンをごちそうしちゃう。揚げたて熱々で、すっごくおいしいでしょー？

　今日は校内大掃除のお手伝いだよ！　人集めのためにって着たメイド服、可愛くて気に入ったけど、男の子たちに、写メを撮らしてほしいって頼まれて困っちゃった。しょうがないから、ゴミを一番たくさん集めてくれた人に1枚だけってOKしたんだけど……まさか、わざわざゴミを作ってくるなんて。はるちかに聞いてさすがに呆れたよー。はるちかには、わたしの写メを餌にしたら、ズルするやつが出て当然だって怒られたけど、それってはるちかもわたしの写メがほしいってこと？　も～、はるちかならいくらでも撮っていいのに～！

　みんなで水着を買いに来たけど、わたしはすぐに決めて買っちゃった。いつも直感で決めるから、基本悩まないんだよねー。はるちかも暇そうにしてたから、一緒にお店まわったりして楽しかった！　最後にたい焼き食べたとき、一口ずつ交換したんだけど、はるちかがぼーっと油断してたから、思いっきりかじってやったよ。一口は一口だもんね～。ごちそうさまっ♪





合宿の日の夜中、眠くないというつばさにつきあい、夜の校内を散歩する。歩き回ったあとは、グラウンドに続く大階段に並んで座ってひと休み。はしゃぐつばさは、春近の肩にことんと頭を乗せてきた。夜風になびく彼女の髪から甘い香りが匂い、伝わる体温はあたたかかった。





あはっ♪　なんかこういうのって楽しいねっ♪



やっとつかまえたつばさは春近の胸に飛び込み、キスをしてきた。隙間から入り込み、たどたどしく動く舌の感触。唇を離した彼女は、頬を上気させて息を乱し、瞳には涙さえ浮かべてすがりつく。親友にさえ譲ることは出来ないのだと、つばさは春近への想いを、悲痛なまでの必死さで伝えた。



だってわたしは
はるちかのことが好きだから





My Diary

つばさの気まぐれ恋ノート



はるちかと一緒に帰ろうとしてたら、かれんに会った。たまたま近くに来たらしいけど、はるちかとかれんが知りあいだったなんて!

いつも電話で話してたのに知らなかったよ。かれんは普段と違ってにこにこしてるし、はるちかと仲よさそう。そのあとかれんに、かれんのガッコの女の子たちに、はるちかが大人気って聞いた。やっぱりはるちかってモテるんだ……。う～ん、なんだかもやもやするなぁ。わたし、どうしちゃったのかな……。

なんだかはるちかといると緊張して、うまく話せなくなっちゃって……わたし、おかしいよね。クラスの子に相談してみたら、それは恋じゃないかって。そうなんだ。わたし、はるちかのこと、好きなんだ……。積極的に行った方がいいって言われて、さっそく遊びに誘ったら先約があるって。それってかれんとの約束だったみたい。

買い物のあと、かれんとふたりきりになった時、かれんにはるちかを好きになったって告白した。でもかれんもはるちかのこと、好きなんだって。わたしの気持ちは本気に見えないって言われて、つい混乱して思わず逃げ出しちゃった……。

学園、休んじゃった。はるちかから電話来るけど、出られないよ。ずっと悩んで考えて、かれんから呼び出された時に決心した。わたしの本気を、聞いてもらおうって。　だけど行ってみたら、かれんと一緒にはるちかがいたから、また逃げちゃった。はるちかは、かれんとつきあうのかも。そう思ったから、わ







初めてのエッチの後、シャワーを浴びてきたつばさは、裸のままでベッドに転がった。さっきまでの色っぽい表情はどこへやら、いつものように無邪気につばさは笑う。いつにもまして甘える彼女は、今日からは春近の恋人なのだった。

これからはカノジョとしてよろしくね？



みんなは絶対……絶対に私が守ってみせるから！







ミスコンテストのクライマックス、演技の審査。舞台に上がったつばさは、台本も持たずに堂々たる演技を見せる。画面で動くヒロインの絵にあわせ、必殺技を感情籠めて高らかに叫ぶつばさ。間違いなく彼女は、その日の舞台上でもっとも多くの人々の目を惹きつけた。

たしは追いかけてきてくれたはるちかにキスした。このくらいしないと、かれんに勝てない。かれんとケンカになっちゃったとしても、はるちかがわたしを選んでくれるように頑張る。それが、いっぱい悩んで決めたわたしの本気だから——。

そしたらはるちかは、キスを返してくれて、わたしを好きだって言ってくれた。わたしじゃなきゃだめだって。……そっかぁ♪わたしも、はるちかじゃないとヤだよ♥

その後はるちかの部屋に行って、ファーストキスのやり直しをした。キスしてるときのはるちかの顔、可愛かった♪　そしたら我慢できなくて……はるちかとエッチしちゃった……。すごく嬉しかったよ。

かれんにはちゃんと報告したけど、手芸部のみんなにはしばらく内緒にしたいな。あの雰囲気を壊しちゃうのヤだし……もうちょっとわたしの覚悟ができるまで。

だけどイチャイチャはいっぱいするよ！　はるちかはエッチだから、空き教室でとかメイドの格好でとか……試着室でしたときは、かれんに怒られちゃった。かれんには、毎日のろけを聞かせるなって怒られてもいるけど、幸せなんだからしかたないじゃん♪

もうすぐ七舟学園のミスコンが開催されるんだって。みすみに出場を断られたるるこに、出てみないかって言われたんだ。その気はあんまりなかったんだけど、副賞が2泊3日のペア旅行券だって！　旅行かぁ……はるちかと……。で、出ようかな？



大好きだよ♪

突然の交際宣言に、ミスコン会場は騒然。春近作の王冠とマント姿で、つばさは春近の腕の中に飛び込んだ。収拾のつかない会場から、つばさを抱いて逃げ出す春近。マイペースな恋人は、みずから引き寄せた大混乱を尻目に、幸せそうに笑うのだった。





わたしとはるちかは心も身体も相性抜群なんだから！







結局、優勝賞品の旅行は花連と行ったつばさは、いまだに未練タラタラの様子。辟易したらしい花連が、冗談ともつかない略奪愛をほのめかすと、大慌てで春近の頭を抱え込む。子供っぽい仕草で独占を宣言するつばさにますますあきれる花連だけれど、さらなるのろけを春近に聞かされてはもう溜息をつくしかない。親友同士の言い合いに挟まれ、ついでにふたりのおっぱいにも挟まれる幸せ野郎春近は、そんな楽しいひとときをくれるつばさが好きだと、あらためて再認識するのだった。

END

My Diary



つばさの気まぐれ恋ノート

エントリーしてから衝撃の事実発覚！ 水着審査と演技審査があるなんて、聞いてないよー！ わたし、演技だけはすごく苦手で、いつもかれんに笑われてるのに……。

でも、苦手は克服しなくちゃね！ 特訓あるのみだよ。はるちか、応援してね！



グランプリに選ばれたよ！ 特訓の甲斐あって、我ながら熱い演技ができたからかな。失敗しなくてよかったぁ。でもこの、優勝者用の王冠とマントって……うん、やっぱりはるちかが作ったものだよね。すぐわかったよ。さすがはるちか！

副賞のペア旅行券、誰と行くのかって司会のるるこに聞かれたけど、愚問だよね。そんなの、はるちかと一緒に決まってるじゃん♪ ……って、このことまだ内緒にしてたんだっけ。よし、この際言っちゃおう。マイクを使って堂々とみんなに、はるちかとつきあってるんだよって。

会場、すごい騒ぎになっちゃった。はるちかのところに走って、もちろんはるちかの腕の中にダイブ！ 捕まえようとみんなが追いかけてくるから、はるちかはわたしをお姫様抱っこしたまま逃げてくれた。これでやっと、みんなの前でも堂々とイチャイチャできるね、はるちか♪

TSUBASA TOURI

H Scene 1

晴れて恋人になり、春近の部屋でくつろぐつばさ。ファーストキスのやり直しをするうちに、えっちしたくなるのは、恋人として当然のこと。



そんなとこばっか
舐めちゃって……
なんか変態さんみたい









PRiVATE DiARY

つばさの秘密日記

確かにさっき恋人になったばっかりだけど、大好きだから……やっぱりしたいんだよ。でもはるちかったらおっぱいばっかり弄って、変態さんみたい♪　最初はなんだか変な感じで、だけどどんどん気持ちよくなって……はるちかが入って来て、わたしの中、はるちかの形にされちゃった。ふふっ。わたしたち、ホントにしちゃったんだね、はるちか。



わぁしも好きぃ……んぢゅっ、ちゅぷっ……ふぶっ、ちゅっ



TSUBASA TOURI

H Scene 2

空き教室で密着していれば、自然と思い出す初めての時の記憶。つばさにしっかり見抜かれて誘われてしまえば、我慢などできるわけがない。

ちょっとだけって言ったのに、脱がしちゃうの？







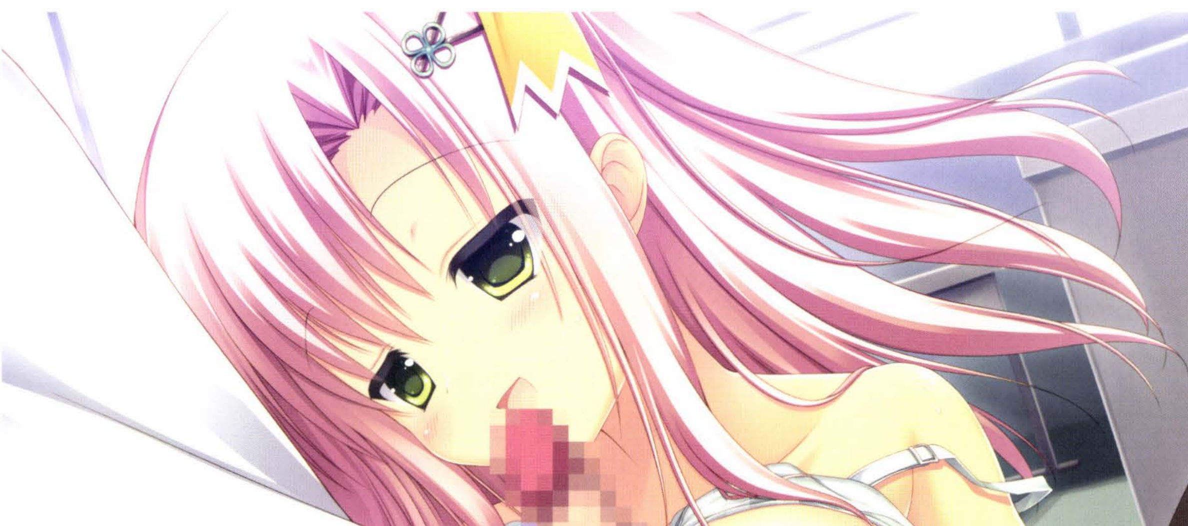




PRiVATE DiARY

つばさの秘密日記

はるちかったら、ここガッコなのにエッチだなぁ。でもちょっとだけ、しちゃおっか？後ろから胸を弄るはるちか、やっぱりおっぱい星人だよね。先っぽつままれると気持ちよすぎて……おっぱいだけでいかされちゃった。お返しにはるちかのを胸で挟んで、舐めてあげたんだ。はるちか、すごく気持ちよさそうだったなー。上手にできてよかった♪



あはっ♪ おっぱいの中で はるちかのが暴れてるよ？







TSUBASA TOURI

H Scene 3

起こされて目を覚ますと、そこにはなぜかメイドさんが！　夢かと思えばさにあらず、メイド服を着た本物のつばさがご奉仕してくれるという。



これ、お口でするの……
んぅっ、ちゅっ、ぢゅるっ





PRiVATE DiARY

つばさの秘密日記

メイドさんの格好で、起こしに来ただけなんだけどなー。でもはるちかが、お口でしてほしいっていうから、しょーがないよね♪　さっそくご奉仕してあげたら、ぴくぴくしちゃってはるちか可愛い♪　お口に出してくれたあと、ご褒美なんて言って、後ろからまたされちゃった。おなかの奥までいっぱいで気持ちよすぎて、わたしダメになっちゃいそぉ……。







おなかの奥があったかくなるの、すごく気持ちよくて……
もっと、いっぱい出して欲しくなっちゃう



TSUBASA TOURI

H Scene 4

三人で買い物中、花連がはずした隙にしたキスで火がついてしまったふたり。こっそりと試着室にもぐりこみ、イケナイ行為に没頭する。







PRiVATE DiARY

つばさの秘密日記

ちょっと調子に乗ってがんばってキスしたら、はるちかったらすっかり元気になっちゃうんだもん。試着室なら、誰ものぞかないし平気だよね、たぶん。カーテンの向こうに人がいっぱいいる状況で、はるちかのをお口でするなんて、興奮するなー。つい夢中になっちゃってたら花連から連絡がきて、すごい怒られちゃった。でも気持ちよかったね、はるちか♪





TSUBASA TOURI

H Scene 5

知りあいの目から逃げ回り、落ち着かなかったデート。最後くらいはちゃんとしようと、ベッドへと移動する。それもまたふたりの思い出。



このまま
わたしの手の中で
イってくれると
嬉しいな♪













PRiVATE DiARY

つばさの秘密日記

はるちかのって、可愛いなぁ。触るとぴくぴくして、気持ちよさそうで……わたしの手でイってくれるとすごい嬉しい。ちょっと難しかったけど、はるちかにまたがって自分で入れてみたんだ。なんか勝手に腰が動いちゃって止められなくなっちゃって、腰が抜けそう。はるちかはいつもやってるのに、なんかくやしいな。次にするときは、負けないからね♪

ふあぁぁあっ！　はあぁっ、ぁ、あぁっ、くぅうううううっ



RURUKO TSUGIHANA



継花 流々子
つぎはな るるこ



PROFILE

(笑)の寵児。

三澄の姉であり、学園の誰もが知るトラブルメーカーな先輩。見た目はアイドル級の可愛さなのに、性格の残念さがすべてを打ち消す。底抜けに明るくて行動的、騒動を起こしては三澄に怒られ逃げ回る。春近への好意を隠そうともせず、いつでもどこでもせまり倒し、きわどいことも堂々と言い放つためか、あまり本気にされていない。

DATA

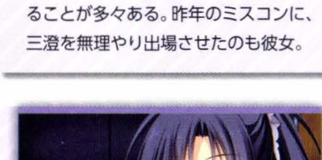
身長：153cm
3サイズ：B 91 W55 H 85
誕生日：12月22日
血液型：B



TOPIC:1

みすみちゃん萌え!

流々子は、妹の三澄をこよなく愛するシスコン。さんざん構い倒しては、その反応に一喜一憂。だが、どちらかと言えば困らせるようなことばかりをするので、怒られたりおやつ抜きにされることが多々ある。昨年のミスコンに、三澄を無理やり出場させたのも彼女。



TOPIC:2

意外な人徳

基本的に神出鬼没で、自由奔放な流々子。学園内のイベントでは大抵、司会進行を務めたりと役職不明な活躍をする。たまにやりすぎて暴走したり、果てしなく脱線したりするが、それでも迷惑に思う者があまりいないのは、ある意味で人徳と言えるかもしれない。



TOPIC:3

萌えキャラ・流々子

いつも春近にせまり倒し、エロ方面のセリフも言いたい放題だが、実はその手の経験はゼロな耳年増。いざ春近とそういった雰囲気になると、とたんにパニクってしまう。褒められると急に照れ隠し行動に出たりと、意外と口ほどにもない（？）流々子だった。

CV：藤咲 ウサ

STYLE



制服



私服



水着



裸








はるちー、はるちー！
大変だよぉ！
非常事態発生なんだよ！！


春近なら、他の部の手伝いよ。で、非常事態ってなにがあったのよ？


関わってはいけません、お嬢様。継花姉のことだから、きっとろくでもないことに決まってます。


まーねー、学園での騒動って、たいてい、るるこが原因だし？


原因とまではいかなくても、姉さんが関係しているのは間違いないでしょうね。我が姉ながらなんというか……ゴメンナサイ。


ほわっ⁉ そ、そんな三澄さんが謝ることじゃ……。だ、大丈夫、みんな結構楽しんでるよ⁉


そうそう、けっこう楽しいよ。それに、イベントにるるこがいないと、盛り上がらないしね。


まあ、結局のところ、大変な目にあうのは天馬だからな。見ているだけなら申し分ない。


いやぁ、そんなに期待されると困っちゃうなぁ～。さっすが、あたし。みんなのアイドルのお姉さんだけはあるね！


ちょっと姉さん！ そうやって調子にのって天馬くんを困らせるなら……今月いっぱい、おやつ抜きですよ！


ぴえぇ～！ ひ、ひどい、そんなの鬼の所業だよ。だけどそんな三澄ちゃんでも、お姉ちゃんの愛は変わらないんだから‼


で、でも、まだチカくんを困らせると決まったわけじゃないし。詳しく話を聞いてからでも、いいんじゃないかなぁ。


こういうこと前にもあったけど、もう流々子も忘れてるんじゃない？ それに聞いてからじゃ遅いわよ。


……なんだかよくわからないけど、このままそっとしておくほうが、春近のためになると思うわ。



Y U M E S A N G U

参宮 由芽
さんぐう ゆめ





「結構よ！ きっと、それに春近は、きっと……小さいのも好きなのよ！」

PROFILE

『覇』ではなく、『は』。

七舟学園の理事である旧家・参宮家の娘であり、汐路の主人。我が物顔で学園を闊歩し、手芸部にも所属する。大人顔負けの思考と言動で権威的にふるまうが、精神的にはまだまだ幼い。負けず嫌いで意地っ張りなところがあるものの、汐路のことは姉のように慕っていて、ちゃんと女の子として幸せになってほしいと思っている。

TOPIC



参宮家の家庭事情

普段は覇王の如くふるまっているが、家ではいつも出来の良い双子の妹と比較され、冷遇されている由芽。父親からは参宮家のための道具としてしか扱われないため、あまり家にいたくないらしい。本人、その境遇をあきらめている。

DATA

身　長：128cm
3サイズ：ふくらみかけ
誕生日：10月29日
血液型：A

CV：早瀬やよい

STYLE





私服　メイド服　水着　裸

K O I T O K O M A

駒 小糸

こま こいと





「おにいさん、あまり無理しちゃだめですよ？」

PROFILE

将来有望なダークホース？

春近が住むアパートの管理人の娘で、お隣さん。母親である萱野との二人暮らしのせいか、料理が非常に上手なしっかり者。料理下手な春近の悲惨な食生活を知って、みずから夕食作りを買って出てくれる。春近のことを「お兄さん」と呼んで懐いているが、本人的には春近がする子供扱いには、少々思うところがあるようだ。



私服

STYLE



CV：雪村とあ

NORMAL END

雨に降られ、遅くなる萱野を待つ夜。一度は自分の部屋に戻った小糸が、不安そうな顔で戻ってくる。本人は強がるものの雷が怖いのは明白で、停電したとたんその小さな身体が、春近にしがみついてきた。春近の腕の中で、安心したように甘える小糸。将来、相手がいなかったら結婚してあげるという約束は、今はまだただの戯れ言。





お兄さん、大好きです

KANOKO AKI / SENRI ENAMORI / MISUMI TSUGIHANA / SHIOJI KIKURA / TSUBASA TOURI / OTHERS

KAYANO KOMA

駒 萱野

こま かやの

「ふふっ、姉さんだなんて、春近くんは口が上手いわね♪」



PROFILE

きれいなお姉さんは好きですか？

春近が住む「コーポなかきよ」の管理人で、小糸の母親。とは言え、血の繋がりはないらしい。物腰柔らかで優しい性格。ショッピングモールのパン屋で働いているが、恥ずかしいので内緒。



CV：美月

HANA SANGU

参宮 巴菜

さんぐう はな

「まあ、そうですよね。お姉様は無能なんですものね」



PROFILE

その少女、辛辣にしてシスコン。

由芽の双子の妹。由芽よりも優秀なため、姉を見下すような言動をする。だが辛辣な言葉もすべては父親を欺いて、家の実権を握るための布石。いずれ大好きな姉に、参宮家のすべてを受け継いでほしいと思っている。



CV：早瀬やよい

TOKIE TSUGIHANA

継花 十貴恵

つぎはな ときえ

PROFILE

隠れ三澄萌えはどこまでも。

三澄と流々子の母親で、春近のクラスの担任教師。常にクールな鋼の女で、三澄には厳しい。が、実態は流々子と同様に三澄を溺愛する娘萌え。幼い三澄の言った「カッコいい母親」像を壊すまいとしていただけだった。

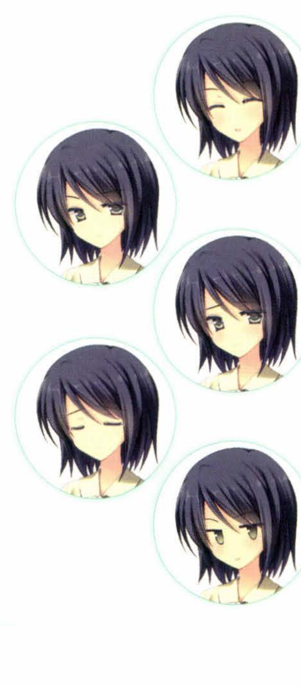


CV：桜川未央

「そうだわっ！今日という日を『三澄ちゃん記念日』として子々孫々に」



裸



KAREN HIKOSAKI

比古咲（ひこさき） 花連（かれん）

「少しくらいののろけなら我慢もするけど、さすがに限度ってものがあるでしょう」



PROFILE

雨ニモ風ニモ
惚気ニモ負ケズ

以前は同じ学園だった、つばさの理解者にして親友。いつも冷静で、つばさの言動に振り回されない性格。素っ気ないが、つばさのことはかなり心配している。春近とは以前からの手芸仲間で、憧れの先生として慕う。



CV：奏雨

HARUCHIKA TENMA

天馬（てんま） 春近（はるちか）

PROFILE

文化部棟の
プリンスさまっ♪

本作の主人公で、手芸部の部長。夢は世界一の着ぐるみを作ること。基本的になんでもこなし、各部活からの頼まれごとを進んで引き受ける。優しくて頼りになり、カッコいいので女子（一部男子）にモテまくりだが、本人は恋愛ごとには鈍感なので、さっぱり気が付いていない。



YUUREI

幽霊（ゆうれい）

「うらめしやー！　やー！」



PROFILE

今日も元気な自爆霊。

学園内を彷徨うセーラー服の幽霊っ子。お茶目でドジでややや空回り気味の、地縛霊ならぬ自爆霊。正直、怖さはカケラもない。過去の記憶がなく、名前も素性も一切不明なのだが、本人まったく気にしていないぽい。



CV：北都南

RURUKO TSUGIHANA

RURUKO's STORY
流々子のストーリー



春近の部屋を訪れるたび、わざと自分の匂いを残していた流々子。だが、春近の反応は鈍く、あまり思わしくないようだ。実際は、春近が残り香に悶々としながら日々を送っていたのだが、そうとは知らない流々子は思い切った行動にでるのだった。

人生長いんだから、このぐらい気楽じゃないとね～♪









春近との行為は、文字通り朝方まで寝ずに続いた。その結果、流々子はおぼつかない足取りでの朝帰りに。それでも春近とひとつになれた喜びに顔を輝かせ、「次は妹の三澄ちゃんと姉妹丼」と、こちらがびっくりするような軽口が出るくらい上機嫌だ。

My Diary



流々子のらぶみーどーん法

枕にマーキングしたり、スキンシップのふりして胸おしつけたりしたくらいじゃ、はるちーには効果ナシ。だから思い切って「あたしとえっちしない?」って言ったみた。ずいぶんな直球だったけど、そのおかげで実は両思いだったのがわかったんだし、これはこれで良しとしよう。うむうむ。

お互い初めてだし、えっちは年上のあたしが主導権を……って思ってた。はるちーのエロ本を参考に、オトナのおもちゃ作ったりしたしさ。でもさー、そうやって背伸びしてたのバレバレだったみたいで。結局、はるちーにリードされちゃったんだ。さすがに、初っ端からアナルでイかされるとは予想外だったけど。でもまあ、ルルホも病みつきになってたみたいだから許す! あ、ルルホって、流々子ホールのことね♪

翌日、朝まで盛り上がっちゃったせいで、あたしはふらふら。なのにはるちーは、ぴんぴんしてるんだ。ぐぬぬ、あたしばっかりで悔しい……。次こそは、はるちーの足腰たたなくさせてやろうじゃないのよ。え、あたしを返り討ちにする? だったら、返り討ちをさらに返り討ちにするまでさ♥



RURUKO TSUGIHANA

H Scene 1

自作のえっちなおもちゃで、行為の主導権を握ろうとした流々子。しかし、いろいろ用意したのが仇となり、逆にたっぷり責められてしまう。



はるちー待ってっ、お尻っ、お尻でイッちゃうよう！







はるちーの先っぽが引っかかってっ、ふっく、んん!?









PRiVATE DiARY

流々子の秘密日記

あたしのお尻犯してハァハァするなんて、はるちーは変態だよぉ。と言いつつ、好きなひとにめちゃくちゃにされてる感じがよくって、あたしも興奮してたんだけど……。はるちーはさ、「俺の子供を産めよ」とかワイルドぶっても、優しく扱ってくれるんだよ。なんかもうお互い1回や2回じゃ熱が収まらなくなって、結局朝までしちゃたんだよね♪



YUUREI's STORY
幽霊のストーリー



文化部合同合宿の夜、オカルト研究部は、降霊術によって女生徒の幽霊を呼び出そうとする。春近もその手伝いをするが、その場では何も起こらず、降霊術は失敗したかのように思えた。しかし数時間後、春近はその幽霊を目の当たりにしてしまい――。



一緒に、エッチなことした仲じゃないですかあああ、春近さあああぁぁんっ!!





成仏したと思っていた幽霊は、実は他で降霊されただけだった。その上、何故か春近以外にも姿が見えるようになっていて。当然、捕獲しようとする流々子やオカルト研究部員たち。幽霊は春近に助けを求めるものの拒否されたことで、まるで恋人であるかのような誤解を生む発言を。結果、真偽を問いただそうとする追跡者が増えてしまうのだった。

My Diary



幽霊のエッチ♥な心霊現象

春近さんに話しかけられたとき、最初は信じられませんでした。だって今まで誰も私に気づいてくれなかったから。春近さんは頭を撫でてくれたり（※もちろん真似事ですけど）、いろいろ優しくしてもらったから、なにかお礼をしたいと思ったんです。

男の人だし、女の子がひとりでえっちなことしてるところとか、喜んでもらえるかなぁ。でも恥ずかしいので、声だけ……のつもりが、しっかり見られてしまいました。そんなの不公平でしょう？　それで春近さんがしてるところも見せてもらったんです。

最後には一緒に気持ちよくなれて、幽霊な私でもお役に立てたのが嬉しくて嬉しくてたまりません。それで満足したんでしょうね、気がつくと私は淡い光に包まれていて。ああ、成仏するんだなって察しました。

……けど、違ったみたいです。その上、私を捕まえようとする人がいて。春近さんも「流々子先輩か……無理」って助けてくれないし。う～、ひどい。えっちなことした仲なのに！　そう叫んだ途端、なぜか皆さんの標的は春近さんに。このままじゃ捕まっちゃいますよ、早く私と逃げましょう！



YUUREI

H Scene 1

幽霊だから、春近には触れたくとも触れられない。でも、お礼はしたい。考えに考え抜いた末、幽霊は男の子なら確実に喜ぶ『お礼』を思いつく。









は、春近さん……
見ちゃ……
だめって言った

PRiVATE DiARY

幽霊の秘密日記

エッチなことと言っても、私はふれられないので雰囲気だけです。フリでもお口でしていたせいか、なんだか盛り上がってしまいましたね。お互い、自分でしてるとこを見せ合う形でしたけど、最後には一緒に気持ちよくなれて……。幽霊なのに春近さんと知りあえて、こんなに仲良くしてもらえて、今すぐ成仏できそうなくらい満たされちゃいました！







えっちな気分に……なってしまいます、ね





俺の部屋

MY ROOM

本編クリア後のおまけモード“俺の部屋”では、各ヒロインに6つずつミニシナリオが用意されている。恋人同士の会話を楽しむ“COMMUNICATION”が4話、ラブラブHが展開する“LOVE”が2話。すべて、ただひたすらに自室で彼女とイチャイチャしまくる後日談となっている。ここではその一部をご紹介♪

PICK UP! かのこ

付き合い始めて数ヶ月。まだ初々しさもありつつイチャつくふたりが描かれる。紅葉屋の新作パウンドケーキの試食中、アルコール分に酔ったかのこは、いきなり全裸になって♥



PICK UP! 千里

その後も寄り添った付き合いを続けるふたり。やがて春近の部屋で同棲することも決まり、さらに幸せ上昇中！ 昼間からお口でしてくる千里が、もうエロいやら愛しいやら♥



PICK UP! 三澄

周囲からもバカップル認定されるほど、アツアツなふたりのエピソード満載！ 注目のエッチシーンからは、三澄お手製メイド服による、ご主人様とメイドプレイをどうぞ♪



PICK UP! 汐路

恋人同士になってからも由芽や巴菜を交えての賑やかな毎日。相変わらずツンなところもある汐路だけど、お嬢様たちが小糸と遊んでる隙に、しっかりすることはしちゃいます！





PICK UP! つばさ

マイペースなつばさとの楽しいイチャラブ生活。見どころも多いけど、とくにオススメなのは水着+ミスコングランプリのマント&王冠姿でのH。これは俺の部屋でしか見られない！




EXTRA
エクストラ

MATERIAL COLLECTION

設定資料&原画集

デザインラフやイベント原画など、ここでしか見れない貴重な設定資料を一挙公開！ 担当した女性原画家4人によるコメント付きで紹介。



制　服　設　定


みつき

まかこさんとそれぞれデザインを出して、その中からkeiさんが選びました。シルエットが腰ぐらいまで締まってて、スカートでふわっ　とさせたやつが可愛いよねって話してて、それを踏まえてデザインしてみました。



●女子制服





●男子制服

天　馬　春　近



●表情集



●私服

KANOKO AKI

安芸 かのこ

まかこ 最初にデザインを出したんですけど、プロデューサーのkeiさんに、某人気女子向けアニメの黄色ちゃんの絵を見せられて、これがいいって言われて。なのでそれをアレンジしていくつかデザイン案を出しました。かのこはなかなか苦戦したキャラです。ポイントはサイドのクルンかな。

HOOKSOFT史上初のセンターがショートカットってこともあって、keiさんの思い入れも強かったみたいで、丸く丸くうるさかったです(笑)。わたしも描いている時は、念仏のように「丸く、丸く」って思いながら描いていました。

私服とメイド服はみつきさんが可愛くデザインしてくれました。

●裸



●制服



●メイド服



●水着



●パジャマ



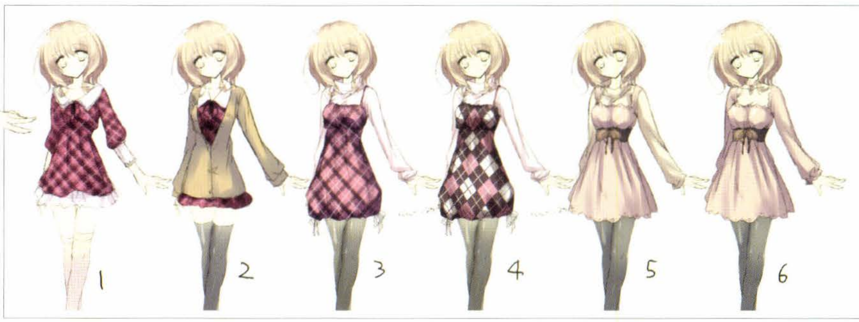
●カフェ制服





●私服

みつき　若干イモっぽくて可愛いやつがいいんだけどって言われて、何その指定って思いました。まさかチェックが採用されるとは思っていなかったので、手書き模様で大変でした……。



お気に入りEVENT絵

まかこ　keyさんに「このかのこすっげー可愛い」って褒められたんですよ。髪型のせいか苦戦していたので、素直に嬉しかったですね。

EVENT



SENRI ENAMORI

枝那森　千里



デザインを始めた時は今と違い、人形が擬人化したっていう設定だったので、お人形さん感が出るように意識して描きました。私服にその片鱗が残ってます。設定が今の形になって、デザインがやり直しになるかと思ってたんですが、イメージとあっているので、そのままで大丈夫ということに。

左右非対称な感じになるように、あと女の子っぽい可愛さの花のコサージュがポイントです。

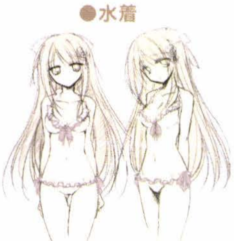
イメージラフで笑顔の表情を描いたら、kei さんに「たぶんこの表情は本編では使わないから」って言われて、せっかく描いたのに…って思いました(笑)。



●制服



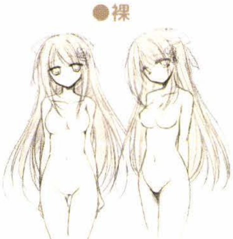
●メイド服



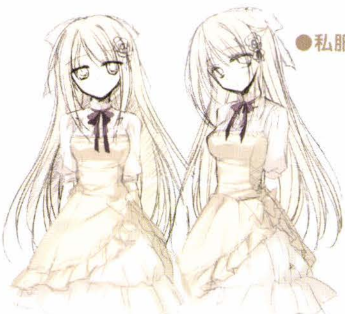
●水着



●パジャマ

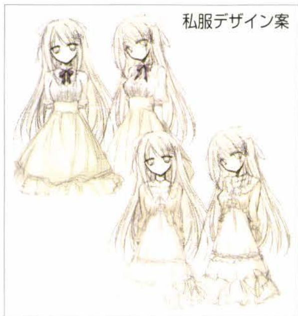


●裸

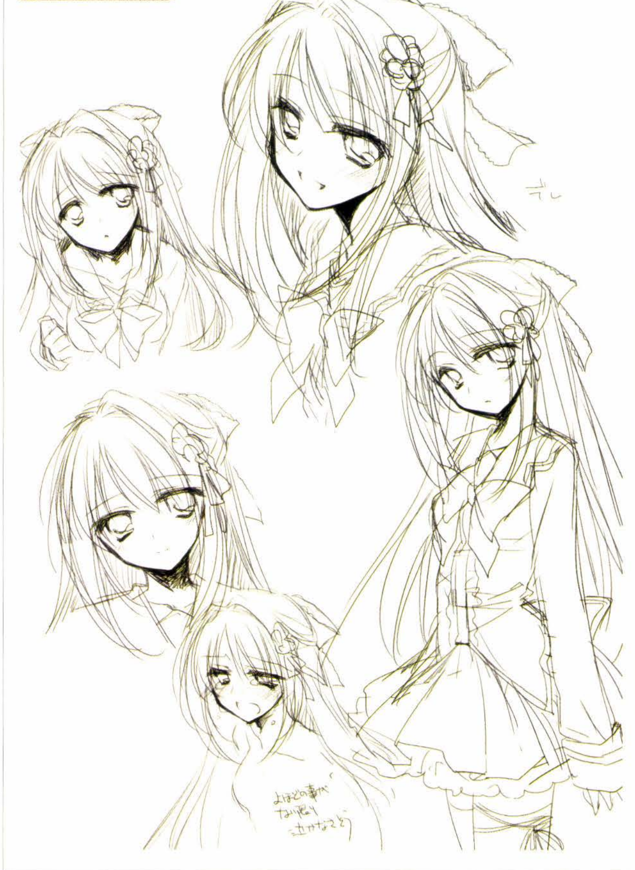


●私服

私服デザイン案



●イメージラフ

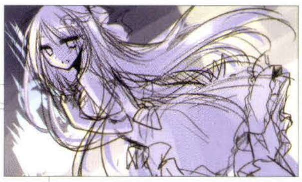


EVENT

お気に入りEVENT絵

みつき　グラフィッカーさんがすごく雰囲気よく塗ってくださったので、一番気に入っています。







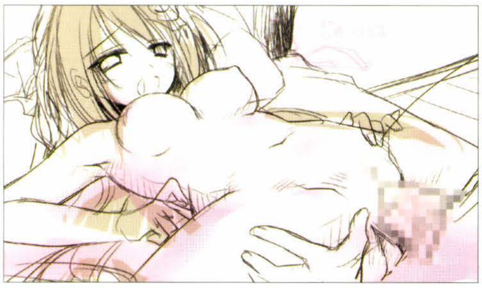












MISUMI TUGIHANA

継花　三澄



和風な感じでロングヘアーという指定が最初にあって、いくつか出したんですけど、今回は作中一番の常識人ということで、一番地味なデザインのが選ばれたって感じです。私は両サイドにリボンが付いていたりする(下のデザイン案参照)のが好きなので、ちょっと残念でしたね。

髪の長さが最初は腰くらいまでのロングだったんですけど、千里とカブるという理由で、結局膝くらいまである超ロングになりました。塗りの方も、きれいな黒髪を意識した感じで、大和撫子っぽくなったと思います。

●ラフ



●制服



●メイド服



●水着



●パジャマ



●デザイン案



EVENT

お気に入りEVENT絵

まかこ　これは足をエロく塗ってもらえたんでお気に入りです。髪が長いんで地面引きずってるんじゃ…っていうのは秘密です。















SHIOJI KIKURA

木倉　汐路

●制服



●パジャマ



●水着



●裸



●私服



●メイド服





あまり女の子っぽくない設定だったので、色々案を出して、もっとラフっぽい髪型も作ったんですがあまり可愛くなくて……。ツンデレだしやっぱりツインテールが基本かなと描いたら、これが可愛い！と通った感じです（笑）。

私服は動きやすいピタピタな感じって指定で、ちょっとバーテンさんっぽい感じに。一人だけ貧乳なので、私服やメイド服では強調できるように締めてみました。あと、これをデザインした時に自分の中でループタイが流行っていたんで、ループタイを勝手に付けて。もう流行りは終わりましたけど（笑）。

●イメージラフ



EVENT

お気に入りEVENT絵

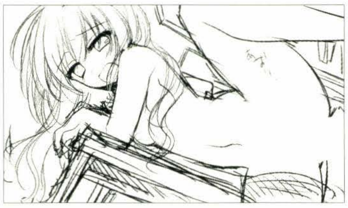
みつき　ドタバタな感じの汐路ルートっぽさを、上手く表現できたかなって思います。あと画面の中にロリがいっぱいいて幸せ（笑）。

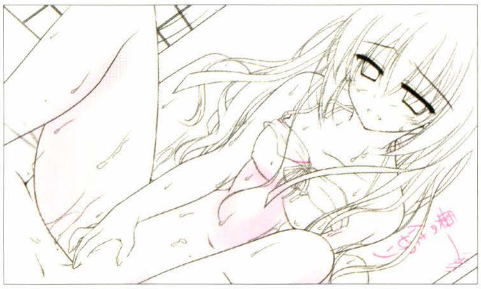


















TSUBASA TOURI

桐理　つばさ



髪の毛は肩に触るくらいっていうのは最初にあって、メインにポニーテイルがいないので、左側に付けました。みんなリボンを付けていたので、お揃いで付けてみたり。本作のコンセプトが「癖になりそうな幸せ」ってことだったので、ヘアピンをクローバー柄にしたりとか。あと羽は［羽鳥］だし、［ぴよこ］だし［つばさ］だし、鳥尽くしでなにかと思って付けてみました。

見せ方で困ったのが、片方にしかポニテと羽根がないので、反対側から描くとポイントになる部分がなくなるので、ただのセミロングに見えないように、いかにリボンを画面内に入れるかとか気を使いました。

●私服





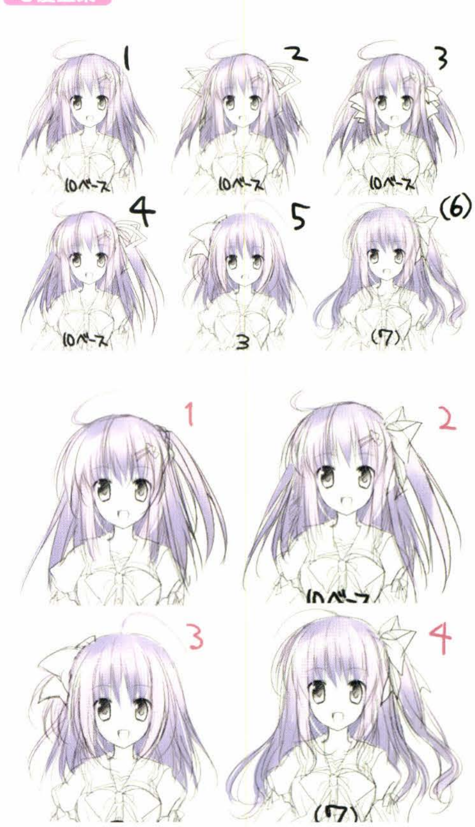
●メイド服



●水着



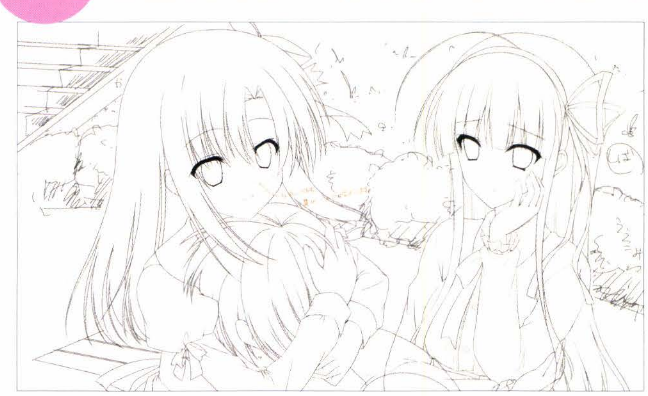
●髪型案



E V E N T

お気に入りEVENT絵

ぴよこ　花連との2ショット。蜜キングさんとは元々お話させてもらっていたので、こういった形で一個関れたのは、個人的に嬉しかったです。

















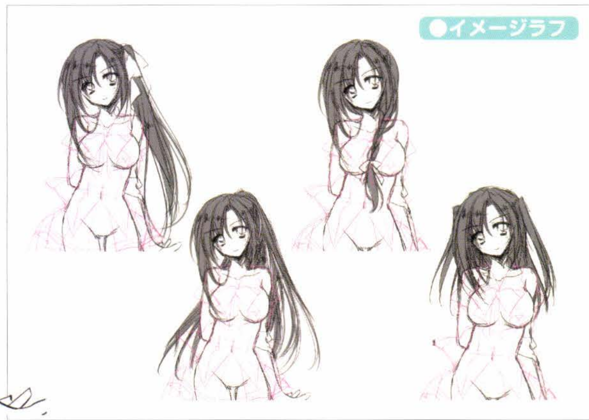
Other Characters
その他のキャラ

■継花流々子



みつき　流々子はつばさよりももっとエロバカキャラだったんで、じゃあ、おっぱい大きくしておこうって(笑)。ポニーテールなのはディレクターの指定です。

●イメージラフ



EVENT







■参宮由芽



みつき　由芽はカリスマキャラに見せかけたヘタレで、でも子供っぽくしてほしいということだったので、髪型とかは普通の可愛いお嬢さんみたいな。でも服は子供っぽくない良いとこのお嬢さん感が出る、キチンとしたやつを着せました。



■参宮巴菜



みつき　由芽と対になるように、由芽よりも少し大人っぽくしました。

■駒小糸



■駒萱野



みつき　小糸は山根さんから「世話焼きスーパー幼女」っていう意味のわからない指定があったので、ロリ新妻みたいな空気感のあるフワッとした感じにしました。

萱野は近所の「綺麗なお姉さん」がコンセプトです(笑)。隠れ巨乳。

■比古咲花連



蜜キング　つばさちゃんと色々な面で対になるようにしました。ロングヘア、寒色の髪色、大人っぽい顔立ち等。

あと他ヒロイン達と被らず、でも制服デザインや雰囲気に違和感の無いよう心がけました。

企画・シナリオ編 スタッフインタビューI

PriministAr

HOOKSOFT代表にして本作のエグゼクティブプロデューサーを務める亜佐美晶氏、メインライターとして参加した桜城なお氏、開発の舞台裏をよく知るスタッフおふたりを直撃!! 制作にまつわる秘話の数々をお聞きした。

Profile

亜佐美晶



HOOKSOFT代表。別ラインでの制作指揮をとりながら、本作でもプロデューサー・kei氏、ディレクター・山根呂兵氏らとともに、制作の中心的役割を果たした。

桜城なお



本作でシナリオライターとしてデビューした、HOOKSOFTの新鋭ライター。スタッフの中では世代的にかなり下のほうで、その若いセンスに期待がかけられている。

安心安定のいつものHOOKSOFT

――企画が始まったのはいつ頃からだったんですか？

亜佐美 同ラインの前作『Strawberry Nauts』が発売してすぐだったんで、2011年の11月ぐらいからです。ただ、企画を考えだしたのはすぐだったんですが、そこから大体の形になるまで難航しまくりで、半年以上かかりましたね。「PIT」システムなども含め、『Strawberry Nauts』でご好評いただいた部分、よかったところを踏襲しつつ改良して、新しい作品を作りたいと思っていたんですが、いろいろ悩んだり試行錯誤をしたので。

――本作のテーマである「くせになりそうな幸せ」についてお伺いしたいんですけれど、これはどのようにして考えられたんでしょう？

亜佐美 HOOKSOFTは、これまでもプレイして楽しくハッピーな気持ちになれる純愛モノを作ってきたのですが、今回も僕らの中でもともとのコンセプトとして「至福」というキーワードがあったんですよ。そこからユーザーさんに提示するキャッチーフレーズとして「くせになりそうな幸せ」というふうに掲げたんですね。で、それを実現するための仕掛けとして「文化部棟の王子様」というアイデアが出てきました。

――「文化部棟の王子様」に行きついたのはどんな経緯だったんですか？

亜佐美 まず『Strawberry Nauts』で使った学生寮という空間よりも、もっと規模を大きくしようと考えて、「文化部棟の中で完全に男は自分オンリーだけである」という案が出てきました。そこから設定としての「文化部棟の王子様」が生まれたんです。

――確かに文化部棟は春近の城と化してますもんね。

亜佐美 ええ、それで、文化部棟の女の子たちからもてはやされているのを見せたいっていうところから、システムとしての「文化部棟の王子様」が作られたんですね。

――『Strawberry Nauts』ビジュアルファンブックでのインタビューなどでディレクターの山根さんが言ってらしたと思うんですけれど、主人公が女の子を一人占めできないとダメとか、攻略しなかったヒロインも他の男性キャラとくっついちゃうのはNGとか、例えば温泉でちょっと裸を見られるのもダメみたいな方針があったんですよね。

亜佐美 はい。うちの場合、昔からそういう方向性ではあるじゃないですか。それをさらに極めていく感じでしょうか。だから今回、HOOKSOFTとして初めてなんですけど……男の親友キャラをナシにしたんですよね。

――これまでの作品だと必ずいましたよね。

亜佐美 王子様にするために、ホントに自分だけという状況にするために、そういう作り方を徹底したっていうのはあります。「文化部棟の王子様」だけでなく、「クロスビューイング」「俺の部屋」などのシステムも、そういう考え方から入れたものですね。

――なるほど。

亜佐美 ただ、「くせになりそうな幸せ」っていう言葉によって、すごい難しいところで長いこと悩むことになってしまったんですよ。なんせ、わりと広い意味でとれるので……。「PIT」での周囲の人たちの会話や「文化部棟の王子様」であることとか、そういうモテモテだよっていうことがクセになるのか、それとも物語の起承転結の中で、ヒロインと恋愛して付き合うことがクセになって幸せになるのか。そういう議論を僕らの中で行いまして（笑）。

――たしかに奥深いというか、幸せの定義とか考えると広いですよね。

亜佐美 そうなんですよ。普通にシナリオ上のエンディングを迎えてしまうというのは「くせになる幸せ」になるの？ みたいな意見もあり、「くせになる」って言ってる以上、なんかいつもと違う感じのほうがいいんじゃないのみたいな。でも、最終的にふと思い当ったんです。「至福」という言葉の意味って、幸せに至るまでの流れのことですよね。「クロスビューイング」で表現される女の子側の視点と、主人公の視点、両方用意して幸せに至る流れを追うこと、それが一番「くせになる」っていうか。そういう結論になりまして、まぁ、結局、いつも通りの作り方にしましょう、みたいな……（笑）。

――だから公式サイトで"「普通の学園モノ」から「普通の学園モノ」へ"ということを書かれているんですね。

亜佐美 いやでも、初めはもっとひねりまくったほうがいいんじゃないかみたいな話で結構危なかったんですよ。もっとくせになるような、もっといつもと違う、ハードなエンディングにしたほうがいいんじゃないか、みたいな話もしてたんで（笑）。

『PriministAr』の意味するもの

――次に『PriministAr』というタイトルの由来とか意味について伺えますか？

亜佐美 スペルは違うんですけど、総理大臣を意味する「Prime Minister」から来ています。この単語は直訳すると「最重要大臣」となりますが、Ministerの「e」を「a」に変えたら、「小さな星」になるんですよ。それを全部を組み合わせて「大切な小さな星たちの集まり」という意味を込めて『PriministAr』にしたんですね。

――小さな星たちというのはヒロインたち？

亜佐美 もちろんそれもありますし、それだけじゃなく文化部棟の女の子たちであったり、いろんなものを含めてですね。

――ちなみにそれはどなたの案だったんでしょうか？

亜佐美 実は前の『Strawberry Nauts』でストロベリーはいいんですが、ノーツが読めないっていう意見が結構あったので、今回はちょっとわかりやすいやつ、そしてなおかつ、オシャレなタイトルがいいという話をしていまして、スタッフのみんなに案を出してもらって2か月ぐらいかかったと思うんですけど、結果150ぐらい集まっちゃって（笑）。それで最後まで残ったタイトルから決めようと思ってたら、原画家のもとみやさんが「PriministAr」という案を出してくれて、「コレすごくいいんじゃ

「そういう結論になりまして、
まぁ、結局、いつも通りの作り方にしましょう、
みたいな……（笑）」亜佐美

「手先が器用で、家庭的なんだよっていうのをアピールしたかったんですが、着ぐるみでわけがわからなくなっちゃったかもしれないですね（笑）」桜城

ない」ということで、あっさりそっちに決まりました。

新しいシナリオライターにかけた期待

――今回、ライターさんの起用はどのように決められたのでしょうか？木村ころやさんは『フレラバ』でも書いてらっしゃいましたよね？

亜佐美　木村さんは『フレラバ』のときに非常にヒロインとのコメディータッチの良さとか、面白さがあったので、そのままスライドしてお願いできないかなっていうことをお話したんです。

――そうだったんですね。ほかのお二方も別ラインとかでサブライターなどやってらしたんですか？

亜佐美　桜城さんと九平さんは今回から初めて参加してもらったライターさんで、こちらで募集して入っていただきました。今回、作品に「今」の新しい風を取り入れたいというのがあったんです。

――桜城さん、だいぶお若いですよね？

桜城　はい（笑）。

――じゃあ、『PriministAr』が記念すべき商業デビューだったりするんですか？

桜城　そうですね。前の作品でスクリプトをやったりしたことはあったんですけど、シナリオは初めてでした。

――今回の企画を見ての第一印象みたいのは？

桜城　やっぱりHOOKSOFTだなぁ、みたいのは思いましたね。そこに自分の考えをどう付け加えて、よりいいものにできるかなっていうのを考えました。

――ちなみに、歴代の作品でこれが特に好きだったなとかあります？

桜城　特に衝撃的だったのが『Honey Coming』のメインヒロインの朝陽ですね。

――衝撃っていうのはヒロインの行動とかですか？

桜城　すべてにおいてです。こんなヒロインがいるのか!って。不思議な新鮮味を感じました。

亜佐美　僕らとしては、朝陽をそういう風にとってもらえるのが新しいなって思ったんですよね。朝陽はツンデレ系幼馴染のお手本みたいなキャラじゃないですか。それを珍しいととってくれる若い感性っていうのが、今回やっぱり一番ほしかったところなんで。HOOKSOFTといえば「純愛」だと思いますが、それに対しての考え方やセンスも違うんですよね。ずっと僕が言ってた純愛というものが、彼が考えてるものと全然違うんですよ。僕はやっぱり純愛って1対1だと思ってて、比較的ヒロイン同士もぶつかり合わないっていうイメージを持ってるんですけれど、今やってるアニメとか見てても、ほとんどのものが三角関係で嫉妬とかで可愛さをアピールしている作品が多いんですよね。今まで僕らの作品ではそういうのは作ってこなかった。

――確かに今までのHOOK作品って、主人公に選ばれなかったヒロインたちの割り切りがすごいですよね。

亜佐美　今思えばちょっと物足りないなと思うんですよね、今思えばですよ?（笑）　で、まぁ、桜城さんたちと話をしてて、今の時代はそうなんだって、僕も勉強させられるところがありました。だから今回はそういう要素が多少入ってます。

――そうですよね、汐路ルートやつばさルートでサブキャラクターたちがそういった面を見せるところもありました。

亜佐美　そういう意味では、今までのHOOKSOFTファンのユーザーさんだけじゃなく、初めてうちの作品を手にしたであろうユーザーさんにも届いたかなと思っています。

『PriministAr』の主軸となった「文化部棟の王子様」

――システム面のお話を伺っていきたいんですが、「文化部棟の王子様」はどなたから出たアイデアだったんでしょうか？

亜佐美　これはディレクターの山根ですね。前作から「PIT」と「俺の部屋」は残すことが決まってて、じゃあああとはどうやって改良していこうっていう話になったんです。

――それでできたものが「文化部棟の王子様」であり、「クロスビューイング」だったんですね。

亜佐美　ただどちらも、ずーっと悩みまして、とくに「文化部棟の王子様」にモブキャラの立ち絵を入れるか入れないかというのと、これをシナリオ上のどのポイントで入れるかっていうのが……。

――完全に独立してますもんね。

亜佐美　立ち絵を描いてもらって、もしヒロインよりかわいかったらどうしようっていうところもあって。わりとあるんですよね（笑）。

――「なんで攻略できないんだー!」になりますよね。

亜佐美　それもありましたし（笑）。でも、『_summer』でメガネの高橋さんというキャラを作った時もビジュアルなしで想像して楽しんでもらったんで、今回も最終的に立ち絵はナシになったんです。なので、難しい条件ですが桜城さんにはシナリオのどこに入れても邪魔にならないようにと、お願いしました。

桜城　自分としては、どこに入れるか苦労したというより、文化部棟って、当然主人公たち以外の生徒もいるので、自然なかたちでこういう人たちもいるんだよって、世界観の広がりを見せたいと思って書きました。

――「文化部棟の王子様」の掛け合いはとても面白かったです。

亜佐美　これは「ぶっちゃけもう声優さんにお願いするしかないッス」っていうところもあって、声優さんに飛ばしちゃってくださいってお願いしたら、わりとみなさん楽しく演じてくれて（笑）。

桜城　それもあって「文化部棟の王子様」に登場する面々は立ち絵がなくても個性が出せたかなと思います。

一風変わった王子様

――今作の主人公像ってどうやってできあがったんでしょう？　文化部棟は王子様のほぼハーレム状態ですよね。

桜城　ええ、なので、同じ男からも好かれる主人公になるように気を付けました。

――趣味もかなり変わってる面白い主人公だと思うんですが、お題的に難しかったですか？

桜城　主人公がどういう人物なのかを考えるだけで20日ぐらい費やしました。着ぐるみ師になりたいっていう発想とか含めてちょっと困惑しましたけどね。

――手芸部っていうところはどこからきたアイデアだったんですか？

亜佐美　文化部棟の設定を作った際に、家庭的なことができる主人公がいいんじゃないかって話になったんです。

――料理ができる男性ってモテたりしますもんね。

亜佐美　一般的な話ですけど、女性が理想とするのは家庭的な男性だという意見が最近は多いっていうのもあったんです。

――それで手芸に？

亜佐美　手芸が得意っていう男性はあんまりいないですよね。

――ソーイングセットを持ち歩く男性とか、あんまり見ないですね（笑）。

亜佐美　でも、もしそんな男の子がいて、ほつれたとことかちゃちゃっと直せたら、かなり半端じゃないインパクトが出せるんじゃないかって思って、で、家庭的なイメージがつけば、それは女の子が主人公を好きになるひとつの理由として強い根拠になると思ったんです。

――そこで、なんで着ぐるみだったんですか？

亜佐美　さらにもうちょっと個性がほしいってなって、普通の人があんまり思いつかないようなところに……。

桜城　手先が器用で、家庭的なんだよっていうのをアピールしたかったんですが、着ぐるみでわけがわからなくなっちゃったかもしれないですね（笑）。でも、それで面白くなったんだからよかったかなと。

あのキャラは攻略対象だった!?

――諸事情で没になったものとかってありましたか？

桜城　実は萱野ルートと花連ルート

が没案というか……。

亜佐美　実現できなかったんですよね。

――わりとユーザー側からもそのふたりはなんで攻略できないのかって声もありますよね。

亜佐美　ですね、はい。やりたかったなっていうのはあるんですけど、諸事情により断念してしまいました。今のところは予定はないんですけれど、機会があるといいですね。

桜城　花連はつばさルートでしか出さなかったんですけど、もう少しシナリオに絡めたら、つばさの魅力もあがったんじゃないかなとも思います。

亜佐美　萱野についてはいろんな設定があったんですけど、重い話になっちゃうんでやめたほうがいいかなって……。シナリオの流れみたいのは桜城さんに作ってもらってたんですけど。

桜城　やりたかったですねー、萱野は。個人的に年上が好きなんで、萱野をもしホントにやるってことなら、全力でやりたかったというのはあります。

――BADENDが小糸中心の話になった経緯は？

亜佐美　あれは最後に作ったんですけど、今までなら親友ENDなんですが、今回いないんで……。

一同　（笑）

亜佐美　入れられるのが小糸だけだったっていうのもあるんですが、雷が怖いって甘えてくる描写を入れたらかわいいんじゃないかっていうのもあって小糸になりました。

――これはこれで小糸にとっては「至福」ですもんね。

亜佐美　はい。お兄さんといて幸せだったんじゃないですかっていうのもあったんで、BADっていうよりは誰にも行かなかったときはコチラへ、っていう作り方をしたんです。

キャスティングは完全に指名

――キャスティングや音声収録、声優さんのことについて、裏話とかありますか？

亜佐美　かのこ役の秋野花さんなんですが、実はたまたまなんですけれど『Strawberry Nauts』にも少しだけ出ていただいてて、その時からメインにしようって決めてたんです。『フレラバ』にもゆずゆ役で出ていただいてたんですが。

――ゆずゆから考えると、かのこは真逆ですよね。

亜佐美　そこが決めるのが難しかったところなんですけど、単純に秋野さんの良さっていうのを生かしたかったっていうのがあったんで。

桜城　叫んだりしたときに出る一番高いところの声が、自分の中でかのこがパニックになったときの声のイメージと合ってたんです。

――キャスティングはヒロイン全員、指名されていったんですか？

亜佐美　そうです。ホントにそのキャラに合う人を選んでいきました。

桜城　収録にも立ち会っていたんですが、声優さんが最初に作ってきてくれた声や演技は、ほとんど直すところがない感じでした。なので、わりとのびのびと演技してもらえてるかなって。指名がよかったんだと思いますね。

――桜城さんからもキャスティングの要望は出されたんですか？

桜城　そういうのはないんですけれど、青葉リンゴさんが汐路に決まった時は「お～～～!」っていう感じでした。個人的にリンゴさんの凛々しい声が好きだったんで。

――千里はいかがですか？

亜佐美　千里の声は少し調整してもらいましたよね。

桜城　はい。最初、絵のイメージから、かなり落ち着いた感じだったんですけど、もう少しかわいらしさを出すような感じにしてもらったり。元気よく、女の子らしくっていうのをお願いして完成したのが千里の声なんです。

亜佐美　病弱な感じが一発でバレないように、ちょっと声に強さを持たせてもらうようにしたんです。白月さんはそこが微妙なバランスで大変だったかもしれないですね。

――つばさはどうでしたか？

亜佐美　つばさは、そもそも一歩間違えると目立ちすぎてしまうという危険性もあって……。

桜城　なので、百瀬さんにはすごくかわいいイメージで目立たないように注意してもらいました。

――ぐいぐいくるキャラですもんね。

亜佐美　普通にやってもらったら、激しかったんですよね。だから、ほんの少し抑え目にしてもらって、今のつばさができあがったんです。

――流々子なんかもあくの強いキャラですが。

亜佐美　サブに関してはあんまり細かい指示は出してなかったんです。流々子役の藤咲さんにも、継花家の設定はお見せしてたんですが、自由にやってくださいってお願いして……。

桜城　こちらがイメージしてたものより、激しいキャラでやってくださって、最初は戸惑ったんですけど、聞いてるうちにかわいくなっちゃって、それが今の流々子なんです。

亜佐美　だから、僕らが持ってたイメージとはかけ離れた、声優さんによってできあがったキャラかなという気がしてるんです。

――花連もそういったお願いの仕方で？

亜佐美　花連役の奏雨さんにも萌えキャラではなく普通の女の子を意識して冷たく言っちゃっていいですよぐらいしか言ってなかったんですよ。

――自然に話してる感じでしたもんね。

亜佐美　なので、花連が新鮮だったというご意見をよく聞くんですけど、その影響かなと思いますね。

――主題歌などで制作秘話みたいのはありますか？

亜佐美　霜月さんにお願いするのと、千里をメインにするっていうのは決まってたんですよ。

――歌詞が千里ルートですよね（笑）。

亜佐美　わからないようにひねったつもりだったんですが、すぐにみなさんにはわかっちゃったみたいで（笑）。千里だけのゲームというわけではないので、かなりボカしたんですけど、みなさん、すごい想像力に驚かされました。

キャラトーク 安芸かのこ

――各ヒロインについてお聞きしていきます。まずはかのこから、テーマや力を入れたポイントについてお願いします。

亜佐美　うちの意地みたいなもので、王道の幼なじみというものに徹底的にこだわりました。主人公の安息地になってほしいなと。

桜城　かわいらしさについて一番考えたのがかのこです。十何年幼なじみとしてしか見ていなかった女の子を何がきっかけで女の子として見れるのっていうのが重要なんで、女の子の魅力っていうのを一番大切にしましたね。

――春近も夢を叶えて、ふたりでお店を継いでって、ホントに幸せな話ですよね。ちなみにエピローグの話って、どれぐらい先とか、具体的に決めてあるんですか？

桜城　具体的にはありませんが、近い将来という感じですね。

亜佐美　大体、どのルートでもそういう想定です。ちなみにエンディングの引いた絵なんですけど、うちでは王道幼なじみルートに必ず入れるようにしてるんです。それでかのこはエッチシーンが1枚少なくなっちゃって（笑）。

――エッチシーンがひとりだけ一つ少ない理由はそこだったんですね。ほかにお気に入りの場面とかありますか？

亜佐美　お風呂のシーン、いいですよね。このかのこがシナリオ的なところでも一番かわいいと思ってます（笑）。

桜城　かのこって幼なじみだからこそ、妹にも姉にもなれるおいしいポジションだと思ってて、ウェイトレス姿で上から覗き込まれてるって構図のイベントCGがあったあのシーンがお姉さんぽく見えて好きですね。



「うちの意地みたいなもので、王道の幼なじみというものに徹底的にこだわりました。」　亜佐美

「春近の視線に気付いて焦るところもかわいくて、このシーンは最高だー！っていう感じです」桜城

キャラトーク 枝那森千里

——千里については、HOOKSOFTとしては冒険したシナリオということになるでしょうか？

亜佐美 まあ、狙ったとおりではあったんですけど、やっぱり発売後、ユーザーさんからの反応が一番大きかったですね。

桜城 結構伏線を頑張りましたね。共通ルートの千里の選択肢に全部入れてますから。

——編み棒を誤って折ってしまうところとかそうですよね。

桜城 萌えゲーの中でもわりとシナリオ寄りの作り方をしました。

亜佐美 もともと千里のテーマが秘めた想いだったんです。それで春近と一緒にいることが、彼女の一番の至福っていう作りだったんで、重くなるのは見えてましたね。

桜城 エンディングが悲しい話にどうしても見えてしまうので、話が重くなりはじめたところから、コメディシーンをばらまいてバランスを取ったり、かなり気を使いました。構成でかなりこだわったところです。

亜佐美 でも千里も春近にとっての帰る場所みたいなところがあって、部室で必ず待ってくれてるっていうのが、すごくかわいいなって。

桜城 自分としては千里とお母さんのやりとりを春近が見て、春近がすっと病室を出て行くシーンが印象的です。

——互いに気を使いすぎてすれ違ってた親子が、春近を挟んで打ち解けたのがすごくあったかかったですね。

桜城 お母さんがふたりよりちゃんと大人じゃないと成り立たないところなんで、気を使いました。



キャラトーク 継花三澄

——次は三澄ですね。三澄もわりと反応があったんじゃないですか？

亜佐美 そうですね、千里ほどじゃないですが、わりとホロッとくる内容でしたから。僕としてはチャレンジしたところがあって……、告白シーンに流々子と十貴恵を置いたというのが、今までのうちの純愛主義に反するんじゃないかという考えもあったんですよ。

——ロマンティックなシーンがいきなりひっくり返されますよね。三澄自体はどういう設定だったんですか？

亜佐美 もともと三澄について決まってたのは、高嶺の花という側面と、生真面目さからくるエロ妄想をしがちな側面を持ってるというところですね。

——エッチなことに関して想像で暴走しかけたり。

亜佐美 キーワードは「溺れる新生活」でした。春近くんの家に初めて泊まりに行った初日からだいぶ飛ばしてます(笑)。

桜城 誰かに甘えるっていうことをしてこなかったヒロインなので、甘えられる存在ができて、そこに溺れていくというのも含んでたんです。

亜佐美 一番信頼を寄せられる春近くんに甘えまくってるっていうのが三澄にとっての一番の至福なんです。

——お父さんがいないっていうのも大きいですよね。

亜佐美 いつも通りのHOOKの流れであんまり起伏がないのかなと思わせておいて、最後のほうで山場として、ちょっとシリアスなシーンを仕掛けてみたんです。

——ビデオレターのところですね。

亜佐美 うちの作品では、直球で肉親が亡くなってるという設定をシナリオに入れたのは初めてだったんで、しっかりと作りたかったんです。でも、他とのバランス考えるとどうしても厳しくて。後悔もありますね。

桜城 流々子とか十貴恵さんとかっていうのはたしかにお馬鹿キャラではあるんですけど、そういった悲しい過去を乗り越えてるんだよっていうのも見せたかったんです。

——桜城さんは印象に残ってるところとかあります？

桜城 この足ですよね！

——足ですか(笑)

桜城 清掃活動でメイド姿の三澄が無防備に晒してて……この足にやられました(笑)。春近の視線に気付いて焦るところもかわいくて、このシーンは最高だー!っていう感じです。



キャラトーク 木倉汐路

——続いて汐路についてお願いします。

亜佐美 ここまでツン度が高いヒロインは初めてでした。でも、デレてから春近の声が聞けるだけで幸せだっていうところがいいんじゃないかなって。

桜城 基本的にこのゲームはヒロインから思われて、っていうゲームなんですけど、汐路に関してだけは、あまりに恋愛とかに疎すぎて主人公が奔走するっていうところが面白いと思うんですよね。

——本当の意味での攻略ヒロインでしたね。

亜佐美 最近のツンデレキャラは、デレデレって印象しか受けないんで、飛ばしてみようかということになったんですよ。

——そんなツンが激しい汐路ですけど、ギャグ要員でもある。

亜佐美 ギャグキャラとしてもしっかり作っていて、ツンが強すぎるがために、勘違いしたりしてしまうところとか面白くできたんじゃないかなと。

——汐路ルートで気に入ってるところはありますか？

亜佐美 僕は2回目のHシーンのところが好きです。Hまでしてるのに、デレてる様子がなくて、全然折れてないっていうのがいいです。

桜城 シーンっていうわけじゃなくて、汐路自身が、春近を終始名前で呼ばないっていうのが、そこに魅力を感じてるところでもあり、一番見せたいところでもありました。

——春近が名前で呼ばれる日は来ると思いますか？

桜城 そこはご想像にお任せします(笑)。

亜佐美 何がどうあっても呼ばない気がするよね(笑)。



キャラトーク 桐理つばさ

——次は、つばさについてお願いします。

亜佐美 テーマに「天才の本気」というのがあって、普段は本気出してないんだけど……。

桜城 花連にはかなり本気で向かっていってます。

亜佐美 天真爛漫で策士な頭のいい子なんだよっていうのと、「女同士の友情」というところに力を入れたんです。そのせいでドロドロになりそうでもあるんですけど。

一同 (笑)

亜佐美 たぶんつばさも花連を意識しているんだと思うんですけど、その微妙な距離感がいいかなって。HOOKSOFTとしては、これ以上はやれないですけど、もっとドロドロさせても面白かったかもしれないというのはありますね。

桜城 重くなく、女の子が牽制しあうところを見たかったですよね。

亜佐美 春近の家の前でつばさと花連が牽制しあったりとか(笑)。

桜城 つばさは天才なんで、どう牽制するのかとか書けたら面白いと思うんです。

亜佐美 つばさのすごいところは花連以外眼中にないところなんですよ

ね。手芸部の面々には全然余裕な態度でいるっていうのが。

——それが後輩キャラっていうのもまた面白いところですよね。

亜佐美　天才でいろいろ悪さを考えるっていう後輩がいたらかわいいんじゃないかなって作ったキャラなんです。花連が見てる前で春近を抱きしめてるシーンとか、完全に挑発してますよね。

桜城　4回目のHシーンのあとのつばさと花連の話してる場面とかすごいですよね。Hの内容を花連に語って聞かせるとか(笑)。

亜佐美　や〜、もう、面白くてしょうがないです(笑)。



キャラトーク 継花流々子 / 十貴恵

——流々子はメインヒロインかと思うぐらいに出ずっぱりでしたね。

桜城　ウザキャラにならないかって話がチラホラあって、ウザがられるなら、愛されキャラにしようと思って作りました。

亜佐美　ほんとは三澄のよさを引き出すための対比キャラのつもりだったんですけど、なんかそうじゃない感じになっちゃったんですよね(笑)。作っている最中に、成長したキャラクターです。

——エッチシーンも今までのHOOKSOFTとは違った……。

亜佐美　ちょっと特殊なの作ってみようっていう提案が山根くんからあって、メインヒロインでやるのは当然ダメなんですけど、サブならまぁいいかと思ったんです。それで、ちょっと挑戦してみたんですね。

——桜城さんもそこらへんの描写は気を使いました?

桜城　個人的にはエッチシーン自体、一番のイチャラブシーンだと思ってるんで、だからこそ濃い!っていう感じの内容を作りました。そうしたからこそ、今のポジションというか、愛されるキャラになったのかなって思います。

亜佐美　やっぱり個性的ですよね。

——十貴恵もやっぱり流々子のお母さんだなって思わせるほど個性的ですよね。

桜城　前半と後半のギャップっていうのが設定の段階からあって、その後半のぶっ飛んだ発言とかを楽しんでもらえたらって思ってました。

亜佐美　エロいことも平気で言ってきますからね。流々子同様飛ばしすぎましたね。

キャラトーク サブキャラクター

——参宮姉妹はやはりふたりでセットという感じだったんですか?

桜城　そうですね。巴菜は一応由芽の対比目的で出してはいたんですが、どっちもボロが出たとき歳相応の反応をしちゃうかわいさみたいのを見せたかったんです。

亜佐美　僕はどっちかを男の娘にしたかったんです。そのほうが幅が広がるかなって思って。外観はこのままでいいんですけど。

——セットといえば、小糸萱野親子についてはどうでしょう?

亜佐美　萱野が攻略対象の可能性があったんで、小糸と実の親子にできなかったんです。それで、小糸がどこからきたのってなったときに、重い設定を負ってしまったんですよね。

——萱野が小糸を引き取った経緯も重い話なんですか?

桜城　はい。実際には重いんで濁しましたね。

——つばさの話でも少し出てきましたけど花連はどうでした?

亜佐美　花連はこだわりましたね。リアルな女の子っていうのを目指して。

——美少女ゲームのある種のタブーへの挑戦ですよね(笑)。

亜佐美　つばさに対して、そんな話ばっかり聞きたくないって本気でぶつかっていける子を作りたかったんですよ。それに対してつばさが挑発して、それを受け流せる能力が必要だってなって、そのバランスにこだわったのが面白かったです。

15年目の HOOKSOFTを目指して

——発売してからけっこうたったと思うんですけど、手ごたえはいかがでしょうか?

亜佐美　僕的には幸せの形として新しい見せ方を作ることができて、うちもやるときはやりますよっていうのを見せられたんじゃないかと思ってます。千里のシナリオはかなりネガティブかもしれないですけど、シナリオがよかったって言われたのは初めてじゃないですかね。かといって、これから全部そういうふうになりますよってわけでもなくて、今回は挑戦的にちょっとやってみたって感じです。

——桜城さんはいかがでした?

桜城　デビュー作ということもあって、やはり難しいって痛感しましたね。ただ、ネットなどでユーザーさんの感想を見てると、自分の中での目標としていた部分は、けっこう達成できてるかなという気がしていて、やってよかったって思います。

亜佐美　僕がやってよかったなって思うのは、シリアスな部分に関して、いつもと違った見せ方で、こだわって作れたのが新鮮でした。いろんな描写にチャレンジしたんで、僕らもだいぶスキルアップしたんじゃないかなと思います。

——今後の展開や次回作についての計画とかありますか?

亜佐美　内容はまだなにも決まってないんで言えないんですけど、『PriministAr』はこの先も何かの形でやりたいなとは思ってます。

——ファンディスクとかミニファンディスクみたいなものですか?

亜佐美　あくまで気持ち的な話ですけど、そういうのやっていきたいなって思いはありますね。萱野とか千里のその後とか、ちょっとやりづらいものもありますけど……。

——そうですよね。

亜佐美　千里は治してあげたい気持ちもあるんですけど、それはどうなんだろうっていう思いもあります。まぁ、まず今は、このファンブックや書き下ろしショートストーリーを楽しんでください。

——桜城さんは目標や野望はありますか?

桜城　そうですね。個人的なものなんですけど、このライターさんなら安心して買えるって言ってもらえるようになりたいですね。

亜佐美　そこまで行ってくれれば最高ですよね。

——では、最後に読者へのメッセージをお願いします。

桜城　この本のショートストーリで、みなさんが気になっているその後の千里と春近の幸せな様子が描かれていると思いますので、そこをぜひ、一緒に噛み締めてもらえればと思います。

亜佐美　今度発売する「MeltyMoment」の次が、おそらくうちの15年目のタイトルになるんで、それを節目と捉えて、HOOKSOFTでの純愛のひと区切りにしようかと思っています。純愛をやめるという意味ではなくて、自分の中で決めつけてきた純愛ゲームの在り方を、桜城さんも迎えたことですし、新しいものにしていきたいという目標をもっています。これからも安心して買えるHOOKSOFTっていう体制は、もちろん変えないですし、なるべくうちの原則をやぶらずに、これまで通り純愛学園ラブコメを作っていくんですけど、ただ、より面白くなるよって言える作品にしていきたいなと思います。

——ありがとうございました。

「今度発売する『MeltyMoment』の次が、おそらくうちの15年目のタイトルになるんで、それを節目と捉えて、HOOKSOFTでの純愛のひと区切りにしようかと思っています」　亜佐美

原画編 スタッフインタビューⅡ

キャラクターデザインと原画を担当された女性原画家3人が集まっての座談会。スーパーバイザーとして亜佐美晶氏にも同席してもらい、デザインの経緯から制作裏話、お互いの印象まで、興味深い内容を根掘り葉掘り聞いた。

Profile

松下まかこ



HOOKSOFTの看板原画家。数々の人気キャラを手掛けてきた。今作ではかのこと三澄、三澄の母、十貴恵のデザインを担当している。最近、ハマっているものはない模様。

もとみやみつき



HOOKSOFTのグラフィックチーフ兼原画家。担当キャラは前作から更に増え、メインの千里、汐路の他、十貴恵と花連を除く全てのサブキャラ。常に引篭りたいらしい。

羽鳥ぴよこ



フリーランスの女性原画家。HOOKSOFTでは『Strawberry Nauts』以来2作目。最近ハマっているものは『黒子のバスケ』と『グランロデオ』という安定の腐女子っぷり。

『Strawberry Nauts』の女性原画家、再集結!

――原画家を決めるにあたっての経緯をお聞きしていきたいと思います。前作の『Strawberry Nauts』と同じ布陣ですよね。

亜佐美　前作がかなりいい感じに仕上がっていたので、原画も同じメンバーで作ろうということになりました。

――まかこさんメインのラインなので、まかこさんはいないと始まらないですが、みつきさんはグラフィックチーフも兼任ですよね。プロデューサーのkeiさんに「また原画やれよ」みたいな感じですか。

みつき　うーん、確かそんな感じ……?

――羽鳥さんは前作が終わった後、次にすぐありますという感じだったんですか?

ぴよこ　前作が終わった後、「次をやるならお願いします」と、お声をかけていただいてました。私自身も次あったらやりたいなと言っていたので、また来てよかったなって安心しました。

――ところで原画家さんたちの作業が動き出したはいつぐらいなんですか?

みつき　最初のキャラクターデザインは2012年11月末からですね。

亜佐美　本格的に作業が動いたのは『Strawberry Nauts』が終わってから一年たったくらいだから、わりと間が開いてるんですよ。

――担当キャラはどのように決められたんですか。

亜佐美　今回はまず、まかこさんに幼なじみのメインヒロインをお願いして、みつきさんに『Strawberry Nauts』の穂海と同じような、凝ったシナリオのキャラを担当してもらうっていう話にしていました。

みつき　三澄の担当がまかこさんになったのは、『Strawberry Nauts ビジュアルファンブック』※のインタビューで、「黒髪やりたい」って言っていたのを反映してだったような気がします。

まかこ　そんなこと言ったかな? 覚えてなかったです。

一同　(笑)

――それでは、ぴよこさんのキャラはどうやって決まったんですか?

ぴよこ　最初、打ち合わせをした時に「巨乳と貧乳どっちが描きたい?」って聞かれたので、私、おっぱい大好きなんで巨乳がいいですって。

みつき　その同じ時期に「貧乳をくれ」って言った気がします。貧乳描きたいから貧乳キャラをくれって。

――バランスがいいですね。サブヒロインはシナリオが出来てからですか?

みつき　十貴恵と由芽は企画の初めからいたので、とりあえず担当キャラの人に振って、残りは後から決まったので私が……。

タイトル名の考案はみつきさん

亜佐美　『PriministAr』のタイトル名はみつきさんが考えたものなんですよ。

――そうなんですか。前作もそうですがHOOKSOFTのタイトルっていつも独特な名付け方がされてて、ちょっと考えないと色んな意味にとれるようになってますよね。

亜佐美　今回は「Prime」と「mini」と「star」ですね。小さい星っていうのは文化部棟の王子様とか、女の子たちがたくさんいますよって言う意味。それがたくさん星のように集まっている。みんなで集まって一緒にいるのが大事なんだよっていうような、かのこのこととか、三澄の家族とか、キャラクターごとに色んな設定に絡められるようにっていう。

――色んなイメージを含めている感じなんですね。

亜佐美　ま、こじ付けですけどね(笑)。もちろんタイトルの方が企画より後なんで。そんなこと言えないですけど。

――総理大臣や首相を意味する「Prime Minister」は意識していなかったんですか?

みつき　いえ。語感がいい単語を探したら、これ可愛いなと思って。でも、意味を見てみたら全然違って(笑)単語に分ければなんかそれっぽいなぁと。

亜佐美　今回お題が難しかったんですよ。ストロベリーとかベタなのじゃなくて、洒落てて個性的なタイトル。その中の何百もある候補の中から『PriministAr』が選ばれたという感じだったんです。

みつき　あと「iの点が三つちっちゃいのが並んでるのがいいよね」ってkeiさんが言ってましたね。

――まかこさんやぴよこさんはタイトルの意味とかご存知でした?

まかこ　知らなかった。

――どんな意味かなーとかあんまり気にしないですかね?

まかこ　すっきりしてるなって。

ぴよこ　私バカなので、ずっと単語の意味が分んなくて、これってどういう意味なんですかって聞いたら、造語ですって言われて、あっ、そうなんだ、で終わりです。

一同　(笑)

――なんかカッコイイ感じの単語だなくらいですよね。

突然の百合トーク、そしてお互いの印象

ぴよこ　(小声で)……肌がきれい。ホント肌きれい。

(とか言いながらぴよこさんがまかこさんの太ももをさわる。しかし、まかこさんはなぜか反応薄。)

――どうしたんですか?

まかこ　太もも触られてた……。

一同　(爆笑)

――全然関係ないですよね。

ぴよこ　いや、なんかストッキングはいてんのかな? 生足なのかなって気になって。すいません。

みつき　レコーダー回ってるからね(笑)。

ぴよこ　前回もこんな感じだったから、今さらかな～って。

――気になっても実際に触って確かめないですよね(笑)。

ぴよこ　同性だから許される……かな?

まかこ　けっこう初対面から触ってきたよね。

ぴよこ　サイン会の時から乳触らせてもらってました。

――大丈夫ですか。拒否してないんですか?

みつき　まかこさんは基本されるがままだよね(笑)。

一同　(笑)

――それでは、お互いの仕事やイラストについての印象についてお聞きしたいんですけど、まずまかこさんはぴよこさんへの印象は?

まかこ　絵の印象は、なんか素直な絵だなって思います。笑顔とか何も含みがない顔っていう、「ぱぁ～」っていう感じ。今回のつばさは特にぴよこさんが描いてピッタリだったなって思いましたね。

――それは絵に人柄が出るみたいな。

まかこ　あー、そうかもしれない。キャラがかぶってる感じなんだよね。

ぴよこ　それは知人に言われました。雑誌にキャラクターの説明とかあるじゃないですか? けっこうキャラかぶるよねって。

まかこ　人柄は人懐っこい子って印象ですね。

――それじゃあ、みつきさんについてはどうですか?

まかこ　絵はつり目のキャラが可愛いくて好きなんですよ。ぴよこさんとは対照的ですけど、ちょっと表情がついてる感じのキャラが好きですね。

――みつきさんは原画の他に、グラフィックチーフの仕事もされて大分経っていますけど、塗りに関してはいかがですか?

まかこ　塗りも色々あると思うんですけど、HOOKSOFTのカラーにピッタリだなって思います。そのまま進化してるんですごいなって思ってます。

みつき　ありがとうございます。

まかこ　あと、すごい働き者です。

――それではぴよこさんから見た、まかこさんの印象は?

ぴよこ　すごくいい意味で安定している絵ですよね。私は描いている時に色々迷いすぎて「あー」ってなるんですけど、それがないのがすごいなって思います。あと肌がめちゃくちゃきれいなんですよ。肌きれいだし(笑)、メガネ似合うし、いやぁ、ついつい触りたくなりますね。

――インタビュー中は程々にしてくださいね。みつきさんについてはどうですか?

ぴよこ　やっぱり、塗りもすごいし、絵も上手いし、あと描くのが早いですよね。だからすごい勉強になります。描いた絵を送った時に、「ここいじったらもっと可愛くなりそう～」みたいに教えていただけるので、すごい感謝しています。

「貧乳はあんまり描きたくはないですね。なんだろう。二次元の貧乳はそんなに魅力的じゃない、かな」まかこ

みつき　やったっけ？　あんまり記憶がないんだけど……。
ぴよこ　面倒見のいい姉御肌的な。一見、デレデレしないんだけど、心を許した相手にはみたいな……。
みつき　私はそんな設定なのか(笑)。
ぴよこ　会うのはイベントぐらいですけど、スカイプで色々話したりしてます。
みつき　キャラ萌の話とかよくするね。
――みつきさんから見てのまかこさんとぴよこさんについて、いかがですか？
みつき　ぴよこさんの絵に関しては、ストレートに嫌みなく可愛いって感じの女の子がいいなって。自分は素直なキャラを描くのが得意じゃないので羨ましいです。
ぴよこ　みつきさんとはイベントで会うたびセクハラしてます。
みつき　させてないけどね(笑)。
ぴよこ　みつきさんのおっぱいを狙っているのは、私だけだと思います。
みつき　狙ってたのか……。
――じゃあ、まかこさんについてはいかがですか？　もう長いですけど。
みつき　むちむちの女の子がいいですよね。さわりたい。
――まかこさんは描いているうちに、普通サイズのキャラでも、段々巨乳になっちゃうっていう癖みたいなのがありますよね。
まかこ　貧乳はあんまり描きたくはないですね。
みつき　えっなんで？
まかこ　え？　…………（10秒経過）
――長考に入りました(笑)。
まかこ　なんだろう。二次元の貧乳はそんなに魅力的じゃない、かな。
みつき　自分は貧乳描くのが大好きなんで、そこは分かりあえないかもしれない(笑)。
――そんなまかこさんですが、こういったインタビューなどがないと皆さんに実際に会ったりはしないんですか？
みつき　まかこさん、レアなので、たまに見ると癒されます。
まかこ　癒されるの？
みつき　未亡人っぽいオーラが。
ぴよこ　未亡人的な雰囲気はぴよこも同意します(笑)。

HOOKSOFTの印象

――ちなみに、HOOKSOFTでラインが分かれてから2作目ですよね、イメージ的に変わったなと思うことはありますか？
まかこ　良くも悪くも本当に安定しているなって思います。たまにはサスペンス系のゲームとか作ったらって思うけど、たぶん無理です。
――みつきさんが担当された千里ルートは、シリアス路線にふった部分はあったと思うので、そういうシナリオが入ってくるのをどう思われました？
みつき　初期プロットは読んでたんですが、設定が結構変わってて、本編プレイしてみて「あれ？　これHOOKでやって大丈夫？」みたいのはありましたね。

こだわりのメイド服

――今回、メイド服とか、かのこはウェイトレス服とかあって、フワフワ、フリフリの感じとか多いですよね。メイド服もメインヒロイン分あって、その辺はどうされたんですか？
みつき　メイド服は、初めは全員に同じ服を着せるって話になっていたんですけど、自分が「メイド服が描きたいから全キャラ違うのにしよう」って言ったら、それがそのまま(笑)。
――自分が好きなものは、よりがんばっちゃうパターンですね。
みつき　そう。なんか初めにメイド服描きたいからメイドのキャラを出してくれって、しつこく言っていたんですけど「ダメ」って断られて、私服差分だけならって話になりました。メイド服もかのこのぶんは自分がやって、三澄はまかこさん、つばさはぴよこさんが、それぞれがやりました。かぶらないように全キャラ違うパターンのメイド服になるようにしたんですよ。
ぴよこ　私はつばさのメイド服は赤系がいいっていうのは言っていました。
――今回、立ち絵の漫画表情が特徴的ですよね。キャラ全部に入れようっていうことになったんですか。
みつき　そうですね。共通ルートとか読んで、キャラのイメージに合わせて足していった感じです。
――シナリオに合わせてフィードバックしたっていうことですね。

キャラトーク
安芸かのこ

――ここからは各担当キャラについてお聞かせいただければと思います。まず安芸かのこですが。いつも幼なじみって大体はいるじゃないですか？　でもロングめでちょっとふんわりした感じとか多いですよね。
亜佐美　かのこはぱっと見が幼なじみ確定みたいな髪型にはしたくなかったんです。それで短くすると幼なじみに見えないっていう否定的な意見もあったんですけど、今回はそこを狙いました。
――短めの女の子が真ん中にいるって初めてじゃないですか？
亜佐美　初めてですね。やっぱりセンターにいる子を目立たせるか目立たせないかっていうのはあるんですよ。僕はセンターを目指したい派なんですけど、今回はなるべくバランスを取っていきたいっていうタイプの考え方ですね。で、『Strawberry Nauts』からそうしていたんですけど、結果的に『PriministAr』は『Strawberry Nauts』と比べても大分バランスがとれていると思います。
――まかこさんは、わりと指示どおりに素直に絵にしてみたっていう感じですか。
まかこ　してみたんですけど、この髪型、描くのがすごい難しくって。後ろの方もどう描いていいかわかんないしで。開発の後半になってやっと描き方が固まってきた感じです。かのこの髪型を描きこなすのに本当に苦労しました。
亜佐美　HOOKSOFT史上初なんですけど、僕とkeiさんが良いっていうのは危険なんですけど、即OKしました。一発で通しました。
――最強やばいパターンですね。
亜佐美　社内でもヤバいって言われたんですけど、可愛いから大丈夫っていうことで。
みつき　自分はロングのほうがいいんだけどって、ずっと言ってた気がする。
ぴよこ　私は最初に仕事を依頼されてデザインを見せていただいた時に、keiさんがこの髪型がすごくいいっておっしゃってて、すごい熱意の元に作られたキャラクターなんだなって思いました。
亜佐美　この髪型には菩薩級の包容力があるって。菩薩級っていう言葉の意味がわからなかったのですけど、ずっとそれを言っていました。菩薩ってちょっと違うでしょ。
――『Strawberry Nauts ビジュアルファンブック』のインタビューで、「おっぱいを大きく描いてしまう癖は、もう大丈夫です」ってコメントしてたんですけど、かのこはどうでした？
まかこ　そんなことも言ってましたっけ。またやってしまいました。デカ過ぎるからって、なんか直したんです。

※『Strawberry Nauts ビジュアルファンブック』
エンターブレインより発売されている、『Strawberry Nauts』のファンブック。女性原画家が3人揃っての座談会を行っており、彼女たちの知られざる生態が垣間見える、興味深い内容になっている。



「山根さんはロリは性的な目で見てはいけないっていう、“父性”って言っていましたけど(笑)」みつき

キャラトーク 枝那森千里

——千里はみつきさんの担当ですよね。

みつき 企画ができた最初は、人形が擬人化したっていう設定だったので、お人形さんっぽさが出るようにデザインしました。あんまりパターンも出さないですんなり決まりました。

——キャラデザができたころには、まだ、あの失明関係のプロットは出来てきてなかったんですか。

みつき 全然です。色決めてるあたりでやっとくらいで……。けっこう難航していたみたいです。

(突然、ぴよこさんとまかこさんが乳を揉みあいだす)

みつき いちゃつかないで!(笑)

——なんですか? 揉み合いっこですか? みつきさんのコメントの裏で。

みつき 二人は乳繰り合っていたって書いておいて下さい(笑)。

——前回、獣耳が好きだと言っていましたけど、千里のリボンのシルエットが獣耳っぽくなっているのは意識したわけではないんですか?

みつき 特に意識はしてないですね。

亜佐美 千里は猫をイメージしているので、本当は猫耳を付けて、それをピクピク動かすみたいなシーンを出来たらいいねっていう話をしていました。

みつき それは初耳。それならいっそ耳っ子にしてくれたら良かったのに…。

キャラトーク 継花三澄

まかこ 三澄は和風な感じとロングぐらいしか指定がなかったような。それでいくつか案を出して、いいのかなって思いながら、この前髪がダラーンってなっているのに決まったって感じです。リボンとか最小限で、ちょっと地味かな～って思ってたんですけどね。

亜佐美 あくまで常識人に見せたかったので、長いリボンとか付けてないで、まじめな学園のアイドルで常識的に見えるようにってしました。黒髪ロングっていうのもディレクターがこだわっていましたね。

まかこ ぴよこさんってこういう髪が長いの好きでしょ。よくこんなの楽しく描けるなって思ったよ。

ぴよこ 長い髪って描いてて楽しくないですか? なびいてるのとか。三澄は黒髪ロングで好みですね、巨乳だし。

キャラトーク 木倉汐路

みつき 汐路はディレクターがイメージしていたキャラ(秘密です)が、元々自分が好きなキャラだったので、イメージが強すぎて被らないようにどうしようかかなり悩みました。あと、キャラ的にこの髪型は自分でやらないよねっていう話をしたときに、毎朝、由芽がやっているんじゃないって、たぶんあの子が「もっと女の子らしくしなさいよって」って結わえているんじゃないかって(笑)、特に本編に出てこないんですけど、私の中での裏設定です。

まかこ 私は汐路はけっこう好きなんですよ。

キャラトーク 桐理つばさ

——お待たせしました。ぴよこさん担当分のつばさです。HOOKSOFTでは珍しいピンク髪と羽根飾りが印象的ですね。

ぴよこ HOOKSOFTさんではキャラが出来てから髪の色を決めることが多いそうなんですけど、つばさは最初から「初のメインピンクをやるかもしれない」って言われていました。

みつき ディレクターの山根さんが、ずっとピンクは嫌だって言ってんだよね。

亜佐美 僕も嫌だって言ってたんですけど……。まあ、keiさんが通したんですけどね。

ぴよこ なので、仮で色を入れた時も、茶色かただのピンクかで試していたので、イメージしやすかったです。

亜佐美 色の調節したのもあって、最終的には可愛くなったと思います。

ぴよこ それと羽根飾りはどうにか付けられないかなって思っていたので、付くか付かないかで少しあったみたいですが、付くことになった時は「おし!」って思いました。

——まかこさんはどうですか? 羽根付きは。

まかこ 最初見た時はギョッとしましたけど(笑)。魔法少女みたいだなって思って。

亜佐美 僕も羽根は可愛いんで問題なかったんですけど、keiさんが、「天才なので一発で天才と分かるように羽根を付けたい」って言ってこられたので、それはたぶん違うんじゃないかなって。

一同 (笑)

亜佐美 「優等生で学園のアイドルの三澄より、つばさこそが最強だっていうのを見せたい、そのためにこの羽根を付けたい」って話がkeiさんからあって、別に羽根を否定はしないんですけど、天才だから羽根っていうのは未だによくわからないですね。可愛いから羽根付けましたっていうならいいんですけど。

ぴよこ 私服で言うと、全部自分が持っているやつです。

日常の中にロリが欲しい!? 山根ism炸裂!

——今回、ロリキャラが3人と多めですよね?

みつき はじめ小糸と由芽のどっちかって話で、いったん小糸は消えていたんですけど、山根さんが「やっぱり日常にロリがもう一人欲しい」って言って1人増えました。「学校のロリが由芽なんで、家のロリは小糸だ」、みたいなこと言っていました。

——なかなか社会の理解を得られない主張ですよね。

みつき 巴菜は由芽の双子という設定で、いつのまにかできてました。なんか山根さんはロリは性的な目で見てはいけないっていう、「父性」って言っていましたけど(笑)。俺は父性としてロリを見ているって。小糸のイベントCGが1枚あるんですけど、指定書に「性的に描かないでください」って書いてあって、信用されてないなって思いました。

一同 (笑)

みつき 自分はロリとか全然ストライクゾーンなんです。由芽の水着を布地少ない水着にしたのは自分ですし……。なんか凹凸が少ない娘に露出が多い服を着せるのが、エロくて良いよねって。

まかこ えっ? エロいの?

みつき いやらしいよ! じゃあこっちの方がエロいからこれにするねっていったら、「いやエロくはしないで」って言われました(笑)。

まかこ 私はロリとかは全然興味ないんで、よくわからないですね。

原画家コメント

「比古咲花連」担当
蜜(みつ)キングさん

Profile

人気イラストレーター、漫画家。今作ではゲスト原画として、花連を担当。近著は『ワルキューレ ロマンツェ』コミカライズ(月刊コミック電撃大王)。



——今回、制作に参加することになった経緯をお聞かせください。

蜜 ありがたくも、お声をかけて頂いたので。HOOKSOFTさんのゲームは以前から一ユーザーとして楽しませて頂いておりました。

——『PriministAr』について作品自体の印象・感想をお願いします。

蜜 甘～～い。キャラがみんな可愛いです。
あと絵がとてもきれいなので気がつくといつまでも眺めています。

——「比古咲花連」というキャラクターについての印象は?

蜜 結婚したい。

——全体的に振り返ってみて、今回のお仕事で特に楽しかったこと、逆に大変だったことはなんですか?

蜜 普段あまり描かないタイプのキャラだったので新鮮でした。

——ユーザー・読者の皆さんに一言メッセージをお願いします。

蜜 春近とつばさのことを花連とともに(生)暖かく見守っていきましょう。

ぴよこ　ないんだ～（小声で）
まかこ　ないんだよ（小声で）
ぴよこ　ショタは。ショタは?（小声で）
みつき　HOOKのゲームにはショタは出ないよ……!

――ぴよこさんは何でも来いって感じですか?

ぴよこ　そうですね。おっぱいが好きなんで。大きかろうが小さかろうがおっぱいが好きです。おっぱいを等しく愛しています。
みつき　自分は貧乳と爆乳を特に愛してます（笑）。

特典の幽霊ちゃん

――特典DISCの幽霊は最初から企画されていたんですか?

亜佐美　ないです。特典考える時に夜中にkeiさんと電話で話して決めました。「もうネタがない、宗次郎で男友達の性転換やって、前回の上級生Cでモブキャラの攻略ヒロイン化やって、もう、人間じゃ無理じゃない」って（笑）。「どうするの、また擬人化にするんですか」って話していて、その流れで、「それなら幽霊はどうか?」という話が出てこれに決まりました。

――次も考えるの大変そうですね。ぴよこさんはデザインするにあたって指定はあったんですか?

ぴよこ　幽霊だけど日本人らしくない感じを目指したいって言われて、でも私はロングヘアーが描きたかったのでロングしか出しませんでした（笑）。あと、セーラー服がいいなっていうのはお願いしてました。
みつき　ちょっと古典的な女学生の幽霊みたいだよね。
ぴよこ　メインの制服がブレザーっぽい感じなので、シンプルなセーラー服の方が幽霊としては合うのではと伝えたら、すぐOKをもらえました。実は鬼太郎ヘアーが好きで、とりあえず描いてって言われたときに、基本ロングだけど前髪だけ鬼太郎ヘアーにして描いたんですよ。

――幽霊ってところから鬼太郎ってことですか?

ぴよこ　そうですね。元々keiさんが私が鬼太郎ヘアーが好きだって知ってて、ライターさんと「鬼太郎ヘアーはないよね」って話をしていたらしいんですよ。でもあいつは絶対に上げてくるから言わなきゃいけないって思っていたけど伝え忘れてて、そしたら案の定鬼太郎ヘアー描いちゃって。鬼太郎以外でお願いしますって言われました。

お気に入りのキャラ

――それではお気に入りのキャラなどを言っていってほしいんですけど。

ぴよこ　わたしは幽霊ちゃんです。女性声優さんで一番好きな方に声を当てていただけたので、それだけでもう。

――声とあっててすごい良かったみたいな感じですね。

ぴよこ　あとはロングなので。
まかこ　う～ん。私はつばさかなって思ったんですけど。理由は……。
ぴよこ　ぴよこみたいだったから?
一同　（笑）
（まかこ、しばらく笑いが止まらず…）
まかこ　……忘れちゃった。えーと、普通の女の子っぽいから。なんかエロゲーっぽい感じじゃないからかな。他の子は主人公がいなくなったら死んじゃいそうなんだけど、つばさはそうでもないかなって。2週間くらいで立ち直りそう（笑）。そういう強いところがいいです。
みつき　それだとかのこ、千里、三澄は……。
まかこ　ダメだね。だからつばさの次に好きなのは汐路だもん。ちゃんと自立してる子がいい。

――それでは、みつきさん。

みつき　花連か巴菜かな?　巴菜はやっぱり好きなロリですね。歪んでるロリがいいなって。完全にシスコンこじらせてどっかいっちゃった感じが、そういうの好きです。

――花連は別の方のですね。

みつき　花連は出てきたキャラの中で一番かわいいですね。キャラ設定的に、この子重くなくていいなって。一番付き合いたいのは花連かな。イジメがいがありそうで。

――可愛い女の子をイジメたいって、『Strawberry Nauts ビジュアルファンブック』のインタビューでも言っていましたよね。

振り返っての感想 幽霊のHって!?

――作品自体を振り返っての感想をお聞きしたいんですけど。

ぴよこ　イベントCGの指示書とか打合せで話とかして思ったんですけど、やっぱりつばさとは通じ合えそうな感じがしました。なので、動かしやすかったなっていうのはありましたね。きっとこういう気分なんだろうなって思って、作画作業がしやすかったです。

――それじゃあ、まかこさん。

まかこ　私にとっては三澄と流々子と十貴恵のゲームですね。この三人は見てて飽きないんで、三澄ルートでしか見れないのがもったいないなって思いました。
みつき　タイトルを「継花家の人々」とかにしないと（笑）。
まかこ　もっとこの三人のドタバタを見たかったです。作業しているときは流々子もお母さんもこんな人だとは全然知らなかったから。よくこんなの思いついたなって思いました。

――面白かったってことですね。じゃあ、みつきさん。グラフィックの仕事もやられていて大変だったとは思うんですけど。

みつき　ゲーム自体の感想は、汐路ルートが鈍感主人公を頑張って攻略している感じが面白かったです。

――たしかに完全に外堀埋まっている状態でも、どうなっているんだかわかっていないみたいな感じでしたよね。

みつき　あと、流々子のエロシーンが一番キャラっぽいっていう意味で面白かったです。いきなり道具持ってきたり、エロコメみたいな感じだったので、このルートはもうちょっと長かったら良かったかな。このまま3Pルート突入でもよかった。それも見たかったかな。

――それもあったらあったで、みんな喜ぶと思うんですけど、作るの大変ですよね。それでは、作業的に一番大変だったことを。

ぴよこ　幽霊は苦労しました。…透けるんですよね。だから重なっている部分まで意識してしっかり描かなきゃいけなかったり、作画として大変だったんですよ。Hシーンとか、「えっ?　これってやってないよね」って（笑）。
みつき　本番ないからね。
ぴよこ　言ってしまえばオナニーだよねって。そこをkeiさんにずっと、ほんとにいいんですかって、ほんとにいいんですかって言ってました。じゃあ、女の幽霊の方の液体って、どういう風に出るんですかって。それを確認してたのがすごい印象に残っています。
まかこ　わたしはかのこの髪型です。

――なるほど。それではみつきさん。

みつき　今回担当キャラ多かったので……。大変でしたけど、その分いろんなタイプの子を描けたので楽しくできました。
ぴよこ&まかこ　（小声でなにかしゃべている）

――そこでいちゃいちゃしないでください。

ファンの皆様へ

――それじでは最後に本を買ってくださったファンの皆様へコメントをお願いします。

ぴよこ　ネタ的な感想しか考えてなくって、真面目な感じで考えてなかったんですけど。

――とりあえず言ってみて下さい。

ぴよこ　一人くらいショタがいてもよかったなって思いました。ロリ三人いるから一人くらい男の子でもよかったのに。

――男の子っていうのは「男の娘」って意味じゃなくて?

ぴよこ　どっちも好きなんで。真面目な方は、……なんか『Strawberry Nauts』で私のことを知ってくださった方が、前作のファンブックを見て興味を持ちましたって、面白がっていただけたので、真面目な中に笑いを入れようって考えてしまって難しいですね。

――無難な感じで大丈夫ですよ。

ぴよこ　『Strawberry Nauts』の時より、少しでも成長できていたら嬉しいです。できていたらいいな。

――それではみつきさん。

みつき　ぴよこさんと合わせよう（笑）。ロリっ子の攻略ルートがあれば良かったなって。自分は全然どんとこいなんですけど。真面目な方は、今後も女の子を、可愛くいやらしく描いてお届けできたらうれしいです。

――みなさん、ファンにひと言のところで、ショタとかロリとか言っているってことは、読者にもっとショタやロリを入れてくれって声を、プロデューサーの元に届けてほしいっていう遠回しなフォーカスですか?　それじゃあ、まかこさん、大トリで。

まかこ　えー、なんだろう。私は黒ギャルを描きたいんですよ。

――ガン黒ってことですか?『egg』とかの?

まかこ　ガン黒までいかなくても。もうちょっと上品でもいいかな。渋谷歩いているようなギャルとか。

――小悪魔的な感じですか?

まかこ　うん。でも、キャバクラとか風俗はしない。
ぴよこ　見た目ビッチだけど中身清純みたいな感じですね。
まかこ　ギャルキャラがやりたいです。

――プロデューサー、どうですか?

亜佐美　いや、ショタに関しては否定しないですけど……。
まかこ　これはユーザーさんに要望送ってもらうしかないかな。
ぴよこ　でも、漫画だとけっこういますよね。なんかギャルのすごい友情に厚い系の、女の子の親友的なポジションとかだと。
まかこ　サブキャラでもいいんで。
みつき　いれるようにアンケート送ってください、みたいな。

――前作のインタビューでは、「ガッツリ売って儲けたいです」みたいなこと言ってましたけど。

まかこ　……。（笑）。……また買ってください、みたいな。
みつき　そういえば、白ギャルと黒ギャルで、どっちがいいの?
まかこ　現実的には白いほうがかな。

――っていう話が続く中、終わったことにします。ありがとうございました。

「大きかろうが小さかろうがおっぱいが好きです。おっぱいを等しく愛しています」　ぴよこ

PriministAr プライミニスター Original Short Story
オリジナルショートストーリー



「世界で一番とうとい光」

作：桜城なお
イラスト：もとみやみつき

「はるちか、ゆびわがほしい」
「えっ、指輪？」
夕飯の買い物をした帰り道。
駅前を過ぎ、夕陽に染まる公園の桜並木を歩いているところで、ぽつりとねだるように呟いた声が耳に届いた。
「その才で指輪なんてまだ早いと思うけど……。千里はどう思う？」
きらきらと輝く視線の先にあるのは、私が学生時代春近にもらったエンゲージリング。
「んー、そうね。指輪は結莉がもうちょっと大きくなったらね？」
天馬結莉。
４年前、私と春近の間に生まれたとっても可愛い一人娘。
「うぅ～～～。いっつもそればっかり～」
手をパタパタと振って口を尖らせるが、その姿がまた愛らしく、春近と2人して笑みをこぼしてしまう。
「むぅ～～～。わらわないで～！」
笑われたのが気に障ったらしく、プイッとそっぽを向いてしまう。
「くすっ、女の子なんだから、そんな風に変な顔しないの」
「つーん！」
「結莉？」
「きこえないもーん！」
結莉をあやすように、その長くて柔らかい髪をそっと撫でる。
こうしていれば、そのうち寂しくなって自分から声をかけてくるのが結莉だから。
「でも春近にこの指輪をもらってから、もう10年以上になるのね……」
「え？　ああ、そっか。でも、あっという間なんだか、それともまだ10年なんだか」
独り言のつもりで呟いた私の言葉を春近が拾う。
……どうせだからちょっとだけイタズラしてみようかしら？
「…………」
「ん？　あれ、千里までどうしたの？」
「ふーん？」
「えっと……な、なに？」
ふふっ、焦ってる焦ってる。
「春近はずっと私と一緒にいて楽しくなかった？」
「？　それはもちろん楽しかったよ？　というか楽しくないわけないって。そういう千里は？」
「私？　私は……う～ん……？」
「いやいやいや、そこは考えちゃダメなところだよね！？」
「……くすっ、冗談よ。私だって、毎日がとっても楽しかったし、今だって楽しいことばっかりよ♪」
うん、満足♪
「驚かすなって。でも楽しい時間は早く感じるっていうし、やっぱり楽しかったんだと思うよ」
「ふふっ、そうね。そういうことにしておいてあげるわ」
もちろん楽しい事ばかりだったわけじゃないけれど。
それでも『2人の夢に向かってお互いに力を合わせる』という感覚がずっとずっと心地よかった。
「ねえ、春近？　昔の事、ちゃんと覚えてる？」
「ぁぁ～～～……」
だらしのない顔……。
「春近？　春近！」
「えっ？　ああ、ごめんごめん！　覚えてるよ！　というか俺も思い出してたところで——」
「じぃ～～～……」
「!？　え、ええっと……千里さん？」
春近も思い出してくれてたのは嬉しいけど、あの顔はきっと……。
「……そう、エッチなことを思い出してたの？」
「——ブッ!？　違うって！　もっとまともなことだから！　それに……あははは っ、アレだろ？　いつもみたいに冗だ——」
「なんでも冗談ですむと思ったら大間違いよ？」
「まことに申し訳ありませんでした!!」
「くすっ、春近の考えてることはなんでもお見通しなんだから♪」
うん、春近はやっぱりこうじゃなくちゃ。
「うっ……そ、それはそれで嬉しいんだか……」
「ねー、むかしのおはなし、ゆーりもききたい」
機嫌を損ねてだんまりを決め込んでいた結莉

がスカートの裾を引く。
「あら、どうしたの結莉。もうお母さんとお話してくれるの？」
「……うん、してあげる。だからおはなしー」
「ふふっ、そう。ありがとう」
結莉に向かって手を差し出すと、小さな手が私の指を握る。
「そうね、それじゃあ……」
どんな内容であれ、同じ話の繰り返しであれ、私が昔の話をすると結莉はいつも大喜びしてくれる。
だから『どんな話をしよう』だとかはあまり深く考えたことがないけど……。
今日は春近にも結莉にもまだ話していない話にしようかしら。
「そうね、あれは私が七舟学園に入学した最初の１２月。春近に無理やり手芸部に入部させられた年の話ね」

「あのさ、枝那森。今度街の手芸教室のクリスマス会を手芸部のみんなで手伝おうってことになったんだけど……もう聞いてる？」
私が１人で黙々と編み物の練習をしていると、いつも通りの調子で話しかけてきた天馬くん。
また何か頼み事を引き受けてきたのかしら？
「えっと、手芸教室のクリスマス会？」
「そうそう。前々から頼まれてたんだけど１人じゃどうしても厳しくて。でも今年は丁度いいかなーって」
……やっぱり、天馬くんのことだからどうせそんなことだろうと思った。
お節介というかなんというか、本当に……よくやるわね。
「先輩たちは受験勉強の息抜きにもなるし、手芸教室の子供たちのためなら喜んで協力してくれるって」
「……はぁ、そう。そうね、先輩たちもみんなそういう人だから」
初めは天馬くんと部長だけかと思ったけど、実は手芸部全員がお節介のかたまりだった。
「……くすっ」
なんて、それを知ったのはもう何ヶ月前のことだったかしら？
手芸部に顔を出し始めた頃は、そんなみんなのお節介が鬱陶しいだけだったのに。
今では不思議と心地よくなっていたりする。
お節介なのは相変わらずだけど、必要以上には踏み込んでこないし。
「でも天馬くん。今みんなでって言ってたけど、それって私も数に入ってるの？」
「えっ？　なに言ってるんだよ、そんなの当たり前だろ。枝那森も手芸部の仲間なんだからさ」
「ぁ……っ……」
私も……仲間……。
「ああ、でも強制じゃないから。都合が悪かったり、興味なかったらこっちのことは気にしないでいいよ？」
「へえ……そ、そう。ちなみに日程は？」
……お、落ち着くのよ私。
ここですんなり話に飛びついたら、休日にヒマを持てあましてる寂しい女だってバレるのも時間の問題。
「開催日は来週の日曜だけど。あれ、もしかして興味ある？」
「来週？　そうね、その日は……なにか予定があったかしら……？」
……まだよ、まだ早いわ。
ううん、むしろ天馬くんのほうから強引にでも誘ってくれたほうがよっぽど……。
私を手芸部に誘ってくれた時みたいに無理やりにでも引っ張ってくれればいいのよ。
「うーん、そっか。枝那森にも予定はあるだろうし、無理に誘っても悪いからなぁー」
…………えっ？
腕を組んで、残念そうな笑顔を浮かべる天馬くん。
この流れって、もしかしなくても……？
「よし、わかった！　すぐに決めてくれとは言わないし、とりあえず決めたら返事を聞かせてよ」
ぜ、全然わかってない……。
それにどうして今はそんなに消極的なの？
「あの、天馬くん？」
「ん？　どうかした？」
「べ、別に天馬くんがそこまで言うのなら、その――」
「ごめーん！　天馬くん、お待たせー。早速だけど打ち合わせに行こっか？」
突然やってきた先輩の声に、私の声はかき消されてしまう。
「打ち合わせ？」
「手芸教室の先生と約束してるんだよ。だから今日は打ち合わせが終わったらそのまま帰ると思う」
「えっ、ぁ、あの……」
「そんなわけだから、押し付けるようで悪いんだけど、参加不参加だけでも決めといてくれないかな？」
「…………っ」
「それじゃ枝那森、また明日教室でね」
カバンを掴むと、天馬くんが足早に私の前から去っていく。
「あ、あの……」
弱々しく情けない私の声は、彼の耳に届く前に消え入ってしまう。
答えなんて初めから『はい』に決まっているのに。
「待って……」
天馬くんは私に変わるきっかけをくれた。
もしかしたらこれから先も、天馬くんと一緒にいたら私は強くなれるかもしれない。
「天馬くん……」
だから私は天馬くんのすぐそばにいたい。
他人から見ればこんな私はやっぱりおかしいのかもしれない……。
ううん、おかしいのは私自身が一番よくわかっている。
でも――。
「春近っ！！」
「！？」
ピタリと足を止めて、驚いた表情の天馬くんがパッとこちらを振り返る。
「…………え？」
「あっ、私……」
男の人を名前で呼ぶなんて、自分でもどうしてこんな大胆なことをしたのかわからない。
「なに、今の……？　って、どう考えても枝那森、だよね……？」
でも……うん。
他の人になんと言われようと、どう思われようと、私は天馬くんのそばにいたいから。
「くすっ。さあ、どうかしら？　でも今の部室には私たち２人しかいないわ」
私の声がちゃんと天馬くんに、春近に届いた。
「そ、そうだよな。けどいきなり名前で呼ばれてビックリしちゃったよ」
「……そう。名前で呼ばれるのは嫌だった？」
「えっ、俺は別に。枝那森との距離が縮まった気もするし、いいと思うよ？　ただ、さすがに枝那森を名前で呼ぶのはちょっと難しいけど」
そう言って、頭をかきながら視線を逸らす春近。
私としても自分が名前で呼ばれるのはちょっぴり恥ずかしいし。
……それに、すべてを望むのはおこがましいことだってわかっているから。
だからこの形が今の私にとっての最高の幸せ。
「ん。なら今からそうさせてもらうわね、春近♪」

「うん、オッケー……って、そうじゃなくて！」
「？　どうしたの？」
「いや、むしろそれはこっちのセリフだったというか……」
どうしたのかしら、もしかしてビックリしすぎておかしくなっちゃった……とか？
「枝那森はなにか用があったから、俺を呼び止めたんじゃなかったの？」
「………………あっ！」
本来の目的をすっかり忘れてたわ。
「むしろ驚きたいのは俺のほうだけどね！？」
「でも落ち着いて春近。たまにはこういう日もあると思うの」
私としたことが、すっかり舞い上がってしまっていた。
「こういう日って……まあいいや。それで、なんの話？」
「え、ええ、それなんだけど……。クリスマス会のことで……」
「——えっ、もしかしてもう決めてくれたとか？」
「……ん」
「うそっ、マジで！？」
私が参加するって言ったら春近は喜んでくれるかしら？
期待してはいけないと頭でわかっていても、無意識に期待してしまっている私がいる。
「えっと、当日は私も……参加、させてもらうわ……」
「ひやっほ〜う！！」
…………え？
「あの、春近？　だから、その、当日私はなにをしたらいいのか教えて欲しいんだけど……」
「——ハッ！？　ご、ごめん、まさかあの枝那森が本当に参加してくれるとは思ってなかったから……！」
「……あの枝那森？　なんだか失礼な事を言われた気がするけど？」
「あふっ！？　き、気のせいだって！！　そういうのはほら、気にしたら負けっていうし……ねっ！？」
なんて、今までこういうイベントを避けていたのは私のほうなんだから、驚くのも無理ないわね。
「くすっ、ちょっとした冗談だから春近こそ気にしないで」
「そ、そう？　そう言ってくれると助かるけど」
「それで、当日はなにをしたらいいのかしら？」
「ああ、そのことだったね。いちおうの予定だけど、当日枝那森には……」
ちゃんと春近の役に立てるかわからないけど、せっかくやるって決めたんだから……。
「トナカイの着ぐるみを着て踊ってもらおうと思ってるから、よろしく頼むよ！」
「着ないわ」
トナ……カイ……っ！？
「あ、あれ、聞き違い……だよね？　ほら、やっぱりクリスマスにはトナカイがいないとさ！」



「踊らないわ」
「そんなに心配しなくても、最高に可愛いトナカイの着ぐるみを——」
「トナカイは絶滅したわ」
「あの、え、えっと……鼻は赤じゃないほうがよかった？」
他にも人はいるはずなのに、どうして私限定でトナカイなんて……。
「そんなもの私は絶対に、絶対に、絶・対・に着ないとだけ言っておくわ」
「俺の気のせいじゃなければ、絶対にって3回も言ってるよ！？」

「……軽い気持ちで、私の純情を弄ばれた気分だったわ」
「純じょ——！？　そ、それは悪かったって！というかそんな決意をしてたなんて知らなかったしさ！」
「ねー、じゅんじょーってなあに？」
「結莉はまだ知らなくていい！」
「でも、そこは察して欲しかったわ」
私だって春近に悪気がなかったことはわかってるし、本気で怒っているわけじゃない。
……ちょっぴりがっかりしたのは本当だけど。
「いやいやいや、千里ってたまに無茶言うよね！？　しかもこんな話は初耳だし！！」
「ええ、訊かれたことがなかったから」
「おはなしは？　もっとおはなししてー！」
「ふふっ、いいわよ。そうね、それじゃあ今度は今から5年前……」

「お兄さんも千里さんも、たまにでいいのでわたしたちのことも思い出して下さいね？」
私を含め、春近、小糸、萱野の4人が集合したアパートの前。
爽やかな春の日差しのもと、下唇をキュッと結んで、今にも泣き出しそうな表情の小糸。
「あははっ、大丈夫だよ小糸ちゃん。そんな顔しなくても、もう会えなくなるわけじゃないん

だしさ、ね？」
「くすっ、そうよ小糸。せっかくの可愛い顔が台無しよ？」
「あぅ……！？　そ、そうですよね。これでさよならじゃないんですよね……」
可愛いと言われ、ほっぺに手を当てて一瞬で真っ赤になる小糸。
小糸もすっかり大人っぽくなったけど、こういう反応はまだまだ子供っぽくてやっぱり可愛い。
「うん、だから俺たちとしては笑顔で見送ってくれると嬉しいかな」
「笑顔で……うん。あははっ、すみません。おふたりにとってはおめでたい事ですもんね！」
私と春近が七舟学園を卒業してから訪れた７度目の春。
今日は私と春近が、長い間お世話になった『なかきよ』を離れる日。
「２人とも、またいつでも遊びに来てね？　その時はきっと小糸も喜んでご馳走を用意しちゃうと思うから」
「も、もぉー、お母さん！　変なこと言わないでよ！？」
「うふふっ、そう？　それじゃあ２人が遊びに来た時は、出前でも取ろうかしら？」
「うぅ〜〜……フンッだ、お母さんのイジワル。いいもん、その時はお母さんの分だけ作ってあげないんだからね？」
「ふぅ〜ん？　なんて言ってても、ちゃーんと用意してくれるから、小糸は優しいのよね？」
「！？　〜〜〜〜っ!!」
「あははっ、まあまあ小糸ちゃん。萱野さんも。でもそうですね、来年には必ず挨拶に来ますよ」
春近の手が、そっと私のお腹に添えられる。
「うふふっ、そう。今から楽しみね。だけど、それならなおのことうちにいてくれても……なんて、今さらよね」
「すみません。千里と話し合って、子供ができたことを一つの節目にしようって」
「ん、これからはお父さんとお母さんとして、一緒に成長していこうって決めたわ」
誰にも頼りたくないとかではなくて、ただ純粋に私たちの力で頑張ってみたいと思ったから。
「……ええ、そうね。いろいろな事を乗り越えてきた２人なら、きっとこれからも大丈夫だと思うわ」
「あははっ、それを言ったら俺なんかよりも千里のほうがよっぽど頑張ってましたけどね？」
「えっ、私？」
まさか自分の話になるとは思わなくてちょっと油断してしまっていた。
「そりゃそうだって。まさか千里が童話を書きたいなんて言い出すとは思わなかったし」
「そうなの？　でも春近がいなかったら、私はそんな風に夢を持ったりしなかったわ」
そもそも春近以外のたくさんの人たちに笑顔をあげたいだなんて、考えもしなかったはずだから。
「でもその夢を現実にしたのは千里が頑張ったからだよ」
「そう、かしら……？　何回も落選したのに？」
「うん、そうだよ。結果的には俺の夢が叶うよりも先に、入選して本にもなっちゃったしね」
「あっ、わたしもクラスの子に薦めたんですけど、とっても評判がいいんですよ！」
「そ、そう。ありがとう……」
「ふふっ、それに由芽ちゃんなんて一昨日も１０冊買って、まだ読んでない人に広めるんだって意気込んでましたから」
「由芽ったら、余計なことを……」
話には聞いていたけど、あらためて聞くと少し恥ずかしい……けど、悪い気持ちはしない。
ううん、むしろ私の気持ちがみんなに届いてくれて、ものすごく嬉しい。
「あれ、千里？　顔が赤いけど、もしかして……照れてる？」
「……なんのことかしら？」
ちょっと動揺して棒読みになっちゃったけど、顔には出していない……はず。
「ふーん、へー？　千里の書いた『虹色の季節へ』を何度も読んでたから、俺も夢を諦めないで頑張れたんだけどなー？」
〜〜〜〜っ！？
そっちがそういう態度を取るなら、私だって。
「そう、なら春近、明日の夕飯は春近の分だけ抜きよ」
「なんで！？」
「じぃ〜〜〜……、バカなの？」
「うっ……すみません、すべてはわたくしの責任でございますです……」
まったく、謝るくらいなら初めからひとをからかったりしなければいいのに。
「ふふっ♪」
でも、そういう調子に乗りやすいところも春近らしいけど。
「……だけど、もし私がいなかったとしても、春近はきっと自分の夢を叶えてたと思う」
だって春近はそういう人だから。
基準がまだよくわからないけど、春近は自分にできないことを口にしたりはしない。
裏を返せば、春近はやると言ったら必ず実現させてきたから。
「もし、なんて話をしても仕方ないけど。前に千里が『俺に追いついて、隣を歩けたら』って言ったことを覚えてる？」
「！？」
まさか春近のほうからあの時の話をしてくるなんて、ちょっと驚いたわ。
「ああ、ごめん。悪気はないんだけどさ……」
「ううん、気にしなくていいわ。もちろん覚えてるけど、それが？」
「えっとさ、せっかく千里が隣をって言ってくれたのに、いつの間にか俺のほうが追い抜かれてて、申し訳なかったなって」
あっ、春近……。
そんなことを気にしてたの？
「でも、だから『俺も負けてられない、俺が千里に追いつくんだ！』って励みになった。それは本当に感謝してるよ」
「……うん」
「はははっ、だけどあんな形で夢が叶うだなんて想像もしてなかったけどね？」
「くすっ、ええ。春近じゃなくても、あんなことになるなんて思いもしなかったはずよ」
実際私だってとっても驚いたんだから。
「ですね。お兄さんの作った着ぐるみをテレビで見ない日はありませんから」
「いやいや、さすがにそれは言い過ぎだって」
「おかげさまで家計は潤ってるわ」
「や、やっぱりそうなんですか！？」
「そういう生々しい話はやめよう！？　着ぐるみの中の人を見るくらい夢がないよ！？」
……世界一の着ぐるみを作る、それが春近の夢だった。
その夢が叶ったのは、私の本が発売された半年くらい後のこと。
なんとかって海外のすごい人が来た時に、たまたまＳＰの１人が春近の作った着ぐるみに扮していて。
そのすごい人が狙撃されたのを、着ぐるみが身を挺して護ったとかでその当時は大きなニュースになったりしていた。
しかも着ぐるみは何発も銃弾を受けたのに、中のＳＰはまったくの無傷だったことが話題になって。
着る人の安全性を兼ね備えた高い品質が各方面から評価されて、春近の作った着ぐるみは一晩で世界的に有名になった。
「……だから新しいお部屋は、年期の入ったうちとは違って新築の分譲マンションなのよねー？」
「もしかしてめちゃくちゃ根に持ってます！？」

口を尖らせて、ジトッとした目の萱野が春近に視線を向ける。
「もお、お母さん！　いくら寂しいからって、こんな時にそんな冗談言わないの！」
「——えっ、寂しい？　萱野さんが？」
春近が驚くのも無理はないし、私だってちょっと驚いた。
「あら？　その反応は……そんなに意外かしら？」
萱野にしてはめずらしく、イタズラがばれた子供のように困ったような微笑みを浮かべる。
ううん、めずらしいどころかこんな笑顔とも呼べないような笑顔の萱野は初めてかもしれない。
「萱野さん……」
「２人とも小糸のお兄さんとお姉さんみたいだったから、なんだか私にとっても家族みたいに思えちゃって」
「萱野……」
「なんて、ダメよね。小糸だってちゃんと笑顔でお見送りをするって約束してたんだから」
……私自身、名残惜しさはまだ残ってるけど、ずるずるいくよりはスパッと決めてしまったほうがいいのかもしれない。
「ねえ、春近？　そろそろ……」
「うん、大丈夫。千里の言いたいことはなんとなくわかるよ」
「ん。それじゃ、あとは春近に任せるわ」
萱野と小糸と向かい合うように、春近の隣にそっと寄りそう。
そんな私たちの空気を感じ取ってか、萱野と小糸も姿勢をただしてこちらに向き直る。
「あの、萱野さん！　小糸ちゃん！」
「うん」
「はい！」
「ここで過ごした思い出は、この先も絶対に忘れないと思います！」
「それは私たちもよね、小糸？」
「うん！　えへへっ、絶対に忘れませんから！　千里さんも、忘れないで下さいね？」
「ん、私も忘れないわ♪」
「とはいえまたすぐに遊びにくるつもりですけど……ンンっ。今日まで本当にお世話になりました！」
「萱野、小糸、お世話になりました」

そこまで一気に語り終えた千里が、ふぅっと息を吐いて口を閉じる。
心なしか公園内の空気もシンと静まっているような気さえする。
「……今となってはいい思い出ね」
「なんだろう、また変なエピソードがくると思って身構えちゃったけどね？」
情けない！
「ねえそれで、それからどうなったの？」
「えっ、それから？」
小さな手が袖を引っ張って、今度は俺に話の続きを催促してくる。
「それからは結莉が生まれて、めでたしめでたしよ」
さすがは千里、上手くまとめたな。
「ゆーりがうまれたからめでたしなの？」
「ああ、そうだよ。結莉が生まれたからみんな幸せでめでたしめでたし」
「なんで？」
「な、なんで？　なんでって、それは……？」
きたか、結莉のなんでなんで攻撃。
話の流れからしたらめでたしめでたしなんだけど……、子供にはまだ難しすぎるのか？
「はるちか、ねえはるちか、なんで？」
「千里っ！！」
「なに？　説明できないの？」
「いや、そうじゃなくて！　結莉に春近って呼ばせるのはやめよう！？　というかやめて！」
「？　そんなことしてないわ。結莉が勝手にマネしてるだけよ、ね？」
「ねっ！」
「…………」
俺になついてないわけじゃないんだけど、結莉は千里にばかりなついているような気がする。
うん、いくら相手が千里とはいえやっぱり娘のこととなると悔しいよね。
「ねえはるちか、なんで？」
「……結莉、ちょっと待って。お父さん。言ってみよう？」
「はるちか？」
………………。
「じゃあ、お母さんは？」
「おかあさん！」
「よし、ならその流れでお父さんは？」
「はるちか！」
「言い方が同じだけで、そうじゃないよね！？」
……うーん、ちょっとずつ直していくしかないのかなぁ。
「はるちか、ゆーりもゆびわほしい！」
「えっ、またそれ？　さっきも言ったけど、結莉にはまだ早いかな。もうちょっと大きくなったらね」
「むぅ〜、ケチー」
「ケチじゃない」
「おかあさーん、はるちかがイジワルする！」
口を尖らせて、結莉が千里の足にしがみつく。
「大丈夫、そういうときは色仕掛けでイチコロよ」
「いろじかけ？」
「小さいうちからそんな言葉を教えてどうする！」
まったく、というか千里の子育ては根本的に大丈夫なのか？
常識からは外れていないにしろ、今さらだけどものすごく不安になってきたぞ！？
「あーあ、せっかく今夜はオムライスにしようと思ったけど、やめちゃおっかなー？」
「！？　はるちか！　オムライス！　オムライスがいい！」
はっはっはっ、食べ物に釣られるなんてしょせんはまだまだ子供。
「ほーら、それじゃあ結莉。お父さん、言ってごらん？」
「…………」
「ケチャップでクマさん描こっか？」
「はるちか、ネコがいい」
「そんなにお父さんって呼びたくないの！？」
「くすっ、結莉はそういう年頃なのよね？」
「うんっ」
「えっ、反抗期！？　もう反抗期迎えたの！？」
ちょっぴりスネ始めていた結莉をあやすように、千里がひょいと抱き上げる。
うん、これだから千里のほうによくなつくんだよね。
「ああもう、わかったよ！　もう春近でいいし、オムライスもちゃんと作るから！」
「……ネコ」
ちゃっかりしてるなー。
こういうところは俺に似たのか千里に似たのか。
「わかったよ。それに旗もつけるから」
「ほんとっ！？　えへへっ、はるちかだいすきー！」
ふぅ、なんとか機嫌を直してくれたみたいだな。
「くすっ、でも私のほうが春近のことは大好きよ？」
「ごめん、結莉を刺激するようなことは言わないで！？　俺も千里を愛してるし、嬉しいけどさ！！」
「！？　ふふっ、うん。そうね、今日は気分がいいから今夜は期待しててもいいんじゃないかしら♪」

Original Short Story 「世界で一番とうとい光」



「……ん？　えっ！？　なに、なんのラッキーチャンス！？」
というか夜ってことはつまり……エッチなこと……だよな？
今の千里も結莉を生んだ後とは思えないほど魅力的で……もう１人か。
「はやくーっ、はるちか！　はやくかえろっ！」
「おっ！？」
思考が飛びかけたところ、結莉の声ではっと我に返る。
「ご、ごめんごめん！　そうだね、早く帰ろっか！」
「うんっ！！」
「くすっ、それじゃ春近、帰りましょう」
結莉の元気な声に急かされた千里が、俺に微笑んでからゆっくりと歩き出す。
…………。
俺と千里が出会って、結ばれて。
それから長い時間を過ごす中で、楽しい事もツラい事もたくさんあった。
だけど、どんなにくじけそうな時だって俺たちは諦めず、２人で乗り越えて光を探し続けてきた。
だからこそ、こうして今は２人が３人に増えて、２人の時よりもさらに幸せな時間を過ごせているんだと思う。
……いや、今だけじゃない。
これから先も、俺たちの進む道の先には虹色の、無限の可能性に満ちた未来が待っているに決まっている。
根拠？
「はるちかーっ！　はーやくーっ！　おいてっちゃうよーっ！」
……なにを今さら。
そもそも手芸部の天馬春近は、自分にできることを全力でやってきたんだ。
だからこれからだって……。
「はーるーちーかー！」
同じことだろ？
「くすっ。春近、早くしないと結莉がまたスネちゃうわよ？」
「えっ！？　そ、それはマズい！　１０秒待って！　今すぐ行くから！」
荷物を抱え直して、千里と結莉の元へと急ぐ。
そして、みんなで家に帰って『ただいま』って――。
「ふふっ。ほら、頑張って。お父さん♪」

FIN

MAXムック

PriministAr
プライミニスター
ビジュアルファンブック

平成26年1月1日発行

発行人　榊原 潔

編集人　山田 哲也

発行所　株式会社マックス
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町1-29
営業／編集　03-3291-6331

印刷所　三共グラフィック株式会社

STAFF

編集　山田 哲也

構成・執筆　TRAP（斉藤 和明、式 大介、八糸こより）
瀬戸 智美

装丁・本文デザイン　TRAP（岡 洋介）

カバーイラスト　松下まかこ、もとみやみつき、羽鳥ぴよこ

